

# FUJITSU Software Interstage List Works

## 帳票印刷配信機能 トラブルシューティング

Windows/Solaris

B1WD-3423-04Z0(00)  
2023年2月

# はじめに

本書は、以下の製品における帳票印刷配信機能のトラブルシューティングです。以下のバージョンレベルで発生するトラブルを対象としています。

- Windows(R)版 Interstage List Works V10.0.0、V10.1.0、V10.2.0、V10.3.0、V10.3.1、V10.3.2、V10.3.3
- Solaris版 Interstage List Works V10.1.0、V11.0.0
- Interstage List Works Print Agent V10.0.0、V10.1.0、V10.1.1、V10.2.0、V10.3.0、V10.3.1、V10.3.2、V10.3.3、V11.0.0

List Worksの帳票印刷配信機能の導入および運用におけるトラブルに対し、即時に対応できることを目的としています。

## 登録商標について

- Interstage、Systemwalker、およびSymfowareは、富士通株式会社の登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、ActiveX、Visual Basic、Visual C++、Visual Studio、Visual C#、Visual J#、.NETは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Google、およびGoogle Chromeは Google LLC の商標または登録商標です。
- Linuxは、米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。
- Red Hat、および Red Hat ロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。
- Intel、Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- そのほか、本製品のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本製品のマニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名等には、必ずしも商標表示(TM・(R))を付記しておりません。

## 出版年月

出版年月および版数	マニュアルコード
2023年2月 2.0版	B1WD-3423-04Z0(00)/B1WD-3423-04Z2(00)
2021年4月 1.3版	B1WD-3423-03Z0(00)/B1WD-3423-03Z2(00)
2018年2月 1.2版	B1WD-3423-02Z0(00)/B1WD-3423-02Z2(00)
2017年3月 1.1版	B1WD-3423-01Z0(01)/B1WD-3423-01Z2(01)
2016年6月 初版	B1WD-3423-01Z0(00)/B1WD-3423-01Z2(00)

## 著作権表示

Copyright 2012-2023 FUJITSU LIMITED

## 説明・表記上の約束

本書では、以下のような説明上および表記上の約束があります。

### 商標について

本書で使用する商標について、略称を以下に示します。

略称		正式名称
Windows	Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition、

略称	正式名称
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
Windows Server 2008 (注)特に区別する必要がある場合、 Windows Server 2008 R2と表記します。	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Foundation、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper- V(TM)、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper- V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Foundation、(注) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard、(注) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise(注)
Windows Server 2012 (注)特に区別する必要がある場合、 Windows Server 2012 R2と表記します。	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard、 Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Foundation (注) Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard (注) Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter (注)
Windows Server 2016	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard
Windows Server 2019	Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard
Windows Server 2022	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard
Windows XP	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Edition、 Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition
Windows Vista	Windows Vista(R) Ultimate、 Windows Vista(R) Enterprise、 Windows Vista(R) Business、 Windows Vista(R) Home Premium、 Windows Vista(R) Home Basic
Windows 7	Windows(R) 7 Ultimate、 Windows(R) 7 Enterprise、 Windows(R) 7 Professional、 Windows(R) 7 Home Premium
Windows 8	Windows(R) 8 Enterprise、 Windows(R) 8 Pro、 Windows(R) 8
Windows 8.1	Windows(R) 8.1 Enterprise、 Windows(R) 8.1 Pro、 Windows(R) 8.1
Windows 10	Windows(R) 10 Enterprise、 Windows(R) 10 Pro、 Windows(R) 10 Home
Windows 11	Windows(R) 11 Enterprise、 Windows(R) 11 Pro、 Windows(R) 11 Home

略称		正式名称
Solaris	Solaris 9 Solaris 10 Solaris 11	Solaris(TM) 9 Operating System Oracle Solaris 10 Oracle Solaris 11
Linux	Linux for Intel64	Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
OS IV	OS IV/MSP OS IV/XSP	OS IV/MSP AFII OS IV/XSP AFII
Symfoware(*1)		Symfoware Server Standard Edition、 Symfoware Server Enterprise Edition、 Symfoware Server Enterprise Extended Edition
Oracle	Oracle 10g	Oracle Database 10g Standard Edition One、 Oracle Database 10g Standard Edition、 Oracle Database 10g Enterprise Edition
	Oracle 11g	Oracle Database 11g Standard Edition One、 Oracle Database 11g Standard Edition、 Oracle Database 11g Enterprise Edition
Interstage Application Server(*2)		Interstage Application Server Standard -J Edition、 Interstage Application Server Standard Edition、 Interstage Application Server Enterprise Edition、 Interstage Web Server Express
NetCOBOL		NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ(Solaris版)、 NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ(Solaris版)、 NetCOBOL Professional Edition 開発・運用パッケージ(Solaris版)、 NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ for Windows、 NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ for Windows、 NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ for Windows、 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ(Linux for Intel64版)、 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ(Linux for Intel64版)
J2SDK		Java(TM) 2 SDK, Standard Edition
JRE		Java(TM) 2 Runtime Environment
JDK		Java(TM) Development Kit
Adobe Reader	Acrobat	Adobe(R) Acrobat(R)
	Adobe Reader	Adobe(R) Reader(TM)
	Adobe Reader(*3)	Adobe(R) Reader(R)
	Acrobat Reader	Adobe(R) Acrobat(R) Reader(TM)、 Adobe(R) Acrobat(R) Reader
PkiMGR		Systemwalker PkiMGR
Centric Manager		Systemwalker Centric Manager Standard Edition、 Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition、 Systemwalker Centric Manager Global Enterprise Edition
Event Agent		Systemwalker Event Agent Standard Edition、 Systemwalker Event Agent Enterprise Edition
Internet Explorerまたは IE		Microsoft(R) Internet Explorer(R) Windows(R) Internet Explorer(R) Internet Explorer(R)
PRIMECLUSTER		PRIMECLUSTER Enterprise Edition、 PRIMECLUSTER HA Server、

略称	正式名称
	PRIMECLUSTER Clustering Base、 PRIMECLUSTER Storage Suite、 PRIMECLUSTER GDS、 PRIMECLUSTER GFS、 PRIMECLUSTER Wizard for Oracle
APS	APS、 APS/DSP、 APS/NP

\*1:

List Works V10.1.0以前では、SymfowareのRDBコンポーネント機能が同梱されています。

その他のSymfowareの機能、ユーザWebアプリケーションの開発・運用、および本製品のマニュアル/製品ドキュメントで記述している以外の方法/手順などでSymfowareを使用することは、認めていません。

List Works V10.2.0以降では、Symfoware Serverを同梱しています。

同梱しているSymfoware Serverを、List Works以外の運用で使用する場合は、以下の製品のライセンスの購入が必要です。

List Works V10.2.0～V10.3.1

Symfoware Server Enterprise Edition V11.0.0

List Works V10.3.2

Symfoware Server Enterprise Edition V12.3.0

List Works V10.3.3

Symfoware Server Enterprise Edition V12.4.0

List Works V11.0.0

Symfoware Server Enterprise Edition V12.6.0

\*2:

List Worksには、Interstage Application Serverの一部のパッケージが同梱されています。そのため、Solaris版 List Worksの帳票印刷配信機能では、「Interstage Application Server」を、「Webアプリケーションサーバを構築する機能」として記載している箇所があります。

\*3:

総称としての「Adobe Reader」と区別する場合は、バージョン情報を記載しています。

例：Adobe Reader 6.0

なお、サーバやクライアントのオペレーティングシステムを複数記述する場合などは、以下のように表記して説明しています。

表記	意味
Windowsサーバ	Windowsシステムのサーバを総称しています。
Windowsサーバ(x64)	64ビットで動作する、Windowsシステムのサーバを総称しています。
Windowsサーバ(x86)	32ビットで動作する、Windowsシステムのサーバを総称しています。
Solarisサーバ	Solarisシステムのサーバを総称しています。

#### Solaris版 List Works 帳票印刷配信機能における表記について

Solaris版 List Works 帳票印刷配信機能のトラブルシューティングでは、List Works 帳票印刷配信機能について「List Manager」と表記します。

## List Managerについて

List Managerは、帳票管理サーバを構成するコンポーネントです。  
帳票の論理あて先への格納や帳票の配信など、帳票/論理あて先/論理デバイスの管理を行います。

## List Manager Agentについて

List Manager Agentは、帳票出力サーバを構成するコンポーネントの1つです。  
帳票管理サーバから配信された帳票を印刷します。

## Interstage List Manager互換について

Interstage List Managerと互換性を保つこと指します。

## List Creatorについて

「List Creator」をソフトウェア製品ではなく、帳票印刷配信機能における1コンポーネントとして記載している箇所があります。

## 製品が動作するオペレーティングシステムの表記について

Solaris版 List Works 帳票印刷配信機能の関連製品が動作する、アプリケーションサーバ上の製品について、オペレーティングシステム種別を以下のとおり表記しています。

### Solaris上で動作する製品：

製品名 (Solaris版)

### Windows上で動作する製品：

製品名 (Windows版)

### Linux for Intel64上で動作する製品：

製品名 (Linux for Intel64版)

## ハードウェアの表記について

- GSシリーズおよびPRIMEFORCEを総称して、「グローバルサーバ」、または「GS」と表記しています。
- IPCOMシリーズを総称して、「IPCOM」と表記しています。
- ETERNUSディスクアレイ装置を総称して、「ETERNUS」と表記しています。

## List Creatorデザイナの表記について

「List CreatorデザイナV6.0L10以降」と表記している場合は、それ以前に出荷された別ブランドのList Creator製品を含みません。

## Windows Server 2012以降、Windows 8以降の操作

Windows Server 2012以降、Windows 8以降では、ユーザーインターフェースが大幅に変更されました。これに伴い、従来のオペレーティングシステムと比べて、本製品の起動手順や、Windowsの「コントロールパネル」や「管理ツール」を起動する手順が異なります。

本ドキュメントでは、従来のオペレーティングシステムの手順で説明しています。Windows Server 2012以降、Windows 8以降をお使いの場合は、以下のように読み替えてください。

### 「コントロールパネル」、「管理ツール」

本文中の表記(従来のOSにおける操作)	Windows Server 2012	Windows 8.1/8	Windows 11	Windows Server 2022/2019/2016 Windows 10
【スタート】メニューの【コントロールパネル】	【アプリ】画面の【コントロールパネル】	【アプリ】画面の【コントロールパネル】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】—【Windowsツール】—【コントロールパネル】	【スタート】メニューの【Windowsシステムツール】—【コントロールパネル】
【スタート】メニューの【管理ツール】	【アプリ】画面の【管理ツール】	【アプリ】画面の【コントロールパネル】—【システムとセキュリティ】—【管理ツール】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】—【Windowsツール】	【スタート】メニューの【Windows管理ツール】

本文中の表記(従来のOSにおける操作)	Windows Server 2012	Windows 8.1/8	Windows 11	Windows Server 2022/2019/2016 Windows 10
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【管理ツール】				

List Works

従来のOSにおける操作	Windows Server 2012 Windows 8.1/8	Windows 11	Windows Server 2022/2019/2016 Windows 10
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【環境設定】-【リスト管理サーバ】	【アプリ】画面の【List Works環境設定】をクリックして表示されたWindowsエクスプローラから、「リスト管理サーバ」を選択	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】-【List Works】-【List Works環境設定】-【リスト管理サーバ】	【スタート】メニューの【List Works】-【List Works環境設定】-【リスト管理サーバ】

製品ドキュメント、マニュアル

従来のOSにおける操作	Windows Server 2012 Windows 8.1/8	Windows 11	Windows Server 2022/2019/2016 Windows 10
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【ソフトウェア説明書】-【ソフトウェア説明書】	【アプリ】画面の【ソフトウェア説明書】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】-【List Works】-【ソフトウェア説明書】	【スタート】メニューの【List Works】-【ソフトウェア説明書】
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【ソフトウェア説明書】-【インストールガイド】	【アプリ】画面の【マニュアル】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】-【List Works】-【マニュアル】	【スタート】メニューの【List Works】-【マニュアル】
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【ソフトウェア説明書】-【バージョンアップ時の注意事項】(*1)			
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【保守ツール】-【トラブルシューティング】			
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works】-【オンラインマニュアル】-各マニュアル			
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works Print Agent】-【ソフトウェア説明書】-【ソフトウェア説明書】	【アプリ】画面の【ソフトウェア説明書】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】-【List Works Print Agent】-【ソフトウェア説明書】	【スタート】メニューの【List Works Print Agent】-【ソフトウェア説明書】
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【List Works Print Agent】-【ソフトウェア説明書】-【インストールガイド】	【アプリ】画面の【マニュアル】	【スタート】メニューの【すべてのアプリ】-【List Works Print Agent】-【マニュアル】	【スタート】メニューの【List Works Print Agent】-【マニュアル】

従来のOSにおける操作	Windows Server 2012 Windows 8.1/8	Windows 11	Windows Server 2022/2019/2016 Windows 10
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】—【List Works Print Agent】—【保守ツール】—【トラブルシューティング】			
【スタート】メニューの【すべてのプログラム】—【List Works Print Agent】—【オンラインマニュアル】—各マニュアル			

\*1: Solaris版List Works V11.0.0ではバージョンアップ時の注意事項は提供していません。

#### ワークユニットについて

List Works V11以降では、Interstage Application Serverの「ワークユニット」を「GlassFish Serverクラスター」に読み替えてください。

## 変更履歴

変更履歴は、以下のとおりです。

主な変更内容/変更箇所	版数
本書の対象VLにSolaris版List Works V11.0.0、List Works Print Agent V11.0.0を追加しました。	2.0版
本書の対象VLにWindows版List Works V10.3.3、List Works Print Agent V10.3.3を追加しました。 はじめにの同梱しているSymfoware ServerをList Works以外の運用で使用する場合の説明に、V10.3.3を追加しました。 はじめにの説明・表記上の約束に、Windows Server 2019を追加しました。	1.3版
2.3.6章を追加しました。	1.2版
3.1.19章を追加しました。	1.1版
障害レポートPH04649により、2.1.5章および3.5.2章を追加しました。 障害レポートPG96343により、2.3.5章を追加しました。 3.1.4章の[対処]、SQLSTATE値40001の対処方法を修正しました。 3.1.18章、3.2.39章、および3.3.54章を追加しました。	初版



# 目次

第1章 トラブル発生時の参照資料	1
1.1 Windows 版	1
1.1.1 ログファイル	1
1.1.2 参考資料	2
1.2 Solaris版	2
1.2.1 ログファイル	2
1.2.2 参考資料	4
第2章 Windows版	5
2.1 エラー通知のトラブル	5
2.1.1 KERNEL32.DLLの初期化エラーが発生し、印刷されない。	5
2.1.2 印刷エラーが発生したとき、List Works がメッセージ通知クライアントに表示するエラーメッセージと同時に、Windowsのエラーメッセージも配信出力サーバを運用しているサーバ上に表示される。	5
2.1.3 システムのシャットダウン時またはPrint Managerのインストール時、イベントログに「イベントID: 6862 配信出力サーバで問題が発生したため、プリンタの状態監視処理に失敗しました。」「イベントID: 6606 印刷状態の取得に失敗しました。依存するサービスが停止しています。」のメッセージが出力される。	6
2.1.4 配信管理サーバの操作ログの出力に失敗する。イベントログに「イベントID: 1108 操作ログファイルのオープンに失敗しました。」のメッセージが出力される。	6
2.1.5 印刷中に異常が発生したにも関わらず、印刷エラーのメッセージが通知されない。	7
2.2 印刷時のトラブル	8
2.2.1 帳票出力アプリケーションで、帳票の登録は正常終了したが、印刷されない。	8
2.2.2 プリンタ装置のエラーを解除しても印刷が自動再開されない。	8
2.2.3 Printia LASERシリーズ(Printianavi搭載機)でプリンタエラーが発生してもエラーメッセージが表示されない。	9
2.2.4 セパレート印刷を行った場合、帳票出力アプリケーションで指定した部数が印刷されない。	9
2.2.5 到着通知パネルから「保留」を行うと、帳票が印刷されない。	10
2.2.6 大量ページを印刷すると、印刷がエラーとなる場合がある。	11
2.2.7 List Creator互換印刷を使用して印刷すると、ページの外側が欠けてしまう。	11
2.2.8 印刷を取り消すと、配信出力サーバのイベントログに6860、7300、7303のメッセージが出力される。	12
2.3 表示時のトラブル	12
2.3.1 Web配信操作クライアントを使用中に「HTTP 404」「HTTP 500」「サーバでエラーが発生しました」「Internal Server Error」などのメッセージが表示される。または、Webブラウザの画面に何も表示されない。	12
2.3.2 List Works帳票を表示しようとする、帳票表示画面が起動されるが、帳票が表示されない。	13
2.3.3 List Works帳票を表示すると、Webブラウザが異常終了する。	13
2.3.4 List Worksをバージョンアップしたが、検索条件画面などが正しく表示されない。	14
2.3.5 帳票表示画面が表示されている状態で、出力指示画面で【表示】ボタンをクリックすると、エラーになる場合がある。	15
2.3.6 Web配信操作クライアントで、List Creator互換印刷を使用して印刷する帳票をPDF表示すると、Internet Explorerでエラーになる。	16
2.4 帳票の操作時のトラブル	17
2.4.1 lwopformコマンドまたはlwdelexpireコマンドを実行しても、帳票を削除できない。	17
2.5 サービス「PRT Server Service」のトラブル	18
2.5.1 サービス「PRT Server Service」を停止できない。	18
2.5.2 サービス「PRT Server Service」の停止に時間がかかる。	18
2.6 メッセージ通知クライアント(到着通知パネル)のメッセージ	18
2.6.1 メッセージ「メッセージサーバXXXXXXXXX の電源が未投入、または通信に失敗しました。」が表示される。	18
2.6.2 メッセージ「メッセージ管理制御とのコネクションが切断されたため、メッセージ監視処理を中止します。」が表示される。	19
2.6.3 メッセージ「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」が表示される。	19
2.6.4 印刷指定画面に応答すると、メッセージ「不当なページ数が指定されました。」が表示される。	20
第3章 Solaris版	21
3.1 環境設定/運用時に関するトラブルが発生したら	21
3.1.1 List Manager管理データベースに格納した文字が化ける、または取り出した文字が化ける。	21
3.1.2 復元後の環境でList Managerが正常に動作しない。	21
3.1.3 システムログに「データベースに接続できませんでした」のエラーメッセージが出力される。	22
3.1.4 「データベースでエラーが発生しました」のエラーになる。	23
3.1.5 「データベースでエラーが発生しました」のエラーが一定間隔で出力される。	25

3.1.6 「データベースに接続できません」のエラーになる.....	26
3.1.7 環境設定コマンドまたは運用コマンドを実行すると「動作環境に誤りがあります」というメッセージが出力される.....	26
3.1.8 環境設定コマンドまたは運用コマンドを実行すると「List Managerの管理者権限がありません。権限のあるユーザでログインしてください」というメッセージが出力される.....	26
3.1.9 論理あて先の変更時、「通信先ホストに接続できませんでした」というメッセージが出力される.....	27
3.1.10 帳票出力時にプリンタのプロパティの設定が有効とならない場合がある.....	27
3.1.11 帳票管理サーバのシステムログの日本語メッセージが文字化けする場合がある.....	28
3.1.12 帳票管理サーバをシャットダウンまたは再起動した場合、「RDB: ERROR: qdg02842u:シグナル9を受信したためRDBIIシステム空間が異常終了しました」というメッセージがコンソールに出力される.....	28
3.1.13 List Managerを再起動していないのに、帳票管理サーバの環境設定ファイルの変更内容が有効になる.....	29
3.1.14 List Managerのデーモン開始時、デーモンがすでに起動されている旨のメッセージが出力される.....	29
3.1.15 lmdlexpireコマンド(保存期間を経過した帳票を削除するコマンド)を実行すると「メモリ資源不足」のエラーが出力される場合がある.....	29
3.1.16 クラスタ運用でInterstage Application Serverを初期化するシェル「lminits.sh」を実行すると、エラーが出力される.....	30
3.1.17 Webアプリケーションサーバの環境構築シェル(createWU.sh)の実行が、「Abnormal End」で終了する.....	31
3.1.18 lmspasswdコマンドでユーザ「lmuser」のパスワードを変更した後、List Managerのコマンドを実行すると異常終了する.....	31
3.1.19 データベースサーバのシステムログに「JYP5007E RDBIIサーバ空間内のメモリ不足が発生しました」のメッセージが出力される場合がある.....	31
3.2 操作画面/帳票ブラウザ/帳票管理Javaインタフェースに関するトラブルが発生したら.....	32
3.2.1 IEのセキュリティレベルが「中」のゾーンに存在する帳票管理サーバにアクセスし、操作画面、または帳票ブラウザのログイン画面からログインを行うと、画面が表示されず、情報バーに警告が表示される(情報バーが表示されたことを表すダイアログが表示される場合もある).....	32
3.2.2 帳票ブラウザで帳票の操作時に「移動先の論理あて先の操作権限がない」のメッセージが表示される.....	34
3.2.3 出力状態が「出力エラー」または「応答待ち」の帳票に対して[出力中止]の操作を行った場合、出力状態が「出力中」となる場合がある.....	34
3.2.4 出力状態が「出力エラー」または「応答待ち」の帳票に対して[出力中止]の操作を行った場合、出力完了ページ数が0ページ以外に更新される場合がある.....	34
3.2.5 出力状態が「失敗」の帳票が存在する場合、帳票一覧画面でページ数の並べ替えを実行すると正しく並べ替えられない場合がある.....	35
3.2.6 出力ページ数が帳票全体のページ数に更新されたにもかかわらず、帳票の総ページ数が表示されない場合がある.....	35
3.2.7 帳票全体のページ数より小さいページ数が帳票の総ページ数に表示される場合がある.....	35
3.2.8 出力状態が「応答待ち」の帳票に対して[応答]の操作を行った場合、失敗する.....	36
3.2.9 COBOLアプリケーション連携機能を使用して登録した帳票が、帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない.....	36
3.2.10 帳票一覧画面を「自動更新する」に設定しているにもかかわらず、セッションタイムアウトが発生する.....	36
3.2.11 メッセージ「動作環境が異常です(Code : 70601)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない.....	37
3.2.12 メッセージ「エラーが発生しました。0x00070601-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない.....	38
3.2.13 メッセージ「帳票管理サーバでエラーが発生しました詳細:再生アプリケーションエラー(Code:ffff3000)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない.....	38
3.2.14 メッセージ「エラーが発生しました。0xffff3000-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない.....	38
3.2.15 メッセージ「java.lang.OutOfMemoryError」がエラー画面に表示される.....	38
3.2.16 帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からのプレビュー時、用紙サイズに合わせた拡大/縮小指定、原点位置指定が有効にならない.....	40
3.2.17 帳票の操作、および出力先の切り替えに時間がかかってしまう場合がある.....	40
3.2.18 操作画面/帳票ブラウザにログインすると無応答状態となり、その後「Internal Server Error」となる.....	41
3.2.19 操作画面/帳票ブラウザのログイン画面が表示されない、またはログイン後「Application server connection failed.」のエラーになる.....	41
3.2.20 帳票ブラウザのログイン画面を表示後、いつまでもユーザID、パスワードが入力不可のままとなる.....	41
3.2.21 論理あて先数または帳票数が多い場合、ログイン画面に「Internal Server Error」と表示される.....	42
3.2.22 操作画面を表示しているブラウザ画面上に「java.lang.OutOfMemoryError」、「javax.servlet.ServletException」、または「java.lang.NullPointerException」が表示される.....	42
3.2.23 論理あて先の出力先切り替えを行ったあと、帳票の操作ができない.....	44
3.2.24 Interstage管理コンソール、Interstage Java EE管理コンソール、またはGlassFish Server管理コンソールのログイン画面が表示できない.....	44

3.2.25 Interstage管理コンソールで配備したアプリケーションを起動すると、「IS: エラー: is20409:INTERSTAGEは起動されてい せん」が表示され起動できない	45
3.2.26 Interstage管理コンソールで配備したアプリケーションを起動すると、「IS: ERROR: is20450:Work unit (ワークユニット名) unable to process Reason code(518)」のエラーになる	46
3.2.27 Interstage管理コンソールがインストールされているマシンに存在するファイルを配備しようとしたが、配備に失敗、または配備 ファイルの詳細設定が行えない	46
3.2.28 帳票管理Javaインタフェースで、論理あて先のコメントなどを取得したとき、半角文字の「?」になる	47
3.2.29 帳票管理Javaインタフェースでプレビュー用のメソッドを生成すると「帳票のプレビュー (PDF) に失敗しました。(再生アプリ ケーションエラー)」となる	47
3.2.30 List Manager管理データベースに登録されている定義情報の取得時に、条件の絞り込みを行った場合、条件に一致する絞り込 み結果が取得できない	48
3.2.31 操作画面/帳票ブラウザの一部がタスクバーに隠れて見えなくなったり、ボタンが隠れて操作できなくなる場合がある	48
3.2.32 操作画面/帳票ブラウザで、操作を行うための各ボタンが表示されない	49
3.2.33 メッセージ「java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException」がエラー画面に表示され、帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指 示画面が表示できない	49
3.2.34 メッセージ「プレビュー処理が中断されました:帳票データファイルのオープンに失敗しました」がメッセージボックスに表示され、 登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない	50
3.2.35 メッセージ「エラーが発生しました。0x00061401-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面か らプレビューできない	50
3.2.36 帳票一覧画面または帳票ブラウザのプレビュー画面からの印刷時、または帳票ブラウザの手元プリンタ出力時に、エラーが発生 して印刷できない	50
3.2.37 操作画面を利用するユーザが帳票ブラウザを使用すると、表示されるはずの帳票が表示されない場合がある	51
3.2.38 操作画面をSSL環境で使用すると、警告メッセージが表示される場合がある	51
3.2.39 IEを使用し、操作画面または帳票ブラウザへのログイン画面を表示しようとすると、サイトを信頼済みサイトに追加するか検討 するように勧めるメッセージが表示される	52
3.3 帳票出力に関するトラブルが発生したら	52
3.3.1 List Works Workstationをインストールすると、そのコンピュータに帳票を配信出力することができない 帳票一覧画面で帳票の 出力状態を確認しても「配信依頼」または「配信待ち」のままになる	52
3.3.2 帳票出力時、帳票出力サーバのイベントログにメッセージが出力され、帳票出力できない	53
3.3.3 管理対象プリンタで帳票を出力した場合、Windowsのプリンタ画面に表示されるドキュメント名の末尾に、文字化した文字列が 付加される	54
3.3.4 帳票出力時に、帳票定義情報に定義したデバイスフォントが指定したフォントサイズで出力されない	54
3.3.5 帳票出力時に、帳票定義情報に定義したデバイスフォントで出力されない	54
3.3.6 帳票を出力するアプリケーションは正常終了したにもかかわらず、帳票の出力状態が「失敗」、または「接続エラー」となり、帳票が 出力されない	55
3.3.7 帳票の出力状態が「出力待ち」のままとなり、帳票が出力されない	56
3.3.8 帳票の出力状態が「配信依頼」、「配信待ち」、または「接続エラー」のままとなり、帳票が出力されない	56
3.3.9 出力中止、出力強制中止、保留解除、応答の操作を行った時に、「内部エラー」が発生する	57
3.3.10 List Creatorデザイナーで作成した帳票の出力時に、「帳票に存在しない項目がある」のエラーとなる	58
3.3.11 帳票出力を行うアプリケーションが帳票の出力時にエラーとなる	58
3.3.12 帳票の配信に失敗する	59
3.3.13 大量ページの帳票を印刷すると、印刷に失敗する場合がある	59
3.3.14 ホスト帳票連携機能を使用して大量ページの帳票を印刷すると、帳票の出力状態が「出力待ち」または「出力中」のままの状態 となる場合がある	60
3.3.15 Javaインタフェースで帳票出力を実行しても帳票の出力時にエラーとなる	61
3.3.16 帳票出力した場合、帳票の出力状態が「配信中」のまま変わらない場合がある	62
3.3.17 帳票出力時にファイル使用中のエラーが表示される	63
3.3.18 lmpofrmコマンドで、存在する論理あて先、帳票番号、または帳票IDを指定しているのに何も表示されない	63
3.3.19 帳票を帳票出力サーバで出力すると、メッセージが到着通知パネルに表示され、印刷できない	63
3.3.20 「印刷時、メモリまたはリソースが不足している可能性があります」のエラーになる	64
3.3.21 組込みメディア項目を定義した帳票の出力時にエラーになる	64
3.3.22 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力処理中にエラーが発生しました。(エラーコード:XX)」のエラーが出力される	65
3.3.23 「帳票が壊れている」のエラーが出力される	65
3.3.24 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力サーバに対してサポート外の要求が送信されました」のメッセージが出力される	66
3.3.25 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力サーバがサポートしていない操作が実行されました。帳票出力サーバの製品の バージョンを確認してください。」のメッセージが出力される	66
3.3.26 「プリンタが存在しない」のエラーになる	66

3.3.27 電子保存時、帳票出力サーバのイベントログで「電子保存時にエラーが発生しました。ListWORKSのログ情報でエラーの詳細を確認してください。詳細コード:[10]」のエラーになる.....	67
3.3.28 電子保存時、帳票出力サーバのイベントログで「帳票出力中にエラーが発生しました。(エラーコード:40)」のエラーになる.....	67
3.3.29 入力データ形式が「XML形式」の帳票を出力すると「クラスが登録されていません」のエラーになる.....	68
3.3.30 入力データ形式が「XML形式」の帳票を出力すると「符号化方式はサポートしていません」のエラーになる.....	68
3.3.31 入力データにUNICODE (UCS2/UTF8) のデータを指定した場合に文字コード変換エラーになる.....	69
3.3.32 日本語EUC (EUC-JP) で作成したXMLデータを入力データにして帳票出力すると、「符号化方式で使用できない文字がある」のエラーになる.....	69
3.3.33 PDFファイル保存時「製品が正しくインストールされていない」のエラーになる.....	70
3.3.34 PDFファイル保存時、またはOWFファイル生成時、存在していた元のファイルが削除されてしまう.....	70
3.3.35 データが途中で切れて出力される.....	71
3.3.36 印刷時、指定した給紙方法で給紙されない.....	71
3.3.37 出力結果が文字化けしたり帳票が出力されない.....	72
3.3.38 指定したフォントで出力されない.....	72
3.3.39 印刷時、ページの外側が欠けて出力される.....	73
3.3.40 帳票出力コマンド実行時、「コマンドが存在しない」のエラーになる.....	73
3.3.41 Javaインタフェースを呼び出したJavaアプリケーションがハングアップしたり、例外が発生したりする.....	74
3.3.42 Javaインタフェースを呼び出した場合、「java.lang.ClassNotFoundException」の例外が発生する.....	74
3.3.43 アプリケーションまたはList Managerのデーモンがコアダンプする.....	74
3.3.44 GSコネクタ連携時に帳票を「出力する」指定を行っても、配信されずに「登録」という状態となる.....	75
3.3.45 用紙交換メッセージが表示された状態にもかかわらず、帳票の出力状態が「出力エラー」となり応答による印刷が継続できない場合がある.....	75
3.3.46 帳票の出力状態が出力完了または出力済にもかかわらず、最終ページまで出力されない場合がある.....	75
3.3.47 Web手元印刷用の論理あて先に登録された帳票を出力した場合、または複写/移動と同時に出力した場合、「同名のOWFファイルがすでに存在します。」のエラーとなる.....	76
3.3.48 Web手元印刷用の論理あて先に登録された帳票を複写/移動と同時に出力したとき、複写/移動先の出力方法とは異なる拡張子のファイル名が作成される.....	76
3.3.49 帳票一覧画面に出力状態が「応答待ち」の帳票が2件以上表示され、応答画面から印刷の続行ができない.....	77
3.3.50 帳票の出力時に出力範囲の指定を行った場合、意図しないページが出力される.....	77
3.3.51 帳票出力した場合、帳票の出力状態が「配信待ち」のまま変わらない場合がある.....	78
3.3.52 List Creatorコネクタ連携型(帳票配信型)の運用において、COBOLアプリケーションから帳票を出力すると、システムログにメッセージが出力され、COBOLアプリケーションがエラーとなる.....	78
3.3.53 Web手元印刷でPDFファイルを出力した場合に、PDFファイルが意図したディレクトリに格納されない.....	79
3.3.54 帳票管理サーバで「内部エラー」が発生し、帳票を出力できない.....	80
3.4 到着通知パネルのメッセージに関するトラブルが発生したら.....	80
3.4.1 次のエラーメッセージが出力される「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」.....	80
3.4.2 到着通知パネルに返答メッセージまたは通知メッセージが通知されない.....	81
3.4.3 メッセージ「メッセージサーバXXXXXXXXXの電源が未投入、または通信に失敗しました。」が表示される.....	81
3.4.4 メッセージ「メッセージ管理制御とのコネクションが切断されたため、メッセージ監視処理を中止します。」が表示される.....	82
3.4.5 メッセージ「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」が表示される.....	83
3.4.6 印刷指定画面に「応答」と、メッセージ「不当なページ数が指定されました。」が表示される.....	83
3.5 エラー通知に関するトラブルが発生したら.....	83
3.5.1 印刷エラーが発生したとき、List Managerが表示するエラーメッセージと同時に、Windowsシステムのエラーメッセージも帳票出力サーバ上に表示される.....	83
3.5.2 印刷中に異常が発生したにも関わらず、印刷エラーのメッセージが通知されない.....	84
3.6 印刷時にトラブルが発生したら.....	85
3.6.1 帳票を出力するアプリケーションは正常終了したが、印刷されない.....	85
3.6.2 プリンタ装置のエラーを解除しても印刷が自動再開されない.....	85
3.6.3 PrintiaLASERシリーズ(Printianavi搭載機)印刷中にプリンタエラーが発生してもエラーメッセージが表示されない.....	86
3.6.4 Windowsのプリンタフォルダから印刷ドキュメントを「削除」しても、「保留」の状態が残ることがある.....	86
3.6.5 印刷エラーの返答メッセージウィンドウから「削除」または「印刷打ち切り」を行っても、帳票が「印刷済」の状態が残ることがある.....	87
3.6.6 印刷エラーの返答メッセージウィンドウから「保留」を行っても、帳票が出力保留状態にならない場合がある.....	87
3.6.7 帳票の「出力中止」または「強制中止」の操作が正常終了しても、帳票の出力が中止されない場合がある.....	87
3.6.8 区切りページ出力指定をした場合、ユーザアプリケーションで指定した部数が印刷されない.....	88
3.7 PRT Server Serviceに関するトラブルが発生したら.....	89



3.7.1 PRT Server Serviceを停止できない	89
3.7.2 PRT Server Serviceの停止に時間がかかる	89
3.8 Web手元印刷(OWFファイル生成時)でトラブルが発生したら	89
3.9 PDF変換機能に関するトラブルが発生したら	89
3.9.1 正しく表示されない文字が存在する	89
3.9.2 Adobe Readerなどで画面表示した結果、網がけパターンが不規則に表示される	90
3.9.3 ファイルサイズの大きいPDFファイルが正しく表示されない	91
3.9.4 PDFファイルが期待した用紙サイズで印刷されない	91
3.9.5 Adobe Readerでは正しく表示されているが印刷すると正しく印刷できない	91
3.9.6 外字(利用者定義文字)が表示されない	92
3.9.7 AcrobatまたはAdobe Readerから印刷すると帳票定義時に指定した用紙サイズで印刷されない	93
3.9.8 帳票定義時に指定したバーコード項目のサイズで出力されない	94
3.9.9 メッセージが出力されPDFファイル保存されない	95
3.9.10 KOL6形式のオーバーレイでイメージを使用した場合、メッセージが出力されPDFが作成できない	95
3.9.11 カスタマバーコード使用時にエラーとなる	96
3.9.12 Adobe Readerでファイルを開くときにメッセージが表示される	96
3.9.13 出力されたPDFファイルにフォントがエンベッドされているかを確認したい	97
3.9.14 パスワードの設定でオープンパスワードおよびセキュアパスワードの違いが分からない	97
3.9.15 PDFメール配信するとメッセージが出力され、PDFメール配信ができない	97
3.9.16 PDFファイルの自動印刷指定を行ったが、印刷が行われない	98
3.9.17 URI閲覧制限の指定を行ったが、機能が正しく動作しない	98
3.9.18 Adobe Readerでファイルを開いたとき、設定したセキュリティが有効にならない	99
3.10 List Creatorコネクタ連携機能に関するトラブルが発生したら	100
3.10.1 List Creatorコネクタ連携機能使用時(prputexコマンド使用時)に、「通信モジュールでその他のシステムエラーが発生しました。(2-0-0)」のエラーとなり出力できない	100
3.10.2 List Creatorコネクタ連携機能使用時(Javaインタフェース使用時)に、「その他のシステムエラーが発生しました。(2-0-0,While sending files.)」のエラーとなり出力できない	101
3.11 COBOLアプリケーション連携機能に関するトラブルが発生したら	101
3.11.1 1行目の文字が印刷されない	101
3.11.2 出力結果の左端が欠ける	102
3.11.3 I制御による両面印刷の指定が有効にならない	102
3.11.4 帳票の総ページ数、および出力ページ数が正しく表示されず、分割されたスプールのうちで先頭のスプールのページ数が表示される、または分割されたスプールのうちで先頭のスプールの出力が完了した時点で、帳票の出力状態が「出力済」となる	102
3.11.5 プリンタドライバの設定で給紙方法を自動給紙に設定しても有効にならない	104
3.11.6 プリンタドライバの設定で用紙方向を横方向に設定しても有効にならない	105
3.11.7 COBOLアプリケーションの文字コード系がEUC(U90)の場合、帳票定義体または画面帳票定義体の固定リテラル項目に設定した文字が「_」に文字化けする	105
3.11.8 帳票定義体や画面帳票定義体に指定した印刷属性(用紙サイズ、印刷面など)が反映されない	105
3.11.9 電子帳票情報ファイルに指定した属性の優先順位が仕様と異なる	106
3.11.10 日本語の文字ピッチが詰まったように出力される場合がある	106
3.11.11 帳票の日本語文字に「_」が出力される場合がある	106
3.11.12 COBOLアプリケーションで「N9」の通知コードが通知される	107
3.11.13 帳票出力サーバで「ListCREATOR:MeFt」のイベントログのERROR CODEが62、65、6B、6Cのエラーになる	107
3.11.14 帳票出力サーバで「ListCREATOR:MeFt」のイベントログのERROR CODEが44のエラーになる	107
3.11.15 帳票出力サーバでERROR CODEが24のエラーになる	108
3.11.16 帳票が出力されず、帳票の出力状態が「配信待ち」のまま変わらない場合がある	108
3.11.17 メッセージ通知クライアントで、Message Clientのモジュール(wtbase.exe)に対して「Windows セキュリティの重要な警告」画面が出力される	109
3.12 MessageTransferシステムに関するトラブルが発生したら(Solaris版V10.1.0以前)	110
3.13 IPv6環境での使用時に関するトラブルが発生したら	110
3.13.1 イベントログにイベントIDが11001、11005、111、112、201のメッセージが出力され、メッセージ通知クライアントにプリンタのエラーが通知されない	110
3.13.2 到着通知パネルにメッセージ「メッセージサーバXXXXXの電源が未投入、又は通信に失敗しました。」あるいは「メッセージサーバXXXXXの名前解決に失敗しました。」が表示される	111
索引	113

# 第1章 トラブル発生時の参照資料

## 1.1 Windows 版

### 1.1.1 ログファイル

以下の資料を採取し、エラーメッセージが出力されていないかを確認してください。  
エラーメッセージが出力されている場合は、前後のメッセージも確認してください。

#### 1. イベントログ

Windows上で動作するアプリケーション、システムのエラー情報などが出力されます。

【イベントビューア】を起動し、「アプリケーションログ」と「システムログ」を確認してください。

＜イベントビューアの起動方法＞

List Worksサーバで、【スタート】メニューの【すべてのプログラム】－【管理ツール】－【イベントビューア】をクリックします。

＜イベントログの採取方法＞

1. 【ツリー】の「アプリケーションログ」「システムログ」を選択します。
2. 右クリックして「一覧のエクスポート」をクリックします。
3. 「ファイルの種類」はText形式かCSV形式で、任意のファイル名で出力します。

#### 2. 配信管理サーバの操作ログ (lwdstlog\_IPアドレス\_nn.csv、lwdstlog\_YYYYMMDD\_IPアドレス\_nn.csv)

以下の操作や処理が、配信管理サーバの操作ログに出力されます。

- ・ 帳票の登録
- ・ 帳票の印刷、表示、削除など
- ・ 印刷ジョブの削除、配信出力先の変更、優先度の変更など
- ・ 配信フォルダの定義、削除、配信出力先や出力動作モードの切り替えなど
- ・ 配信出力先の定義、削除、起動や停止など
- ・ プリンタ構成の定義、削除など
- ・ ログイン、ログアウト

＜ログファイルの格納場所＞

配信管理サーバの環境設定ファイルの「logfolder」キーで設定されている格納場所

格納場所の初期値には、以下のフォルダが設定されています。

List Worksのインストール先フォルダ¥Distribute¥oprlog

なお、格納場所を指定しない場合、省略した場合、または存在しないフォルダを指定した場合は、以下のフォルダ配下に出力されます。

List Worksのインストール先フォルダ¥Distribute¥oprlog

#### 3. リスト管理サーバの操作ログ (ListLog.csv、ListLog\_XXX.csv)

List Works帳票を表示するときのログを出力するログファイルです。

参照する場合は必ず、作業フォルダに該当ファイルを複写したものを参照してください。

#### <ログファイルの格納場所>

【リスト管理サーバ環境設定】ダイアログボックス－【操作ログ】タブの「格納場所」に設定されている場所に格納されています。

格納場所の初期値には、以下のフォルダが設定されています。

List Worksのインストール先フォルダ¥Manage¥Log

なお、格納場所を指定しない場合は、以下のフォルダ配下に出力されます。

List Worksのインストール先フォルダ¥Program¥Log



- 【リスト管理サーバ環境設定】ダイアログボックスで、ログファイルの格納場所を確認した後、【OK】ボタンをクリックしないでください。【キャンセル】ボタンで閉じていただくように、お願いします。
- ログファイルの格納場所として指定するフォルダには、List Worksを使用するユーザに対するフルアクセス権が必要です。

#### 4. Symfowareデータベース構築スクリプトのログ(dbsetuplog\_LWLDSTDB.txt)

Symfowareデータベース構築スクリプトが出力するログファイルです。

##### <ログファイルの格納場所>

List Worksのインストール先フォルダ¥setup¥db¥symfo¥LWLDSTDB¥dbsetuplog\_LWLDSTDB.txt

### 1.1.2 参考資料

---

本資料とあわせ、以下の資料も参照ください。

#### 1. List Worksのマニュアル

List Worksサーバ、List Worksクライアントで参照できます。

【スタート】メニューの【プログラム】－【List Works】－【オンラインマニュアル】から起動してください。

#### 2. ご使用になる前に(Web配信操作クライアント)

Web配信操作クライアントを使用する前に、必ずご一読ください。

Webブラウザを起動し、Web配信操作画面に割り当てられたURLを指定して、【ご使用になる前に】ボタンをクリックしてください。

#### 3. Interstage Application Serverのマニュアル

Interstage Application Serverのマニュアルは下記URLから参照することができます。

<http://software.fujitsu.com/jp/manual/>

## 1.2 Solaris版

---

### 1.2.1 ログファイル

---

以下の資料を採取し、エラーメッセージが出力されていないかを確認してください。確認する場合は必ず、作業フォルダに該当ファイルを複製したものを参照してください。

エラーメッセージが出力されている場合は、前後のメッセージも確認してください。

## 1. 帳票管理サーバのログ

以下のログが出力されます。

### システムログ

Syslogを採取し、参照してください。

### 監査証跡ログ

監査証跡ログを確認するには、システム管理者権限で監査証跡ログファイルをテキストエディタなどで開きます。

出力される監査証跡ログは、以下の2種類があります。

#### 監査証跡ログ(操作ログ)

以下の操作や処理が、監査証跡ログ(操作ログ)に出力されます。

- 帳票の登録
- 環境設定コマンド、運用コマンドの実行
- 操作画面、帳票ブラウザ、帳票管理Javaインタフェースの実行
- 帳票の一括操作
- 期限切れ帳票の削除
- システムによる操作 など

<ログファイルの格納場所>

帳票管理サーバの環境設定ファイル(listmanager.conf)のOperateLogDirキーで指定されたフォルダ

初期値は、/var/opt/FJSVlstm/seclog/lm\_operateyyyyymmdd.log

#### 監査証跡ログ(出力ログ)

以下の操作や処理が、監査証跡ログ(出力ログ)に出力されます。

- 帳票の出力開始/出力完了
- 帳票の出力保留/保留解除

<ログファイルの格納場所>

帳票管理サーバの環境設定ファイル(listmanager.conf)のOutputLogDirキーで指定されたフォルダ

初期値は、/var/opt/FJSVlstm/seclog/lm\_outputyyyyymmdd.log

## 2. 帳票出力サーバのログ

イベントログに出力されます。

【イベントビューア】を起動し、「アプリケーションログ」と「システムログ」を確認してください。

### <イベントビューアの起動方法>

帳票出力サーバで、【スタート】メニューの【すべてのプログラム】-【管理ツール】-【イベントビューア】をクリックします。

### <イベントログの採取方法>

1. 【ツリー】の「アプリケーションログ」「システムログ」を選択します。
2. 右クリックして「一覧のエクスポート」をクリックします。
3. 「ファイルの種類」はText形式かCSV形式で、任意のファイル名で出力します。



## 1.2.2 参考資料

---

本資料とあわせ、以下の資料も参照ください。

### 1. List Worksのマニュアル

List Worksを格納しているCD-ROMを直接参照するか、ディスクにコピーして参照する、または帳票出力サーバで参照できます。  
帳票出力サーバでは、【スタート】メニューの【プログラム】—【List Works Print Agent】—【オンラインマニュアル】から起動してください。

ログ情報の形式や内容については、以下のマニュアルを参照してください。

#### OSが出力するログ

- “帳票印刷配信機能 メッセージ集”
- “帳票印刷配信機能 ホスト帳票連携メッセージ集”
- “帳票印刷配信機能 GSコネクタ連携メッセージ集”(Solaris版V10.1.0以前の場合)

#### 監査証跡ログ

- “帳票印刷配信機能 運用ガイド”

### 2. Interstage Application Serverのマニュアル

Interstage Application Serverのマニュアルは下記URLから参照することができます。

<http://software.fujitsu.com/jp/manual/>

## 第2章 Windows版

### 2.1 エラー通知のトラブル

エラー通知に関するその他のトラブルの原因と、その対処方法について説明します。

#### 2.1.1 KERNEL32.DLLの初期化エラーが発生し、印刷されない。

##### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

##### 原因

配信出力サービスが起動する、帳票を印刷するプロセス(lwlprprt.exe、lwlprcan.exe)や、印刷状態を通知するプロセス(lwlprstateget.exe)の起動処理が失敗した場合、例外コード0xC0000142で異常終了します。0xC0000142は、アプリケーションの実行に必要なDLLの初期化処理に失敗したことを意味します。

アプリケーションの実行に必要なDLLの初期化処理に失敗する原因としては、デスクトップヒープ(Windowsが管理している領域)の枯渇が発生したことが考えられます。

##### 対処

帳票を印刷する多重度を減らしてください。または、しばらく時間をおいて帳票を再度印刷してください。

#### 2.1.2 印刷エラーが発生したとき、List Works がメッセージ通知クライアントに表示するエラーメッセージと同時に、Windowsのエラーメッセージも配信出力サーバを運用しているサーバ上に表示される

##### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

##### 原因

VSP/VSシリーズおよびPrintia LASERシリーズ(Printianavi搭載機)以外のプリンタを配信出力先で定義したプリンタとし、印刷エラーが発生した場合に本現象が発生します。List Worksがメッセージ通知クライアントに表示したメッセージに応答することで、Windowsシステムのメッセージボックスは自動的にクローズされます。

##### 対処

Windowsシステムのメッセージが表示されないように設定します。ただし、この設定をすると、以下の問題が発生します。

- プリンタの追加で、「ポートの構成」を選択しても設定画面が表示されない。
- Printia LASER XLシリーズのプリンタで、【ドキュメントの既定値】画面の【用紙】タブで【ステータス表示】ボタンをクリックしても、プリンタステータスの獲得はできない。

上記の問題に対して支障がないことを確認し、以下の手順で、設定してください。

1. 【スタート】メニューの【管理ツール】—【サービス】をクリックします。  
→【サービス】ダイアログボックスが表示されます。
2. 【サービス】ダイアログボックスで「Print Spooler」を選択し、【操作】メニューから【プロパティ】を実行します。  
→サービス「Print Spooler」の【プロパティ】画面が表示されます。

3. サービス「Print Spooler」の【プロパティ】画面の【ログオン】タブで「デスクトップとの対話をサービスに許可」を無効にし、【OK】ボタンをクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

### 2.1.3 システムのシャットダウン時またはPrint Managerのインストール時、イベントログに「イベントID:6862 配信出力サーバで問題が発生したため、プリンタの状態監視処理に失敗しました。」「イベントID:6606 印刷状態の取得に失敗しました。依存するサービスが停止しています。」のメッセージが出力される。

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

サービス「LW Print State Service」が停止する前に、システムまたはPrint Managerのインストーラによって、サービス「PRT Server Service」が停止された場合に、本現象が発生します。

#### 対処

対処の必要はありません。サービス「LW Print State Service」がサービス「PRT Server Service」の起動状態を監視しているため、表示されるメッセージです。動作上は問題ありません。なお、Print Managerのインストール後は、システムを再起動してください。

### 2.1.4 配信管理サーバの操作ログの出力に失敗する。イベントログに「イベントID:1108 操作ログファイルのオープンに失敗しました。」のメッセージが出力される。

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因1

配信管理サーバの操作ログファイルへのアクセス権がありません。

#### 対処1

以下のアカウントに対して、操作ログファイルの格納先にフルコントロールのアクセス権を設定してください。

操作ログファイルの格納先については、“[第1章トラブル発生時の参照資料](#)”を参照してください。

- サービス「TransactionDirector」のログオンアカウント
- サービス「INTERSTAGE」のログオンアカウント
- サービス「Interstage Operation Tool」のログオンアカウント
- 配信管理サーバの環境設定用のコマンドおよび運用用のコマンドを実行するユーザ(管理者権限)

#### 原因2

配信管理サーバの操作ログファイルが参照されています。

#### 対処2

参照されている配信管理サーバの操作ログファイルを閉じてください。

配信管理サーバの操作ログファイルを参照する場合は、List Worksが使用されていない状態で参照するか、配信管理サーバの操作ログファイルを別の場所に複写してから参照してください。

### 原因3

List Works処理中に、配信管理サーバの操作ログファイルの複写またはバックアップを行いました。

### 対処3

配信管理サーバの操作ログファイルの複写またはバックアップは、List Worksサービスを停止した後に行ってください。

### 原因4

ウイルスチェックソフトが、配信管理サーバの操作ログファイルを監視しています。

### 対処4

配信管理サーバの操作ログファイルが格納されているフォルダを、ウイルスチェックソフトの監視対象から外してください。

## 2.1.5 印刷中に異常が発生したにも関わらず、印刷エラーのメッセージが通知されない。

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

印刷ドキュメントのスプールデータ形式が、RAW形式です。RAW形式のスプールデータの場合、初期設定では、印刷エラーのメッセージが通知されません。

スプールデータ形式は、Windowsのプリンタ画面のドキュメントのプロパティの「全般」タブに表示されるデータ型で確認できます。

### 対処

以下のいずれかの対処をしてください。

- ・ 印刷ドキュメントのスプールデータ形式を、EMF形式に変更する。
- ・ スプールデータ形式をRAW形式のまま変更せずに、印刷エラーメッセージを通知する設定をする。

#### 印刷エラーメッセージを通知する設定手順(注)

スプールデータ形式がRAW形式の場合に、印刷エラーメッセージを通知するには、以下の手順で設定します。

1. 管理者権限を持つユーザでログオンします。
2. コマンドプロンプトを「管理者として実行」で起動します。
3. 以下のフォルダに移動します。

```
> cd (List Worksのインストール先フォルダ) %PrintMGR%\Bin
```

4. "pmrawerrmode.bat"を実行します。

```
> pmrawerrmode.bat 1
```

設定された場合、標準出力に「MODE : ON」が表示されます。

```
> pmrawerrmode.bat  
MODE : ON
```

5. コンピュータを再起動します。  
コンピュータの再起動後に、設定が有効になります。

なお、本設定を解除するには、手順4.を以下のように置き換えて、設定時と同様に1.から実施してください。

```
> pmrawerrmode.bat 0
```

設定が解除された場合、標準出力に「MODE : OFF」が表示されます。

```
> pmrawerrmode.bat  
MODE : OFF
```

注:

V10.3.0以前を使用している場合は、以下の緊急修正を適用した後で設定してください。

- Windows版List Works V10.0.0～V10.1.0、または、List Works Print Agent V10.0.0～V10.1.0の場合  
T004460WP-05以降、または、T004461XP-06以降
- Windows版List Works V10.2.0～V10.3.0、または、List Works Print Agent V10.1.1～V10.3.0の場合  
T009312WP-01以降、または、T009316XP-01以降

## 2.2 印刷時のトラブル

---

帳票を印刷しているときに発生したトラブルの原因と、その対処方法について説明します。

### 2.2.1 帳票出力アプリケーションで、帳票の登録は正常終了したが、印刷されない

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 帳票を格納した配信フォルダの出力動作モードが、「ため置き印刷」になっている。
- 帳票が印刷中の状態で、コンピュータが再起動したため、印刷ドキュメントが消えてしまった。(Windowsの既知の問題)
- Windowsのプリンタフォルダが「プリンタをオフラインで使用する」の設定で使用している。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 配信フォルダに保存されている対象の帳票を、出力指示画面で印刷してください。  
配信フォルダに帳票が登録されると同時に印刷する「即時印刷」を行う場合は、配信フォルダの出力動作モードを「即時印刷」に変更してください。変更後に、設定した配信フォルダに登録される帳票に対して、即時印刷が有効になります。
- 対処方法はありません。出力指示画面で、対象の帳票を、再度印刷してください。
- Windowsのプリンタフォルダで「プリンタをオフラインで使用する」の設定を解除してください。

### 2.2.2 プリンタ装置のエラーを解除しても印刷が自動再開されない

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

VSP/VSシリーズを以下の設定で使用している可能性があります。

- ポートの設定画面の【リトライ動作】タブの「メッセージ通知できない場合も自動リトライする」が無効の設定になっている。

上記の場合、返答メッセージを通知先コンピュータに表示できなかった場合、印刷されません。

## 対処

ポートの設定画面の【リトライ動作】タブの「メッセージ通知できない場合も自動リトライする」を有効にしてください。

対象の印刷ジョブを、処理状況照会画面から取り消して、再度帳票の印刷を指示してください。



## 注意

返答メッセージを通知先コンピュータに表示できない原因として、以下のことが考えられます。システム動作環境を確認し、対処してください。

- ・ 通知先コンピュータの到着通知パネルが起動されていない。
- ・ 通知先コンピュータの電源が入っていない。
- ・ ネットワーク環境で異常が発生している。
- ・ 通知先コンピュータにログインしていない。
- ・ 返答メッセージの通知先に存在しないコンピュータ名を設定している。

## 2.2.3 Printia LASERシリーズ(Printianavi搭載機)でプリンタエラーが発生してもエラーメッセージが表示されない

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

Printia XLプリンタドライバV5.0L10以降を使用している可能性があります。

### 対処

V5.0L10以降をご使用の場合は、以下の手順でXLプリンタドライバの設定を行ってください。

1. Windowsで、プリンタフォルダのプロパティを開きます。
2. 【Printianavi】タブを選択し、以下の機能を有効にします。機能名は、プリンタドライバのバージョンによって異なります。
  - － SystemWalker/PrintMGRと連携する
  - － Systemwalker PrintMGRと連携する
  - － 到着通知パネルと連携する

なお、上記の機能は、【Printianavi】タブ内の【オプション】ボタンをクリックして開く画面内にある場合があります。

## 2.2.4 セパレータ印刷を行った場合、帳票出力アプリケーションで指定した部数が印刷されない

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

## 原因

セパレータ印刷をした場合、一部のプリンタではプリンタドライバの問題により、帳票出力アプリケーションで指定した部数が印刷されないことがあります。

## 対処

レジストリエディタを起動し、以下のレジストリを設定してください。これにより、帳票出力アプリケーションで指定した部数で印刷されるようになります。

- ・ レジストリキー

¥¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Printers¥プリンタ名¥PrinterDriverData

- ・ 追加する値

— 名前

PPnBannerNoResetDC

— データ型

REG\_DWORD

— データ

1

— 基数

10進数



## 注意

本対処を行った場合、以下の結果になります。

- ・ セパレータが部数分、印刷されます。
- ・ セパレータの給紙方法が指定してある場合でも、帳票と同じ給紙方法に従います。

## 2.2.5 到着通知パネルから「保留」を行うと、帳票が印刷されない。

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

「保留」が行われた印刷ジョブは、印刷されません。

### 対処

以下のどちらかを行ってください。

- ・ 保留を解除する
- ・ 印刷を取り消す

上記の操作手順は、以下のとおりです。

#### 保留を解除する場合

以下のどちらかの操作をします。

- 印刷ドキュメントは、プリンタが接続されたWindowsのスプーラで「一時停止」の状態となっています。Windowsのプリンタ画面から、「一時停止」の印刷ドキュメントを選択し、印刷を再開します。
- Print Managerがインストールされている場合は、Print Managerの印刷操作画面で保留を解除します。

#### 印刷を取り消す場合

処理状況照会画面で、「保留」を行った印刷ジョブを選択して【印刷取消】ボタンをクリックします。そのあと再度帳票を印刷してください。



#### 注意

【保留】ボタンはPrint Managerで使用できるボタンです。帳票印刷配信機能では、到着通知パネルから「保留」を行わないでください。

## 2.2.6 大量ページを印刷すると、印刷がエラーとなる場合がある。

---

### 詳細

以下のイベントログが出力されます。

イベントID : 7303 帳票の印刷、または表示に失敗しました。  
内部エラーが発生しました。

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

Windowsの仕様により、スプールファイルのサイズに制限があります。

印刷データやオーバーレイに画像データが含まれる帳票を印刷したり、大量ページを印刷したりすると、スプールファイルのサイズの制限を超えてしまい、その結果、印刷が正常に行われない場合があります。

### 対処

大量ページの印刷時には、スプールファイルのサイズが4GBより小さい値となるように、ページ分割して印刷するなどして運用してください。

同じ帳票を印刷した場合でも、オペレーティングシステムによってスプールファイルのサイズが異なる場合があるため、ご注意ください。

Windows Server 2008およびWindows Server 2012は、スプールファイルのサイズが大きくなることが確認されています。

## 2.2.7 List Creator互換印刷を使用して印刷すると、ページの外側が欠けてしまう。

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Creatorの帳票定義で、プリンタの印字不可領域に項目や罫線などが定義されている。
- List Creatorの帳票定義で指定している用紙が、List Works配信出力サーバに定義されていない。

### 対処

原因に応じて、以下の対処を行ってください。



- ・ プリンタの印字不可領域を確認した後、List Creatorの帳票定義で、印字不可領域に項目や罫線などが定義されていないことを確認してください。
- ・ Windowsのプリントサーバーのプロパティ画面の【用紙】タブで、List Creatorの帳票定義で指定している用紙が定義されていることを確認してください。

## 2.2.8 印刷を取り消すと、配信出力サーバのイベントログに6860、7300、7303のメッセージが出力される。

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ Windows Server 2012 または Windows Server 2016で印刷ドキュメントのスプール中に、印刷ジョブを削除した。
- ・ 印刷ドキュメントのスプール中に、Windowsのスプーラで印刷ドキュメントを削除した。

### 対処

印刷を取り消す場合は、原因に応じて、以下を実施してください。

- ・ 印刷ジョブの出力状態が「印刷待ち」以外の場合、処理状況照会画面または印刷ジョブ操作コマンドを使用して、印刷ジョブを削除してください。

印刷ジョブを削除するタイミングによっては、配信出力サーバのイベントログにメッセージは出力されますが、印刷のキャンセルは成功します。

このため、メッセージを無視しても問題ありません。

- ・ 以下のいずれかを使用して、印刷ジョブを削除してください。(Windowsのスプーラで、印刷ドキュメントを削除しないでください。)
  - － 処理状況照会画面
  - － 印刷ジョブ操作コマンド

なお、Windowsのスプーラで印刷ドキュメントを削除すると、印刷ジョブの出力状態が「失敗」になる場合があります。出力状態が「失敗」の印刷ジョブは、処理状況照会画面で削除してください。

## 2.3 表示時のトラブル

---

帳票を表示しているときに発生したトラブルの原因と、その対処方法について説明します。

### 2.3.1 Web配信操作クライアントを使用中に「HTTP 404」「HTTP 500」「サーバでエラーが発生しました」「Internal Server Error」などのメッセージが表示される。または、Webブラウザの画面に何も表示されない。

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 配信操作画面のワークユニットが停止している。

- 印刷配信の環境設定に誤りがある。
- 配信操作画面のワークユニットの設定に誤りがある。
- 帳票印刷配信機能の動作に必要なサービスが停止している。

## 対処

原因に応じて、以下の対処を行ってください。

- 配信操作画面のワークユニットを起動してください。
- 印刷配信の環境設定を確認してください。設定に誤りがあれば、修正してください。
- 配信操作画面のワークユニットの作成手順を確認してください。設定に誤りがあれば、修正してください。
- 以下のサービスがすべて起動していることを確認してください。起動していないサービスがあれば、起動してください。
  - FJapache
  - FUJITSU帳票管理
  - INTERSTAGE
  - List Works
  - SymfoWARE RDB LWDB
  - SymfoWARE RDB LWLDSTDB

## 2.3.2 List Works帳票を表示しようとする、帳票表示画面が起動されるが、帳票が表示されない

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

List Worksサービスを停止せずに、印刷配信の環境設定を行った可能性があります。

### 対処

以下の対処を行ってください。

1. 配信出力サービスを停止してください。
2. 配信管理サービスを停止してください。
3. List Worksサービスを再起動してください。
4. 配信出力サービスを開始してください。
5. 配信管理サービスを開始してください。

配信管理サービスおよび配信出力サービスの開始/停止の詳細については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

## 2.3.3 List Works帳票を表示すると、Webブラウザが異常終了する。

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

## 原因

同じ端末上で、以下のどちらかの操作をしました。

- ・ 帳票印刷配信機能の画面を表示しているときに、別のWebブラウザ(タブを含む)を起動して、Web連携機能から帳票を表示/印刷する。
- ・ Web連携機能で帳票を表示/印刷しているときに、別のWebブラウザ(タブを含む)を起動して、帳票印刷配信機能の出力指示画面から帳票を表示する。

## 対処

帳票を表示するときは、以下のように操作してください。

- ・ 帳票印刷配信機能で帳票を表示したい場合  
リスト管理サーバからログアウトしてください。  
Web連携機能の画面をすべて閉じたことを確認し、配信管理サーバにログインして、帳票を表示してください。
- ・ Web連携機能で帳票を表示/印刷したい場合  
配信管理サーバからログアウトしてください。  
帳票印刷配信機能の画面をすべて閉じたことを確認し、リスト管理サーバにログインして、帳票を表示/印刷してください。

## **2.3.4 List Worksをバージョンアップしたが、検索条件画面などが正しく表示されない。**

### 発生するVL

Windows版V10.1.0以降

### 原因1

プロキシサーバ経由で配信管理サーバに接続している場合、プロキシサーバにキャッシュされている以下のファイルが古い。

- ・ ListPrint(ActiveXコントロール)
- ・ JSPファイル
- ・ JavaScriptファイル
- ・ CSSファイル

### 対処1

以下の手順で、プロキシサーバの設定を見直してください。

1. プロキシサーバにキャッシュされている以下のファイルを削除します。
  - f5cwwpti.cab
  - listprint.js
  - List Worksインストール先フォルダ¥Distribute¥manager¥gui¥app¥jspフォルダに格納されているJSPファイル
  - List Worksインストール先フォルダ¥Distribute¥manager¥gui¥app¥jsフォルダに格納されているJavaScriptファイル
  - List Worksインストール先フォルダ¥Distribute¥manager¥gui¥app¥cssフォルダに格納されているCSSファイル
2. 上記のファイルがキャッシュされないように、プロキシサーバの設定を変更します。

### 原因2

JavaScriptファイルが、正しくダウンロードされていない。

## 対処2

以下の手順で、キャッシュを削除してください。

ここでは、Internet Explorer 9の場合の設定方法を例に説明します。

1. Internet Explorerの【ツール】メニューの【インターネットオプション】を選択して、【インターネットオプション】ダイアログボックスを表示します。
2. 【全般】タブの「閲覧の履歴」にある【設定】ボタンをクリックします。
3. 【インターネット一時ファイルと履歴の設定】画面の【ファイルの表示】ボタンをクリックします。
4. エクスプローラが起動するため、表示されたファイルをすべて選択して削除します。  
なお、「選択したCookiesを削除しますか？」のメッセージが表示された場合は、【いいえ】ボタンをクリックしてください。
5. すべてのウィンドウを閉じ、Internet Explorerも終了します。

## 原因3

バージョンアップ後に、Webアプリケーションの再配備が正しく行われていない。

## 対処3

Webアプリケーションの再配備をしてください。

Webアプリケーションの配備については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

## 2.3.5 帳票表示画面が表示されている状態で、出力指示画面で【表示】ボタンをクリックすると、エラーになる場合がある。

---

### 詳細

以下のエラーメッセージが表示されます。

サーバでエラーが発生しました。

### 発生するVL

Windows版V10.2.0～V10.3.0A

### 原因

Internet Explorerの制限事項です。

### 対処

V10.3.1以降にバージョンレベルアップ、または本製品の修正(V10.2.0の場合はT008495WP-02以降、V10.3.0の場合はT011160WP-01以降、V10.3.0Aの場合はT011161WP-01以降)を適用してください。

V10.3.1以降の場合、または、本製品の修正を適用した場合は、Internet Explorerの制限事項を回避するために、帳票を表示する時間が従来よりも500ミリ秒遅くなりますが、以下に示す手順で帳票を表示する時間をチューニングできます。

#### チューニング手順

設定内容の変更手順は、以下のとおりです。

1. 配信操作画面のワークユニット「LWDST\_MGUI」を停止します。  
配信管理サービスの停止方法については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

2. 以下のフォルダをバックアップします。

```
List Worksインストール先フォルダ¥Distribute¥manager¥gui¥property
```

3. 以下のフォルダ配下にあるListGateway.propertiesをテキストエディタで開き、編集します。

```
List Worksインストール先フォルダ¥Distribute¥manager¥gui¥property
```



- 以下の定義名と値以外は、変更しないでください。
- シフトJISコードで記述してください。

定義名「outputinstructionsscreen.sleep.previewtime」を追加して、値に時間をミリ秒単位で指定します。値の範囲は、1～10000です。

例) 時間を1000ミリ秒にする場合  
outputinstructionsscreen.sleep.previewtime=1000

また、帳票を表示する時間をチューニングする以外にも、定義名「outputinstructionsscreen.sleep.previe」の値を「0」に変更することで本機能を無効化することもできます。

4. 配信操作画面のワークユニット「LWDST\_MGUI」を開始します。

配信管理サービスの開始方法については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

## 2.3.6 Web配信操作クライアントで、List Creator互換印刷を使用して印刷する帳票をPDF表示すると、Internet Explorerでエラーになる。

### 詳細

以下のエラーメッセージが表示されます。

```
Internet Explorerではこのフィードを表示できません
```

### 発生するVL

Windows版V10.1.0～V10.3.1

### 原因

Internet Explorerの仕様です。

Internet Explorer 9以降のMIMEスニッフィング機能の影響により、PDFファイルに<feed～の文字列がある場合、本現象が発生することがあります。

### 対処

以下のバージョン・レベルの場合は、PDFファイルに「feed」の文字列が含まれていても、Internet ExplorerでPDFファイルをダウンロードできるように、PDFファイルダウンロード時のHTTP応答ヘッダーを指定できます。

- Windows版V10.1.0 + 緊急修正 (T006135WP-04以降)
- Windows版V10.3.0 + 緊急修正 (T011160WP-02以降)
- Windows版V10.3.0A + 緊急修正 (T011161WP-02以降)
- Windows版V10.3.0B + 緊急修正 (T013713WP-01以降)
- Windows版V10.3.0C + 緊急修正 (T013714WP-01以降)

- Windows版V10.3.1 + 緊急修正 (T013785WP-01以降)

ListGateway.propertiesファイルに「pdf.http.header」を指定します。ListGateway.propertiesファイルの編集方法については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

Web配信操作画面でList Creator互換印刷を使用した帳票を表示する機能で、PDFファイルをダウンロードするときのHTTP応答ヘッダーを指定します。

#### プロパティファイル名

ListGateway.properties

#### 格納先ディレクトリ

List Worksインストール先¥Distribute¥manager¥gui¥property

#### プロパティキー

##### 定義名

pdf.http.header

0 : 付与しません。

1 : Internet ExplorerのMIMEタイプの検出処理を無効にするヘッダー「X-Content-Type-Options: nosniff」を付与します。

##### 省略値

1



#### 注意

ListGateway.propertiesファイルを編集した後は、配信操作画面のワークユニット(LWDST\_MGUI)を再起動してください。

## 2.4 帳票の操作時のトラブル

### 2.4.1 lwoprformコマンドまたはlwdelexpireコマンドを実行しても、帳票を削除できない。

#### 詳細

以下のイベントログが出力されます。

イベントID : 2007

データベースでタイムアウトが発生しました。

配信データベースの負荷が高くなっています。

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

印刷ジョブ数が推奨値(5,000)を超えている可能性があります。

推奨値の詳細については、“帳票印刷配信手引書”を参照してください。

#### 対処

処理状況照会画面で不要な印刷ジョブを削除し、再度コマンドを実行してください。

## 2.5 サービス「PRT Server Service」のトラブル

---

サービス「PRT Server Service」に関するトラブルの原因と、その対処方法について説明します。

### 2.5.1 サービス「PRT Server Service」を停止できない

---

#### 詳細

「¥xxxxxxx で PRT Server Service サービスを停止できませんでした。エラー 2186: サービスが制御機能に応答しません。」が表示され、サービス「PRT Server Service」を停止できません。

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

サービス「PRT Server Service」がクライアントと通信処理中に、サービスを停止しようとして、タイムアウトが発生している可能性があります。

#### 対処

サービス「PRT Server Service」が終了されていない場合、サービス「PRT Server Service」を再度停止してください。

### 2.5.2 サービス「PRT Server Service」の停止に時間がかかる

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0以降

#### 原因

サービス「PRT Server Service」がクライアントと通信処理中に、サービスを停止しようとした場合、サービスの停止に時間がかかることがあります。

#### 対処

サービス「PRT Server Service」がクライアントとの通信処理を終了するまでお待ちください。

## 2.6 メッセージ通知クライアント(到着通知パネル)のメッセージ

---

メッセージ通知クライアント(到着通知パネル)のメッセージに関するトラブルの原因と、その対処方法について説明します。

### 2.6.1 メッセージ「メッセージサーバXXXXXXXXX の電源が未投入、または通信に失敗しました。」が表示される

---

#### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 配信出力サーバを運用しているサーバの電源が投入されていない。

- 配信出力サーバを運用しているサーバのサービス「WORKIT MSG(F3BW)」が開始状態になっていない。
- ネットワークが正常に動作していない。

## 対処

原因に応じて、以下の対処を行ってください。

- 電源が投入されていない場合は、電源を投入してください。
- 【サービス】ダイアログボックスで「WORKIT MSG(F3BW)」が停止状態になっている場合は、「WORKIT MSG(F3BW)」のスタートアップの種類を「自動」にして、コンピュータを再起動してください。サービスの動作状況の確認、起動/停止は、【スタート】メニューの【管理ツール】—【サービス】から実行できます。
- 配信出力サーバを運用しているサーバのコマンドプロンプト画面で、以下のコマンドを実行してください。

```
ping メッセージ通知クライアントのホスト
```

コマンドプロンプト画面に応答結果が表示されなければ、ネットワークが正常に動作していません。

ネットワークが正常に動作していない場合は、ネットワークのソフトウェア環境/ハードウェア環境を見直してください。

## 2.6.2 メッセージ「メッセージ管理制御とのコネクションが切断されたため、メッセージ監視処理を中止します。」が表示される

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- 配信出力サーバを運用しているサーバのCPUが省電力モードになっている。
- ネットワークが正常に動作していない。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 配信出力サーバを運用しているサーバのCPUが省電力モードになっている場合は、省電力モードを解除してください。なお、省電力モードの確認および解除方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
- 配信出力サーバを運用しているサーバのコマンドプロンプト画面で、以下のコマンドを実行してください。

```
ping メッセージ通知クライアントのホスト
```

コマンドプロンプト画面に出力結果が表示されなければ、ネットワークが正常に動作していません。

ネットワークが正常に動作していない場合は、ネットワークのソフトウェア環境/ハードウェア環境を見直してください。

## 2.6.3 メッセージ「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」が表示される

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。



- ・ ターミナルサービス上で到着通知パネルを使用している。
- ・ 別ユーザーですでに起動している。
- ・ 他のアプリケーションでポートが使用されている。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ ターミナルサービス上では到着通知パネルは動作できません。  
ターミナルサービス上で使用している到着通知パネルを終了してください。
- ・ 別ユーザーですでに起動している到着通知パネルを終了後、再度起動してください。
- ・ 到着通知パネルで指定しているポート番号(9599)が他のアプリケーションなどで使用されていないかを確認してください。

## 2.6.4 印刷指定画面に応答すると、メッセージ「不当なページ数が指定されました。」が表示される

---

### 発生するVL

Windows版V10.0.0以降

### 原因

続行やテスト印刷を行うときに指定したページが、印刷範囲外のページを指定している可能性があります。

### 対処

表示された印刷範囲内の数値を入力して、もう一度操作を行ってください。

## 第3章 Solaris版

### 3.1 環境設定/運用時に関するトラブルが発生したら

環境設定/運用時に関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

#### 3.1.1 List Manager管理データベースに格納した文字が化ける、または取り出した文字が化ける

##### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

##### 原因

環境変数および帳票管理サーバの環境設定ファイルが正しく設定されていない可能性があります。

##### 対処

- List Manager管理データベースに使用しているデータベースによって、以下の環境変数および帳票管理サーバの環境設定ファイルを正しく設定してください。

— データベースにOracleを使用した場合

帳票管理サーバの文字コード系がシフトJIS、データベースの文字コード系がシフトJISの場合、以下のように設定します。

##### [環境変数]

LANG=ja\_JP.PCK

NLS\_LANG=Japanese\_Japan.JA16SJIS

##### [環境設定ファイル]

DBCharCode=SJIS

— データベースにSymfowareを使用した場合

帳票管理サーバの文字コード系がシフトJIS、データベースの文字コード系がシフトJISの場合、以下のように設定します。

##### [環境変数]

LANG=ja\_JP.PCK

##### [環境設定ファイル]

DBCharCode=SJIS

- 以下の環境変数が設定されている場合は、環境変数の定義を削除してください。

LC\_\* (“LC\_”から始まる環境変数)

#### 3.1.2 復元後の環境でList Managerが正常に動作しない

##### 詳細

以下の現象が発生する

- List Managerが起動しない
- 移行前に登録した帳票が帳票一覧に表示されない
- 移行前に登録した帳票を操作したときに帳票操作エラーが発生する

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

以下を行ったときに、資源が正しく復元されていません。

- ・ 動作環境や帳票資源を退避・復元した
- ・ List Managerの運用開始後に帳票データファイル格納ディレクトリ(帳票管理サーバの環境設定ファイルのDataFileDirキーで指定)を変更した

## 対処

退避した資源が、正しく復元されていることを確認してください。

- ・ List Managerが起動しない場合
  - － 環境設定ファイル(/etc/opt/FJSVlstmディレクトリ配下)
  - － List Manager起動スクリプト(/opt/FJSVlstm/etc/rc.d/SKFJSVlstm)
- ・ 移行前に登録した帳票が帳票一覧に表示されない場合
  - － 退避したList Manager管理データベース
- ・ 移行前に登録した帳票を操作したときに帳票操作エラーが発生する場合
  - － 退避した帳票データファイル格納ディレクトリ

## 3.1.3 システムログに「データベースに接続できませんでした」のエラーメッセージが出力される

### 詳細

このとき、システムログに以下のメッセージが出力されます。

[帳票配信の監視処理でエラーが発生] データベースに接続できませんでした。  
データベースが起動しているか、またはList Managerの環境設定に誤りがないか確認してください。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

List Managerデーモンを停止した後にSymfowareを停止したタイミングで、配信処理のリカバリが行われました。

以下の場合に、帳票出力サーバに配信処理中の帳票に対して配信処理のリカバリが行われます。

- ・ 帳票の配信中に帳票管理サーバがダウンした場合
- ・ ネットワーク異常が発生して帳票管理サーバと通信ができなくなった場合

設定によっては、List Managerデーモンを停止した後もリカバリ処理を継続する場合があります。

### [発生条件]

以下の条件のとき、本現象が発生します。

- － 帳票管理データベースに Symfowareを使用している
- － 帳票管理サーバの環境設定ファイルの「LMRecoveryMode」キーに1を指定する、または「DeliveryCheck」キーに1を指定している
- － List ManagerとList Manager管理データベースを連動して停止した

## 対処

List Managerの動作に影響がないため、対処の必要はありません。

### 3.1.4 「データベースでエラーが発生しました」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

データベースでエラーが発生しました。詳細で通知されているデータベースのエラーコードより原因を調査してください。(詳細: ZZZZ)

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

上記のメッセージの(詳細: ZZZZ)で通知されるデータベースのエラーコードが以下の場合、List Manager管理データベースに使用しているデータベースによって、以下の原因が考えられます。

- データベースにOracleを使用した場合  
ZZZZには、以下のメッセージコード番号が出力されます。
  - 18:  
最大セッション数を超過しました
  - 20:  
最大プロセス数(string)を超過しました
  - 1017:  
ユーザー名/パスワードが無効です  
ログオンは拒否されました
  - 2132:  
実行時コンテキスト sdfla asdjklfajs jfja ajsdf を割当てできません  
環境変数ORACLE\_HOMEにOracleのインストールパスが正しく設定されていない場合に発生する可能性があります
  - 12170:  
ネットワーク/システム遅延が原因で接続タイムアウトが発生しました  
また、ネットワークエラーが原因で以下のメッセージコードが表示される場合もあります  
-3113、-3135、-3136、-12456、-12152、-12161、-12170、-12203、-12229、-12230、-12231、-12232、-12233、-12505、-12514、-12525、-12543、-12547、-25403、-25425、-29271
  - 12500:  
リスナーが専用サーバー・プロセスの起動に失敗しました
- データベースにSymfowareを使用した場合  
ZZZZには、以下のSQLSTATE値が出力されます。
  - 40001:  
デッドロックが発生しました
  - 40003:  
接続タイムアウトが発生したか、または強制終了されました
  - 40701:  
テンポラリログ領域が不足しました

72000:

DSIの格納領域が不足しました

72010:

データベーススペースが不足しました

## 対処

List Manager管理データベースに使用しているデータベースによって、以下の対処を行ってください。

- データベースにOracleを使用した場合

メッセージコード番号から、以下の対処を行ってください。

メッセージコード番号による対処方法(Oracle)

メッセージコード番号	対処方法
-18	SESSIONS、または PROCESSES 初期化パラメタの値を増やしてください。
-20	
-1017	以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• データベースの環境設定が正しく設定されているか</li> <li>• 帳票管理サーバの環境設定ファイルに定義されたデータベースログイン名 (DBLoginNameキー)、データベースサービス名 (DBServiceNameキー)に誤りがないか</li> <li>• List Manager管理データベースユーザのパスワードの設定コマンド (lmsetpasswdコマンド)によりデータベースパスワードが設定されているか</li> </ul>
-2132	環境変数ORACLE_HOMEの設定の確認してください。
-3113	Oracleに添付のオンラインマニュアルを参照して、データベースサーバとのネットワーク環境を復旧させてください。
-3135	
-3136	
-12152	
-12161	
-12170	データベースサーバとのネットワークが切断されていないか確認してください。ネットワークが切断されている場合は、再接続してエラーになった処理を再度実行してください。ネットワークが切断されていない場合、データベースとの接続タイムアウト時間を延長してください。 タイムアウト時間の延長方法は、Oracleに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
-12203	Oracleに添付のオンラインマニュアルを参照して、データベースサーバとのネットワーク環境を復旧させてください。
-12229	
-12230	
-12231	
-12232	
-12233	
-12456	
-12500	
-12505	Oracleに添付のオンラインマニュアルを参照して、データベースサーバとのネットワーク環境を復旧させてください。
-12514	
-12525	

メッセージコード番号	対処方法
-12543	
-12547	
-25403	
-25425	
-29271	

- データベースにSymfowareを使用した場合  
出力されたSQLSTATE値から、以下の対処を行ってください。

#### SQLSTATE値による対処方法 (Symfoware)

SQLSTATE値	対処方法
40001	アプリケーションがデッドロックを起こしています。アプリケーションの動作を見直してください。
40003	データベースサーバとのネットワークが切断されていないかを確認してください。 ネットワークが切断されている場合は、再接続してエラーになった処理を再度実行してください。
40701	テンポラリログファイルの変更を行ってください。 テンポラリログファイルの設定方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能セットアップガイド”、およびSymfowareに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
72000、72010	データベースの容量拡張を行ってください。 データベースの容量拡張の方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能運用ガイド”を参照してください。

SQLSTATE値については、“帳票印刷配信機能 メッセージ集”を参照してください。

### 3.1.5 「データベースでエラーが発生しました」のエラーが一定間隔で出力される

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

データベースでエラーが発生しました。詳細で通知されているデータベースのエラーコードより原因を調査してください。(詳細: ZZZZ)

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerの動作中に帳票管理サーバがデータベースと接続できない状態となった可能性があります。

帳票管理サーバの環境設定ファイルに、以下の設定を行った場合、一定間隔でデータベースにアクセスするため、上記のメッセージが一定間隔で出力されます。

- 配信が行われていない帳票の存在を監視する設定を行った場合
  - DeliveryCheckキーに1を指定した場合
  - LMRecoveryModeキーに1を指定した場合
- List Managerのデーモンの起動状態を監視する設定を行った場合
  - LMWatchキーに1を指定した場合

## 対処

上記メッセージの(詳細:ZZZZ)で通知されるデータベースのエラーコード、および“3.1.4「データベースでエラーが発生しました」のエラーになる”を参照し、異常の原因を取り除いてください。

### 3.1.6 「データベースに接続できません」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

```
データベースに接続できませんでした。データベースが起動しているか、またはList Managerの環境設定に誤りがないかを確認してください。  
(帳票 : XXXX、帳票ID : I111、論理あて先 : YYYY、詳細 : ZZZZ、コード : NNNN)
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Manager管理データベースにSymfowareを使用して、データベース接続エラーが発生した場合、データベースに接続可能な接続数の上限を超えている可能性があります。

#### 対処

Symfowareのシステム用動作環境ファイルのMAX\_CONNECT\_SYS、またはMAX\_CONNECT\_TCPの値を増やしてください。

### 3.1.7 環境設定コマンドまたは運用コマンドを実行すると「動作環境に誤りがあります」というメッセージが出力される

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのコマンドを実行したコンソール画面に出力されます。

```
動作環境に誤りがあります。システムの動作環境を見直してください。(XXXX : YYYY)
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerのデーモン(fjsvlstmd)が起動されていない可能性があります。

#### 対処

List Managerのデーモン(fjsvlstmd)を起動してください。

List Managerの起動/停止については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”を参照してください。

### 3.1.8 環境設定コマンドまたは運用コマンドを実行すると「List Managerの管理者権限がありません。権限のあるユーザでログインしてください」というメッセージが出力される

---

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

List Managerの管理者 (ladmin) 以外のユーザで実行しています。

## 対処

オペレーティングシステムのユーザアカウントにladminユーザを追加し、ladminユーザで実行してください。  
または、ユーザが所属するユーザグループをユーザグループ情報の編集コマンド (lmedtusrgrpコマンド) の-envrightオプションで、List Manager の管理者権限を「権限あり」に指定してください。

## 3.1.9 論理あて先の変更時、「通信先ホストに接続できませんでした」というメッセージが出力される

---

### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

通信先ホストに接続できませんでした。通信先ホストが動作していない、または高負荷状態でないか確認してください。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

論理あて先の内容を変更した(論理あて先の編集コマンド (lmedtldコマンド) で-uオプションを指定した)際に、通信先ホストに接続できなかったため、論理あて先の変更内容を帳票出力サーバに送信できませんでした。

論理デバイスの通信対象コンピュータ名に指定した帳票出力サーバのListmanager Agent Serviceが起動していません。

## 対処

論理デバイスの通信対象コンピュータ名に指定した帳票出力サーバのListmanager Agent Serviceが起動しているかを確認してください。



**注意**

帳票出力サーバと通信できる状態となった場合、次の配信から変更内容が有効になります。

## 3.1.10 帳票出力時にプリンタのプロパティの設定が有効とならない場合がある

---

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

Windowsのユーザごとに管理されているプリンタの設定を変更しても有効になりません。帳票出力時にList Managerで有効になるのはプリンタのプロパティの「標準の設定」です。

## 対処

プリンタのプロパティの「標準の設定」に設定を行ってください。



ここでは、Windows Server 2022の場合の設定方法を例に説明します。  
設定方法は以下のとおりです。

1. 設定を変更するプリンタを選択し、ポップアップメニューから [プリンターのプロパティ] を選択し、プリンタのプロパティ画面を開きます。
2. [詳細設定] タブを選択します。
3. [標準の設定] ボタンをクリックし、プリンタの設定を変更します。

### 3.1.11 帳票管理サーバのシステムログの日本語メッセージが文字化けする場合がある

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の条件のとき、システムログの日本語が文字化けする場合があります。

- /etc/default/init に記載されている以下の環境変数に、帳票管理サーバの動作環境でサポートされていない値を設定した場合
  - LC\_\* ("LC\_" から始まる環境変数名)
  - LANG
- /etc/default/init に記載されている環境変数 LC\_ALL、LC\_MESSAGES、LANG の値と異なる値をログインユーザの環境変数に設定し、syslogd のプロセスを再起動した場合

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- /etc/default/init に記載されている環境変数の設定値を、帳票管理サーバの動作環境でサポートしている値にしてください。
- /etc/default/init に記載されている環境変数 LC\_ALL、LC\_MESSAGES、LANG の値とログインユーザの環境変数を同じ値に設定してください。



注意

.....  
/etc/default/init ファイルのロケールを変更するとシステム全体のデフォルトロケールが変更されます。設定する場合は注意してください。  
.....

### 3.1.12 帳票管理サーバをシャットダウンまたは再起動した場合、「RDB: ERROR: qdg02842u: シグナル9を受信したためRDBIIシステム空間が異常終了しました」というメッセージがコンソールに出力される

このトラブルは、List Manager 管理データベースにSymfowareを使用し、帳票管理サーバとList Manager 管理データベースを同一マシンで運用する場合でのみ発生します。

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票管理サーバのシャットダウンまたは再起動時、List Manager の停止が行われる前に、List Manager 管理データベースの停止が行われた可能性があります。

## 対処

RCスクリプトなどでList Managerを停止したあと、List Manager 管理データベースが停止されるように設定を行ってください。

また、List ManagerとList Manager 管理データベースを連動して起動・停止するための詳細は、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能セットアップガイド”を参照してください。

### 3.1.13 List Managerを再起動していないのに、帳票管理サーバの環境設定ファイルの変更内容が有効になる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerを停止せずに、帳票管理サーバの環境設定ファイルを変更した可能性があります。

帳票管理サーバの環境設定ファイルのLMWatchキー(List Managerのデーモンの起動状態の監視)を「1」(行う)に設定した場合、帳票管理サーバで何らかのエラーが発生し、List Managerのデーモンが停止した場合、List Manager監視サービスがList Managerのデーモンの再起動を行います。

#### 対処

帳票管理サーバの環境設定ファイルの内容を変更する場合は、List Managerを停止してから行ってください。

### 3.1.14 List Managerのデーモン開始時、デーモンがすでに起動されている旨のメッセージが出力される

---

#### 詳細

このとき、帳票管理サーバのシステムログに以下のいずれかのメッセージが出力されます。

List Managerはすでに開始しています。
--------------------------

List Managerのログサービスはすでに開始しています。
---------------------------------

List Managerの配信サービスはすでに開始しています。
---------------------------------

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerのデーモンがすでに起動されている状態で、List Managerのデーモンが開始された場合に発生します。

クラスタ運用(運用待機型)で運用時、フェイルオーバーが発生した場合にこの現象が発生する可能性があります。

#### 対処

List Managerの動作に影響がないため、対処の必要はありません。

### 3.1.15 Imdelexpireコマンド(保存期間を経過した帳票を削除するコマンド)を実行すると「メモリ資源不足」のエラーが出力される場合がある

---

## 詳細

このとき、コマンドが以下のメッセージを出力します。

```
メモリ資源不足です。不要なアプリケーションを終了するか、メモリを増設してください。(XXXX:YYYY)
```

また、帳票管理サーバ側のシステムログに、以下のメッセージが出力されます。

```
メモリ不足が発生しました。メモリの空き容量を確保してください。(帳票 : XXXX、帳票ID : I111、論理あて先 : YYYY、詳細 : ZZZZ、コード : NNNN)
```

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

コマンド実行時に、メモリ資源不足が発生しています。

## 対処

削除対象の帳票が多すぎる可能性があるため、削除対象となる帳票数を減らしてから、コマンドを実行してください。

再度エラーが発生する場合は、メモリ資源の獲得が一時的にできない可能性がありますので、しばらくしてから再度コマンドを実行してください。

それでも問題が解決されない場合は、以下の対処を行い再度コマンドを実行してください。

- ・ 不要なアプリケーションを終了する
- ・ 仮想メモリを増やす
- ・ メモリを増設する

## 3.1.16 クラスタ運用でInterstage Application Serverを初期化するシェル「lminitIS.sh」を実行すると、エラーが出力される

### 詳細

このとき、標準出力に以下のメッセージが出力されます。

```
ERROR: od10922:Failed to get a semaphore. (err=22)
```

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

システムパラメタに設定した値が誤っています。

システム資源自動計算シートで算出されたシステムパラメタの値に誤りがあります。

### 対処

システム資源自動計算シートの【自動計算】シートにある「見積りの前提」で「large」を選択し、算出された値をシステムパラメタに設定してください。

### 3.1.17 Webアプリケーションサーバの環境構築シェル(createWU.sh)の実行が、「Abnormal End」で終了する

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Interstage Application Serverの障害(PG84102)の修正が適用されていません。

#### 対処

Interstage Application Serverの修正(T007277SP-01以降)を適用してください。

### 3.1.18 Imsetpasswdコマンドでユーザ「Imuser」のパスワードを変更した後、List Managerのコマンドを実行すると異常終了する

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Imsetpasswdコマンドで変更したユーザ「Imuser」のパスワードと、List Manager管理データベースに登録されているユーザ「Imuser」のパスワードとの間に不整合が起きました。

#### 対処

「Imuser」のパスワードを変更するには、以下の2つを実施してください。なお、「Imuser」のパスワードには、同じパスワードを設定してください。

- Imsetpasswdコマンドで「Imuser」のパスワードを変更します。  
Imsetpasswdコマンドの詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。
- ALTER USER文を発行して、List Manager管理データベースに登録されているユーザ「Imuser」のパスワードを変更します。

### 3.1.19 データベースサーバのシステムログに「JYP5007E RDBIIサーバ空間内のメモリ不足が発生しました」のメッセージが出力される場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Symfowareサーバプロセスのメモリ不足が発生しました。

以下の条件のとき、Symfowareサーバプロセスのメモリ不足が発生します。

- 帳票管理データベースに32bit版のSymfowareを使用している、かつ
- 帳票管理アプリケーションやコマンドなどを多重で実行する

#### 対処

以下のいずれかの対処を実施してください。

- 帳票管理アプリケーションやコマンドの多重度を下げます。

- Symfowareの64ビット版を使用します。
- SymfowareのSQL処理手順格納用バッファサイズ(OPL\_BUFFER\_SIZE)の値を以下の手順でカスタマイズします。
  1. 以下のサービスを停止します。
    - Webアプリケーションサーバのワークユニット、またはIJServerクラスタ
    - 帳票管理サーバ
  2. List Manager管理データベース(lmrdbsys)を停止します。
  3. Symfowareクライアント用の動作環境ファイル(lmsqlenvc)をテキストエディタなどで開きます。
  4. 「OPL\_BUFFER\_SIZE」の値を「8192」から「1024」に変更します。
 

指定例) OPL\_BUFFER\_SIZE = (1024)
  5. List Manager管理データベース(lmrdbsys)を開始します。
  6. 以下のサービスを開始します。
    - Webアプリケーションサーバのワークユニット、またはIJServerクラスタ
    - 帳票管理サーバ

## 3.2 操作画面/帳票ブラウザ/帳票管理Javaインタフェースに関するトラブルが発生したら

---

操作画面、帳票ブラウザ、および帳票管理Javaインタフェースに関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### ポイント

帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からのプレビューで発生したトラブルについては、以下も合わせて参照してください。

- 帳票配信およびWeb手元印刷(OWFファイル)の場合  
List Creatorに添付されているオンラインマニュアルおよびトラブルシューティング
- Web手元印刷(PDFファイル)の場合  
[3.9 PDF変換機能に関するトラブルが発生したら](#)

### 3.2.1 IEのセキュリティレベルが「中」のゾーンに存在する帳票管理サーバにアクセスし、操作画面、または帳票ブラウザのログイン画面からログインを行うと、画面が表示されず、情報バーに警告が表示される(情報バーが表示されたことを表すダイアログが表示される場合もある)

---

#### 詳細

このとき、情報バーに以下の警告が表示されます。

警告の内容:

ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するにはここをクリックしてください。

### 注意

- セキュリティレベルが「高」のゾーンに帳票管理サーバが存在する場合、「アクティブ スクリプト」が無効となるため、Windowsのサービスパックの適用の有無に関わらず、操作画面、および帳票ブラウザは表示できません。

- Windowsのサービスパックの適用前に、操作画面、および帳票ブラウザのサイトを「信頼済みサイト」に追加していた場合でも、Windowsのサービスパック適用後に当該現象が発生するようになります。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

IEのセキュリティレベルが「中」以上のサイトに対して、「ポップアップのブロック使用」が有効となるセキュリティが設定されています。このため、操作画面または帳票ブラウザを表示するときにウィンドウ表示がブロックされ、画面が表示されません。

### [発生条件]

以下の条件のとき、操作画面および帳票ブラウザは表示されません。

- a. WebクライアントのOSに以下のどれかを使用している
  - Windows XP SP2/Vista/7/8/8.1/10/11
  - Windows Server 2003 SP1/2008/2012/2016/2019/2022
- b. a.のコンピュータでIEを使用してセキュリティレベルが「中」サイトに存在する帳票管理サーバへアクセスし、操作画面または帳票ブラウザを開く
- c. ログイン画面でログインする

## 対処

Webクライアントで、以下の手順に従ってIEのセキュリティ設定を変更してください。

1. 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」を選択し、「インターネットのプロパティ」画面を開き、「セキュリティ」タブを選択します。
2. 以下の中から該当する場合について、対処を行います。

### 帳票管理サーバのサイトが「インターネット」に該当する場合

1. 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンを押下します。
2. 「次のWebサイトをゾーンに追加する」に、帳票管理サーバのURLを指定して「追加」ボタンを押下します。
3. SSL通信を使用する場合に「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https:)を必要とする」をチェックしてください。

### 帳票管理サーバのサイトが「イントラネット」かつ「このゾーンのセキュリティのレベル」が「中」にカスタマイズされている場合

1. 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンを押下します。
2. 「次のWebサイトをゾーンに追加する」に、帳票管理サーバのURLを指定して「追加」ボタンを押下します。
3. SSL通信を使用する場合に「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https:)を必要とする」をチェックしてください。

### 帳票管理サーバのサイトが「イントラネット」の「このゾーンのセキュリティのレベル」が「規定のレベル」(「中低」)に設定されている場合

発生条件に該当しないため、手順を終了します。

### 「信頼済みサイト」の「このゾーンのセキュリティのレベル」が「規定のレベル」(「低」)に設定されている、または「中低」にカスタマイズされている場合

発生条件に該当しないため、手順を終了します。

### 帳票管理サーバのサイトを「信頼済みサイト」に登録しているが、「このゾーンのセキュリティのレベル」が「中」にカスタマイズされている場合

1. 「信頼済みサイト」を選択した状態で、「レベルのカスタマイズ」ボタンを押下します。
2. 「セキュリティの設定」画面で、「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」を「有効にする」にチェックします。
3. 「セキュリティの設定」画面で、「OK」ボタンを押下します。

4. 「インターネットのプロパティ」画面で、「OK」ボタンを押下し、画面を閉じます。

- ログイン画面からログインを行い、情報バーの警告表示(上記[現象]に示す)に対して、以下のいずれかの方法でポップアップを許可します。
- 情報バー上でクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可」メニューを選択します。  
「ツール」メニューをクリックし、「ポップアップブロック」メニューにマウスをあわせ、「ポップアップブロックを無効にする」メニューを選択します。
- ステータスバーの「ポップアップブロックアイコン」をクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可」メニューを選択します。

### 3.2.2 帳票ブラウザで帳票の操作時に「移動先の論理あて先の操作権限がない」のメッセージが表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下のいずれかの原因が考えられます。

- ・ 操作しているユーザが所属するユーザグループの表示権限があり、かつ操作権限のない論理あて先が定義されている。
- ・ 留置き用論理あて先、または他のユーザグループの出力用論理あて先の、「@OTHER」の表示権限が「あり」に設定されている。

#### 対処

留置き用論理あて先、および出力用論理あて先の権限の設定で、「@OTHER」の表示権限を「なし」に設定してください。

### 3.2.3 出力状態が「出力エラー」または「応答待ち」の帳票に対して[出力中止]の操作を行った場合、出力状態が「出力中」となる場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

プリンタの機種とタイミングによって、出力処理の途中で「出力中」の状態が通知される場合があります。

#### 対処

しばらく時間をあけたあとに出力状態の確認を行い、出力状態が「中止」となっていることを確認してください。帳票の再出力などの操作は「中止」となったことを確認してから行ってください。

### 3.2.4 出力状態が「出力エラー」または「応答待ち」の帳票に対して[出力中止]の操作を行った場合、出力完了ページ数が0ページ以外に更新される場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

プリンタの機種とタイミングによって、実際には出力されていないページが出力完了ページ数として通知される場合があります。

## 対処

[出力中止]の操作を行った際に通知される出力完了ページ数は、正しいページ数ではない場合があります。  
帳票を再出力する場合は、実際に出力されたページ数を確認してから実行してください。

### 3.2.5 出力状態が「失敗」の帳票が存在する場合、帳票一覧画面でページ数の並べ替えを実行すると正しく並べ替えられない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

出力状態が「失敗」の帳票は、帳票一覧画面に正しいページ数が表示されず、ページ数での並べ替えが正しく行われな場合があります。

#### 対処

対処方法はありません。

なお、出力状態が「失敗」以外の帳票は、正しく並べ替えされています。

### 3.2.6 出力ページ数が帳票全体のページ数に更新されたにもかかわらず、帳票の総ページ数が表示されない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票の出力の強制中止を行った可能性があります。

帳票のスプール完了を検知する前に帳票の出力の強制中止を行った場合は、帳票の総ページ数が表示されません。

#### 対処

帳票を再出力してください。

帳票がスプール完了したタイミングで、帳票の総ページ数が帳票全体のページ数に更新されます。

### 3.2.7 帳票全体のページ数より小さいページ数が帳票の総ページ数に表示される場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ ユーザアプリケーション (List Manager帳票出力インタフェース) で出力範囲を指定して帳票を登録した。
- ・ 帳票出力サーバで帳票の出力中に何らかのエラーが発生し、帳票の出力処理に失敗した。



## 対処

- ・ 対処不要です。ユーザアプリケーションで出力範囲を指定した場合、その範囲内のページが「帳票の総ページ」となります。
- ・ 帳票出力サーバのイベントログのエラー内容にしたがい、エラー原因を確認してください。出力に失敗した帳票を再出力することで、帳票の総ページ数が帳票全体のページ数に更新されます。

### 3.2.8 出力状態が「応答待ち」の帳票に対して[応答]の操作を行った場合、失敗する

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の場合に、帳票が出力開始メッセージ応答待ち状態の可能性があります。

- ・ Interstage List Manager Agent V6～V7.0L10で出力した場合
- ・ List Works Workstationで、出力装置にPrint Managerで定義したプリンタを使用した場合

#### 対処

到着通知パネルを使用して、出力開始メッセージに対して「応答」の操作を行ってください。

### 3.2.9 COBOLアプリケーション連携機能を使用して登録した帳票が、帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない

#### 詳細

このとき、Webプラグインに以下のメッセージが出力されます。

```
MeFtの帳票出力処理で異常が発生しました。
[LMCB]
Details:MeFt error code:91
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票登録時に使用した帳票定義体または画面帳票定義体のいずれかに対応するオーバーレイが変更された可能性があります。

#### 対処

帳票登録時に使用した帳票定義体または画面帳票定義体のいずれかに対応したオーバーレイを帳票登録時と同様に配置してください。

### 3.2.10 帳票一覧画面を「自動更新する」に設定しているにもかかわらず、セッションタイムアウトが発生する

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票一覧画面を「自動更新する」に設定している場合、以下の操作中は自動更新されません。このため、セッションタイムアウトが発生する可能性があります。
  - － 帳票一覧画面で帳票を選択
  - － 絞り込み画面を表示
  - － 自動更新設定画面を表示
  - － 出力画面を表示
  - － プレビュー指定画面を表示
  - － 詳細表示画面を表示
  - － 複写/移動画面を表示
  - － 応答画面を表示
  - － 出力中止の確認ダイアログを表示
  - － 削除の確認ダイアログを表示
- ・ 帳票一覧画面の自動更新間隔の設定が、900秒(15分)以上になっている場合、セッションタイムアウトが発生する可能性があります。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票一覧画面で帳票を選択している、または各種操作画面を表示している状態で帳票一覧画面を長時間使用しないでください。  
また、セッションタイムアウト発生までの時間は、自動更新設定画面の自動更新間隔を変更することで延ばすことができます。自動更新間隔のデフォルト値は30秒です。  
自動更新設定画面の自動更新間隔の変更方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”および“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。
- ・ 帳票一覧画面の自動更新間隔の設定を、900秒(15分)未満に設定してください。

### 3.2.11 メッセージ「動作環境が異常です(Code : 70601)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票登録時に使用した帳票定義情報が、移動または削除された。
- ・ 帳票定義情報を帳票出力サーバに配置して運用する場合、帳票登録時に使用した帳票定義情報を帳票管理サーバに配置していない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票登録時に使用した帳票定義情報を帳票登録時と同じディレクトリに配置してください。

- ・ 帳票定義情報を帳票出力サーバに配置して運用する場合、帳票登録時に使用した帳票定義情報を帳票管理サーバに配置してください。

### 3.2.12 メッセージ「エラーが発生しました。0x00070601-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない

---

原因と対処方法は、3.2.11 メッセージ「動作環境が異常です(Code: 70601)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできないを参照してください。

### 3.2.13 メッセージ「帳票管理サーバでエラーが発生しました 詳細:再生アプリケーションエラー(Code:ffff3000)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ ワークユニットに必要な以下の環境変数が正しく設定されていない可能性がある。
  - LD\_LIBRARY\_PATH
- ・ PDF変換機能でエラーが発生している可能性がある。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 環境変数LD\_LIBRARY\_PATHに、List Creatorのライブラリ格納フォルダ(/opt/FJSVoast/lib)を設定してください。
- ・ 帳票管理サーバのシステムログのエラーの内容にしたがい、エラー原因を確認し、処理を再度実行してください。

### 3.2.14 メッセージ「エラーが発生しました。0xffff3000-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない

---

原因と対処方法は、3.2.13 メッセージ「帳票管理サーバでエラーが発生しました詳細:再生アプリケーションエラー(Code:ffff3000)」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできないを参照してください。

### 3.2.15 メッセージ「java.lang.OutOfMemoryError」がエラー画面に表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

JavaVMにメモリ不足が発生している可能性があります。

## 対処

### GlassFish 5の場合

以下の手順にしたがって、操作画面/帳票ブラウザのJVMオプションを変更したあと、GlassFish Serverクラスターを再起動してください。

1. 以下のURLでログインします。GlassFish Server管理コンソール(GlassFish 5)画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:運用管理用HTTPリスナーポート/
```

備考)運用管理用HTTPリスナーポートの初期値は「12041」です。

2. GlassFish Server管理コンソール(GlassFish 5)画面の左側のツリー画面で、「クラスタ」をクリックします。右側の画面にGlassFish Serverクラスターが一覧で表示されます。操作画面と帳票ブラウザのGlassFish Serverクラスターの名前はそれぞれ次のとおりです。操作画面:listmanager、帳票ブラウザ:listbrowser。
3. JVMオプションを変更するGlassFish Serverクラスターを停止します。停止方法については、GlassFish Server管理コンソール画面の「ヘルプ」を参照ください。
4. GlassFish ServerクラスターのGlassFish Serverクラスターの一覧において、JVMオプションを変更するGlassFish Serverクラスターの「設定」列に表示されたリンクをクリックします。リンクをクリックすると、「クラスタ」の「構成」画面が表示されます。
5. 「JVM設定」をクリックします。JVM一般設定画面が表示されます。
6. 「JVMオプション」タブをクリックし、JVMオプションで最大ヒープサイズの指定を増やします。JVMオプションの最大ヒープサイズのオプション名および指定方法については、ご使用のInterstage Application Serverのマニュアルを参照してください。
7. 「保存」ボタンをクリックします。

### J2EEの場合

以下の手順にしたがって、操作画面/帳票ブラウザのJavaVMオプションを変更したあと、ワークユニットを再度起動してください。

1. 以下のURLでログインします。Interstage管理コンソール画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:Interstage管理コンソールのポート番号/IsAdmin/
```

備考)Interstage管理コンソールのポート番号の初期値は「12000」です。

2. Interstage管理コンソール画面で、「システム」の左側の「+」をクリックし、「ワークユニット」の左側の「+」をクリックし、List Managerの操作画面/帳票ブラウザを配備したワークユニット名をクリックします。
3. [環境設定]タブのワークユニット設定[表示]をクリックします。
4. [JavaVMオプション]でメモリ割り当てプールの最大サイズを指定し、メモリ割り当てプールの最大サイズを増やします。オプション名および指定方法については、ご使用のJavaVMのマニュアルを参照してください。
5. [更新]ボタンをクリックします。

### Java EEの場合

以下の手順にしたがって、操作画面/帳票ブラウザのJVMオプションを変更したあと、IIServerクラスターを再起動してください。

1. 以下のURLでログインします。Interstage Java EE管理コンソール画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:運用管理用HTTPリスナーポート/javaee_admin/
```

備考)運用管理用HTTPリスナーポートの初期値は「12001」です。

2. Interstage Java EE管理コンソール画面の左側のツリー画面で、「クラスタ」をクリックします。右側の画面にIIServerクラスターが一覧で表示されます。操作画面と帳票ブラウザのIIServerクラスターの名前はそれぞれ次のとおりです。操作画面:listmanager、帳票ブラウザ:listbrowser。
3. JVMオプションを変更するIIServerクラスターを停止します。停止方法については、Interstage JavaEE管理コンソール画面の[ヘルプ]を参照ください。
4. IIServerクラスターのIIServerクラスターの一覧において、JVMオプションを変更するIIServerクラスターの「設定」列に表示されたリンクをクリックします。リンクをクリックすると、「クラスタ」の「構成」画面が表示されます。
5. 「JVM設定」をクリックします。JVM一般設定画面が表示されます。

6. [JVMオプション]タブをクリックし、JVMオプションで最大ヒープサイズの指定を増やします。JVMオプションの最大ヒープサイズのオプション名および指定方法については、ご使用のInterstage Application Serverのマニュアルを参照してください。
7. [保存]ボタンをクリックします。

### 3.2.16 帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からのプレビュー時、用紙サイズに合わせた拡大/縮小指定、原点位置指定が有効にならない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

用紙サイズに合わせた拡大/縮小、および原点位置は、以下の方法で指定すると帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からのプレビュー時には有効になりません。

- プリンタ構成の編集コマンド (lmedtprinfoコマンド) で指定した用紙サイズ
- 論理デバイスの編集コマンド (lmedtdevコマンド) を使用した以下の指定
  - 原点位置指定区分
  - 原点位置縦方向(ミリ単位)
  - 原点位置横方向(ミリ単位)
  - 原点位置縦方向(インチ単位)
  - 原点位置横方向(インチ単位)

#### 対処

対処方法はありません。帳票配信型の帳票配信時のみ上記の指定が有効になります。帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面からのプレビュー時には有効になりません。

### 3.2.17 帳票の操作、および出力先の切り替えに時間がかかってしまう場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票の操作、および出力先の切り替えを行った際、現在配信中の要求に対する整合性を保つために、配信処理が正常終了または異常終了するのを待ち合わせています。

配信リトライが行われている原因として、以下の可能性があります。

- 配信先の帳票出力サーバのサービスが起動されていない。
- 帳票出力サーバのネットワークの設定に誤りがある。

#### 対処

配信リトライが終了するまで待機しても解決できない場合、原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 配信先の帳票出力サーバのサービスを起動してください。
- ネットワークの設定を確認してください。

### 3.2.18 操作画面/帳票ブラウザにログインすると無応答状態となり、その後「Internal Server Error」となる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- Windows Server 2003 SP1以降を適用したWindows環境で、ワークユニットの配備に失敗している可能性がある。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- Windows Server 2003 SP1以降を適用したWindows環境では、Internet ExplorerからInterstage 管理コンソールで配備ファイルのパスの先頭に@ (Interstage管理コンソールがインストールされているマシンに存在しているファイルを配備対象とする)をつけて配備することはできません。  
Interstage管理コンソールがインストールされているマシンに存在しているファイルを配備する場合は、配備対象のファイルをWebブラウザが動作するマシンの任意のディレクトリに置き、そのファイルを指定してください。なお、配備対象のファイルを、FTPを利用してWebブラウザが動作するコンピュータに配置する場合は、必ずバイナリモードで転送してください。

### 3.2.19 操作画面/帳票ブラウザのログイン画面が表示されない、またはログイン後「Application server connection failed.」のエラーになる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Webアプリケーションサーバ上で以下のプログラムが起動されていない、または起動に失敗している可能性があります。

- Interstage Application Server
- Webサーバ
- サーブレット・サービス
- 操作画面/帳票ブラウザのWARファイルを配備したワークユニット

#### 対処

Interstage Application Server、Webサーバ、ワークユニット、またはサーブレット・サービスの状態を確認し、起動されていない場合は、起動してください。起動に失敗している場合は、それぞれのログを確認し、対処を行ってください。

### 3.2.20 帳票ブラウザのログイン画面を表示後、いつまでもユーザID、パスワードが入力不可のままとなる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

ワークユニットの環境設定で、クラスパスに以下のパスが正しく設定されていない可能性があります。

- /opt/FJSVlstm/classes/f3hxcjop.jar
- /opt/FJSVlstm/classes/f3hxcopr.jar
- /opt/FJSVlstm/classes/f3hxcnbr.jar
- /opt/FJSVlstm/classes/f3hxcdwr.jar

## 対処

クラスパスに上記パスを追加して、ワークユニットを再起動し、帳票ブラウザのログイン画面を再度表示してください。

### 3.2.21 論理あて先数または帳票数が多い場合、ログイン画面に「Internal Server Error」と表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

操作画面/帳票ブラウザの実行結果の受信を待つ時間を越えた可能性があります。

#### 対処

以下の手順にしたがって、操作画面/帳票ブラウザの実行結果の受信を待つ時間を増やしてください。

1. 以下のURLでログインします。Interstage管理コンソール画面が表示されます。

`https://[ホスト名]:12000/IsAdmin/`

2. Interstage管理コンソール画面で、「システム」の左側の「+」をクリックし、「サービス」の左側の「+」をクリックし、[Webサーバ]をクリックします。
3. [環境設定]タブの詳細設定[表示]をクリックします。
4. [タイムアウト]の値を増やします。
5. [適用]ボタンをクリックします。
6. [状態]タブで、Webサーバの再起動を実行します。

### 3.2.22 操作画面を表示しているブラウザ画面上に「java.lang.OutOfMemoryError」、「javax.servlet.ServletException」、または「java.lang.NullPointerException」が表示される

---

#### 詳細

このメッセージは以下の場合に、表示されることがあります。

- 数万件の論理あて先が定義されている状態で、論理あて先一覧画面を表示しようとした場合。
- 論理あて先に数万件の帳票が登録されている状態で、その論理あて先を帳票一覧画面で表示しようとした場合。

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

JavaVMのヒープサイズが不足している可能性があります。

## 対処

### GlassFish 5の場合

以下の手順にしたがって、操作画面/帳票ブラウザのJVMオプションを変更したあと、GlassFish Serverクラスターを再起動してください。

1. 以下のURLでログインします。GlassFish Server管理コンソール(GlassFish 5)画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:12041/
```

2. GlassFish Server管理コンソール(GlassFish 5)画面の左側のツリー画面で、「クラスター」をクリックします。右側の画面にGlassFish Serverクラスターが一覧で表示されます。操作画面と帳票ブラウザのGlassFish Serverクラスターの名前はそれぞれ次のとおりです。操作画面:listmanager、帳票ブラウザ:listbrowser。
3. JVMオプションを変更するGlassFish Serverクラスターを停止します。停止方法については、GlassFish Server管理コンソール画面の「ヘルプ」を参照ください。
4. GlassFish ServerクラスターのGlassFish Serverクラスターの一覧において、JVMオプションを変更するGlassFish Serverクラスターの「設定」列に表示されたリンクをクリックします。リンクをクリックすると、「クラスター」の「構成」画面が表示されます。
5. 「JVM設定」をクリックします。JVM一般設定画面が表示されます。
6. 「JVMオプション」タブをクリックし、JVMオプションで最大ヒープサイズの指定を増やします。JVMオプションの最大ヒープサイズのオプション名および指定方法については、ご使用のInterstage Application Serverのマニュアルを参照してください。
7. 「保存」ボタンをクリックします。

### J2EEの場合

以下の手順にしたがって、操作画面のJavaVMオプションを変更したあと、ワークユニットを再度起動してください。

1. 以下のURLでログインします。Interstage管理コンソール画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:12000/IsAdmin/
```

2. Interstage管理コンソール画面で、「システム」の左側の「+」をクリックし、「ワークユニット」の左側の「+」をクリックし、List Managerの操作画面を配備したワークユニット名をクリックします。
3. [環境設定]タブのワークユニット設定[表示]をクリックします。
4. [JavaVMオプション]で最大ヒープサイズを指定し、最大ヒープサイズを増やします。オプション名および指定方法については、ご使用のJavaVMのマニュアルを参照してください。
5. [更新]ボタンをクリックします。

### Java EEの場合

以下の手順にしたがって、操作画面のJVMオプションを変更したあと、IIServerクラスターを再起動してください。

1. 以下のURLでログインします。Interstage Java EE管理コンソール画面が表示されます。

```
https://[ホスト名]:12001/javaee_admin/
```

2. Interstage Java EE管理コンソール画面の左側のツリー画面で、「クラスター」をクリックします。右側の画面にIIServerクラスターが一覧で表示されます。操作画面のIIServerクラスターの名前は次のとおりです。操作画面:listmanager。
3. JVMオプションを変更するIIServerクラスターを停止します。停止方法については、Interstage JavaEE管理コンソール画面の「ヘルプ」を参照ください。
4. IIServerクラスターのIIServerクラスターの一覧において、JVMオプションを変更するIIServerクラスターの「設定」列に表示されたリンクをクリックします。リンクをクリックすると、「クラスター」の「構成」画面が表示されます。
5. 「JVM設定」をクリックします。JVM一般設定画面が表示されます。
6. [JVMオプション]タブをクリックし、JVMオプションで最大ヒープサイズの指定を増やします。JVMオプションの最大ヒープサイズのオプション名および指定方法については、ご使用のInterstage Application Serverのマニュアルを参照してください。
7. [保存]ボタンをクリックします。



### 3.2.23 論理あて先の出力先切り替えを行ったあと、帳票の操作ができない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

論理あて先の切り替え処理中に、切り替え前の出力先に対して、帳票が出力された可能性があります。

#### 対処

操作できなくなった帳票に対して、強制的に中止を行ったあと、帳票を再度出力してください。

また、操作できなくなった帳票が帳票出力サーバのスプールフォルダに存在する場合、その帳票を削除してください。

論理あて先の出力先を切り替える場合、論理あて先の停止を行ってから実行することを推奨します。

### 3.2.24 Interstage管理コンソール、Interstage Java EE管理コンソール、またはGlassFish Server管理コンソールのログイン画面が表示できない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

##### GlassFish 5の場合

GlassFish Server管理コンソールを動作させるために必要な、以下のサービスが起動していません。

- PCMIサービス
- DASサービス

##### J2EEの場合

Interstage管理コンソールを動作するために必要な、以下のサービスが起動していません。

- Interstage HTTP Server (Interstage管理コンソール用)
- Interstage管理コンソール用Servletサービス
- Interstage JMXサービス
- Interstage管理コンソール

##### Java EEの場合

Interstage Java EE 管理コンソールを動作させるために必要な、以下のサービスが起動していません。

- Interstage Java EE DASサービス

#### 対処

##### GlassFish 5の場合

- PCMIサービスの起動

起動停止用スクリプトを実行し、PCMIサービスを起動します。起動停止用スクリプトは、PCMIインスタンスディレクトリーに格納されています。

```
[PCMIインスタンスディレクトリー]/FJSVpcmi start
```

- DASサービスの起動

以下のコマンドラインを実行します。(Interstage Application Serverをデフォルトのインストール先にインストールした場合)。

```
/opt/FJSViaps/glassfish5/glassfish/bin/asadmin start-domain
```

## J2EEの場合

Interstage管理コンソールを動作するために必要なサービスが起動していない場合は、以下のコマンドを実行してください (Interstage Application Serverをデフォルトのインストール先にインストールした場合)。

- Interstage HTTP Server (Interstage管理コンソール用) の起動

```
/opt/FJSVihb/bin/httpd -f /etc/opt/FJSVisgui/httpd.conf  
(*1)
```

\*1:

Interstage管理コンソール用のInterstage HTTP Server環境定義ファイル

- Interstage管理コンソール用Servletサービスの起動

```
/opt/FJSVjs2su/bin/jssvstart
```

- Interstage JMXサービスの起動

```
/opt/FJSVisjmx/bin/isjmxstart
```

- Interstage管理コンソールの起動

```
/opt/FJSVisgui/bin/isstartoptool
```

## Java EEの場合

以下のコマンドを実行してください。

```
/opt/FJSVisjee/bin/ijdasstart
```

## 3.2.25 Interstage管理コンソールで配備したアプリケーションを起動すると、「IS: エラー: is20409:INTERSTAGEは起動されていません」が表示され起動できない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- Interstageが起動されていない。
- Interstageが事前起動中である。
- オペレーティングシステムのチューニングが正しく行われていないため、Interstage起動処理に失敗している。
- Interstageの障害が発生している。

### 対処

以下の手順にしたがって、Interstageを起動したあと、ワークユニットを再度起動してください。

以下を行うには、システム管理者権限が必要です。

- Interstageが起動されていない場合
  1. 以下のURLでログインします。

```
https://[ホスト名]:12000/IsAdmin/
```

Interstage 管理コンソール画面が表示されます。

2. Interstage 管理コンソール画面で、「システム」をクリックします。

3. [状態]タブの[起動]ボタンをクリックします。

- オペレーティングシステムのチューニングが正しく行われていないため、Interstage起動処理に失敗している場合

オペレーティングシステムのチューニング後、オペレーティングシステムを再起動してください。オペレーティングシステムのチューニングが正しく行われているかは、Interstage Application Serverのオンラインマニュアルを参照してください。

- Interstageの障害が発生している場合

Interstage Application Serverの保守情報を参照して、現象に該当する情報があれば、記載された対処、または修正を適用してください。

### 3.2.26 Interstage管理コンソールで配備したアプリケーションを起動すると、「IS: ERROR: is20450:Work unit (ワークユニット名) unable to process Reason code(518)」のエラーになる

---

#### 詳細

このトラブルは、ServletがJ2EEの場合に発生します。

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

ワークユニット起動待ち時間を越えた可能性があります。

#### 対処

以下の手順にしたがって、配備したアプリケーションのワークユニット起動待ち時間を増やしたあと、ワークユニットを再度起動してください。

1. 以下のURLでログインします。

`https://[ホスト名]:12000/IsAdmin/`

Interstage管理コンソール画面が表示されます。

2. Interstage管理コンソール画面で、「システム」の左側の「+」をクリックし、「ワークユニット」の左側の「+」をクリックし、List Managerの操作画面/帳票ブラウザを配備したワークユニット名をクリックします。
3. [環境設定]タブのワークユニット設定[表示]をクリックします。
4. [ワークユニット起動待ち時間]の値を増やします。
5. [更新]ボタンをクリックします。

### 3.2.27 Interstage管理コンソールがインストールされているマシンに存在するファイルを配備しようとしたが、配備に失敗、または配備ファイルの詳細設定が行えない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Webブラウザ (Internet Explorer) から Interstage 管理コンソールを起動し、Interstage 管理コンソールがインストールされているマシンに存在しているファイルを配備対象としました (配備対象のファイルのパスの先頭に「@」を付けて配備しました)。

## 対処

配備対象のファイルを、Interstage管理コンソールを起動しているWebブラウザ (Internet Explorer) が動作するマシンの任意ディレクトリに転送して配置し、そのファイルを指定して配備を行ってください。

配備対象のファイルをFTPなどで転送する場合は、必ずバイナリモードで転送してください。

### 3.2.28 帳票管理Javaインタフェースで、論理あて先のコメントなどを取得したとき、半角文字の「?」になる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- Javaで異機種間結合を行う場合、またはデータベース接続を行う場合、「\」、「～」、「//」、「ー」、「¢」、「£」、「一」の全角文字が原因で文字化けする可能性があります。日本語コード (JIS、EUC、およびShift-JIS) をUNICODEに変換する際の変換規則が各ベンダーによって異なります (例えば、Shift-JISとWindows-31 (MS932) とで、UNICODEに対する文字コードのマッピングが異なります)。
- データベースからデータを取得するときに、データベースの文字コード系が環境変数LANGの文字コード系と異なる場合は、一度、環境変数LANGの文字コード系に変換してから、データベースの文字コード系に変換します。このとき、変換先のコード系に変換元の文字が存在しない場合に、半角文字の「?」になります。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 帳票管理Javaインタフェースで解決できません。Javaのアプリケーション開発者がこの問題を避けるための自衛的手段を行う必要があります。構築するシステム環境で使用する文字コードが特定できる場合は、それに合わせて適切な文字コード変換を行ってください。JDK1.4.0以前とJDK1.4.1以降では、Shift-JISのエイリアスが異なるため、Javaアプリケーションで文字コード変換を行う場合の文字コード指定には注意が必要です。同じShift-JISを指定しても、JDKのバージョンによって使われる文字コンバーターが異なるため、適切な文字コードを指定しないと「\」、「～」、「//」、「ー」、「¢」、「£」、「一」の全角文字が文字化けします。

Shift-JISのエイリアス

バージョン	エイリアス
JDK1.2～JDK1.4.0	Windows-31J
JDK1.4.1以降	SJIS

- データベースの文字コード系と環境変数LANGの文字コード系を同じにしてください。

### 3.2.29 帳票管理Javaインタフェースでプレビュー用のメソッドを生成すると「帳票のプレビュー (PDF) に失敗しました。(再生アプリケーションエラー)」となる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 環境変数LD\_LIBRARY\_PATHが正しく設定されていない可能性があります。
- PDF変換機能でエラーが発生している可能性があります。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 環境変数LD\_LIBRARY\_PATH の先頭に、List Creatorのライブラリ格納フォルダ (/opt/FJSSVoast/lib)を設定してください。
- 帳票管理サーバのシステムログのエラーの内容にしたがい、エラー原因を確認し、処理を再度実行してください。

### 3.2.30 List Manager管理データベースに登録されている定義情報の取得時に、条件の絞り込みを行った場合、条件に一致する絞り込み結果が取得できない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Manager管理データベースに登録されている定義情報で、文字列の末尾に空白文字が付いている場合、取得結果に末尾の空白は取得されませんが、絞り込みの条件では空白を含めて指定しないと条件一致しません。その項目を絞り込み条件として指定するときは、末尾の空白も含めて指定する必要があります。  
例えば、出力先に"abcde "と登録されている論理あて先を絞り込む場合は、出力先条件に同じく"abcde "と指定するか、または"abcde\*"と指定する必要があります。
- データベースからデータを取得するときに、データベースの文字コード系が環境変数LANGの文字コード系と異なる場合は、操作画面で指定した絞り込み条件や帳票管理Javaインタフェースを使用するアプリケーションで指定した絞り込み条件を、一度、環境変数LANGの文字コード系に変換してから、データベースの文字コード系に変換します。このとき、変換先のコード系に変換元の文字が存在しない場合に、半角文字の「?」になります。  
List Managerの絞り込み条件では、半角文字「?」をワイルドカード文字として扱うため、指定した条件に一致しない絞り込み結果を取得します。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 条件一致する論理あて先や帳票が取得できない場合は、絞り込み条件の末尾に「\*」(アスタリスク)をつけて、再度絞り込みを行ってください。
- データベースの文字コード系と環境変数LANGの文字コード系を同じにしてください。

### 3.2.31 操作画面/帳票ブラウザの一部がタスクバーに隠れて見えなくなったり、ボタンが隠れて操作できなくなる場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Windowsシステムの画面のプロパティでフォントサイズやタイトルバーのサイズをデフォルト値より大きくしたり、タスクバーの位置やサイズをデフォルト状態から変更した可能性があります。

#### 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- タスクバーのプロパティで、「タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する」をチェックしない。

- タスクバーのプロパティで、「タスクバーを自動的に隠す」をチェックする。
- フォントサイズやタイトルバーのサイズをデフォルト値に戻す。
- タイトルバーの位置およびサイズをデフォルト状態に戻す。

### 3.2.32 操作画面/帳票ブラウザで、操作を行うための各ボタンが表示されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票管理サーバのアドレスをIPアドレスで指定して操作画面/帳票ブラウザを起動した場合、サイトがインターネットゾーンにあるとWebブラウザが自動的に判断し、ボタンなどのスクリプトを無効化している可能性があります。

#### 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- 操作画面/帳票ブラウザを起動する場合に指定したURLで、帳票管理サーバのアドレスをホスト名で指定する。
- Webブラウザのイントラネットゾーンに帳票管理サーバのIPアドレスを追加する。
  1. [コントロールパネル]の[インターネットオプション]を選択し、[インターネットのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
  2. [セキュリティ]タブを選択します。
  3. [ローカル イントラネット]アイコンを選択し、[サイト]ボタンをクリックします。
  4. [ローカル イントラネット]ダイアログボックスで、[詳細設定]ボタンをクリックし、帳票管理サーバのIPアドレスを「Webサイト」に追加して、[OK]ボタンをクリックします。
  5. [インターネットのプロパティ]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックします。

### 3.2.33 メッセージ「java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException」がエラー画面に表示され、帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面が表示できない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

表示対象の論理あて先配下に存在する帳票の項目(タイトル、コメント、ユーザ)に指定できない文字であるタブ(0x09)が含まれている可能性があります。

#### 対処

タブ(0x09)が含まれている帳票を削除してから、帳票一覧画面/帳票ブラウザの出力指示画面を再度起動してください。

なお、タブ(0x09)が含まれている帳票の確認および削除は、帳票管理サーバの運用コマンドで、以下のように行ってください。

- タブ(0x09)が含まれている帳票を確認する場合

例) `Imoprform -i 論理あて先名`

- 帳票を削除する場合

例) `Imoprform -r -formid 帳票ID`

### 3.2.34 メッセージ「プレビュー処理が中断されました:帳票データファイルのオープンに失敗しました」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない

---

#### 詳細

このとき、詳細情報として以下の内容がメッセージボックスに表示されます。

詳細: 帳票データファイル格納フォルダ配下に帳票データファイルが存在するか、または、帳票データファイル格納フォルダにアクセス権があるかを確認してください(Code : 61401)
--

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票管理サーバの環境設定ファイルのDataFileDirキーの値が変更されている可能性があります。
- ・ 帳票が削除された可能性があります。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票管理サーバの環境設定ファイルのDataFileDirキーの値が変更されている場合  
以下の手順で操作を行ってください。
  1. 帳票管理サーバの環境設定ファイルのDataFileDirキーで設定したディレクトリに、帳票データファイルが正しく格納されていることを確認します。
  2. ワークユニットを再起動します。
- ・ 帳票が削除されている場合  
帳票が削除された場合は、表示できません。  
帳票一覧画面を更新後、帳票を選択してください。

### 3.2.35 メッセージ「エラーが発生しました。0x00061401-内部コード」が表示され、登録した帳票が帳票ブラウザの出力指示画面からプレビューできない

---

原因と対処方法は、[3.2.34 メッセージ「プレビュー処理が中断されました:帳票データファイルのオープンに失敗しました」がメッセージボックスに表示され、登録した帳票が帳票一覧画面からプレビューできない](#)を参照してください。

### 3.2.36 帳票一覧画面または帳票ブラウザのプレビュー画面からの印刷時、または帳票ブラウザの手元プリンタ出力時に、エラーが発生して印刷できない

---

#### 詳細

このとき、詳細情報として以下の内容がメッセージボックスに表示されます。

- ・ COBOLアプリケーション連携機能を利用している場合

Web手元印刷 MeFtの帳票出力処理で異常が発生しました。[LMCB] Details : MeFt error code : 86
--

- List Manager帳票出力インタフェースを利用している場合

Web手元印刷

帳票の出力中にエラーが発生しました。メモリまたはリソースが不足している可能性があります。詳細コード:[86]

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

出力先として指定したプリンタのポートが「FILE:」になっています。ポートに「FILE:」を指定したプリンタには出力できません。

### 対処

出力先のプリンタのポートをプリンタの接続先に合わせて、正しく設定してください。

## 3.2.37 操作画面を利用するユーザが帳票ブラウザを使用すると、表示されるはずの帳票が表示されない場合がある

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

操作画面を利用するユーザが帳票ブラウザを利用する場合、操作画面で設定した帳票の絞込み条件が引き継がれるため、帳票が表示されない場合があります。

### 対処

操作画面を利用するユーザは、帳票ブラウザを利用しないでください。

帳票ブラウザを利用する場合、操作画面を利用するユーザとは別のユーザIDを定義してください。

操作画面を利用するユーザが帳票ブラウザを利用する場合は、絞込み条件を解除するために、以下の対処が必要です。

1. 出力指示画面で、作成日時、タイトルに何も設定しない状態で、「絞込」ボタンをクリックします。

## 3.2.38 操作画面をSSL環境で使用すると、警告メッセージが表示される場合がある

### 詳細

このとき、以下のメッセージが表示されます。

「このページにはセキュリティで保護されている項目と保護されていない項目が含まれています。  
保護されていない項目を表示しますか？」

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

SSL環境でフレームを使用したWebページを表示する場合、セキュリティで保護されていない項目がなくても、Webブラウザが上記メッセージを表示する場合があります。

### 対処

「はい」を選択して、処理を続行してください。



### 3.2.39 IEを使用し、操作画面または帳票ブラウザへのログイン画面を表示しようとする、サイトを信頼済みサイトに追加するか検討するように勧めるメッセージが表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」が有効となるセキュリティ設定がされています。

#### [発生条件]

以下の条件のとき、ログイン画面がブロックされます。

- 操作画面および帳票ブラウザのサイトが、「信頼済みサイト」または「イントラネット」のゾーンに追加されていない
- IEを使用して、操作画面または帳票ブラウザのログイン画面を表示する

#### 対処

Webクライアントで、以下の手順に従ってIEのセキュリティ設定を変更してください。

1. 「コントロールパネル」の「インターネットオプション」を選択し、「インターネットのプロパティ」画面を開き、「セキュリティ」タブを選択します。
2. 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンを押下します。
3. 「次のWebサイトをゾーンに追加する」に、帳票管理サーバのURLを指定して「追加」ボタンを押下します。
4. SSL通信を使用する場合に「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https:)を必要とする」をチェックします。

## 3.3 帳票出力に関するトラブルが発生したら

---

帳票出力に関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.3.1 List Works Workstationをインストールすると、そのコンピュータに帳票を配信出力することができない 帳票一覧画面で帳票の出力状態を確認しても「配信依頼」または「配信待ち」のままになる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Windows ファイアウォール機能により、帳票出力サーバのサービスのポートがブロックされるため、帳票の配信出力ができません。

#### [発生条件]

以下の条件のとき、帳票を配信出力できません。

- 帳票出力サーバに Windows XP SP2 が適用されている。  
または、帳票出力サーバのOSにWindows 7、Windows Vistaを使用している
- 帳票出力サーバでWindows ファイアウォール機能を有効にしている
- Windows ファイアウォールの例外に、TCPプロトコルでポート「3767(注1)」が登録されていない

- 帳票管理サーバから帳票出力サーバへ帳票の配信出力を行った

\*1:

List Works Workstationの環境設定ファイルのキー「TcpSvrPortNum」で指定しているポート番号を設定してください。初期値は「3767」です。

## 対処

帳票出力サーバで以下の手順に従い、Windowsファイアウォール機能の設定を変更してください。

1. 「コントロールパネル」の「Windows ファイアウォール」を選択します。
2. 「全般」タブを選択し、「例外を許可しない」にチェックが入っている場合はチェックを外します。
3. 「例外」タブを選択し、「ポートの追加」ボタンを押下します。
4. 「ポートの追加」画面で入力項目に次の情報を入力します。
  - 名前 : 任意の文字列を入力します。
  - ポート : 3767(\*1)
  - TCP/UDP : TCP
5. 「ポートの追加」画面で「スコープの変更」ボタンを押下します。
6. 「スコープの変更」画面で「カスタムの一覧」を選択し、帳票管理サーバのIPアドレスを設定します。
7. 「スコープの変更」画面で「OK」を押下します。
8. 「ポートの追加」画面で「OK」を押下します。
9. 「例外」タブの一覧に入力した名前が表示され、チェックが入っていることを確認します。
10. 「Windows ファイアウォール」画面上で「OK」を押下して画面を閉じます。

\*1:

帳票出力サーバ(List Works Workstation)の環境設定ファイルのキー「TcpSvrPortNum」で指定しているポート番号を設定してください。初期値は「3767」です。

## 3.3.2 帳票出力時、帳票出力サーバのイベントログにメッセージが出力され、帳票出力できない

### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票出力サーバのイベントログに出力されます。

- ソースがListmanagerのイベントログ

```
[ID:1500]
詳細はListCREATORのイベントログで確認してください。
```

- ソースがListCREATORのイベントログ

```
[ID:1001]
[帳票名][出力方法]起動時のパラメタに誤りがあります。
```

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Manager帳票出力インタフェースに誤った指定を行っている。

- ・ 帳票出力サーバのInterstage List Manager Agentが V6～V7.0L10の場合に、PDFファイルの閲覧制限機能を使用している。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ List Manager帳票出力インタフェースに誤った設定を行っていないか見直し、帳票出力を再度実行してください。
- ・ Interstage List Manager Agent V6～V7.0L10ではサポートしていない機能になります。帳票出力サーバのInterstage List Manager AgentをList Works Print Agentに移行してください。または、PDFファイルの閲覧制限機能を使用せずに帳票の出力を行ってください。

### 3.3.3 管理対象プリンタで帳票を出力した場合、Windowsのプリンタ画面に表示されるドキュメント名の末尾に、文字化けした文字列が付加される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Manager では、スプールに属性情報を付加することで高信頼印刷機能を実現しています。

このとき、ドキュメント名の末尾に属性情報が付加されるため、Windowsのプリンタ画面に表示されるドキュメント名には、文字化けした文字列が付加されているように見えます。

#### 対処

正常な動作です。対処は不要です。

### 3.3.4 帳票出力時に、帳票定義情報に定義したデバイスフォントが指定したフォントサイズで出力されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票出力を行うプリンタがサポートしていないデバイスフォントのサイズが帳票定義情報に指定されている可能性があります。

#### 対処

帳票出力を行うプリンタがサポートしているデバイスフォントのサイズを確認し、デバイスフォントのサイズを正しく指定してください。

### 3.3.5 帳票出力時に、帳票定義情報に定義したデバイスフォントで出力されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ デバイスフォントをサポートしていないプリンタに出力している。
- ・ 帳票定義情報で指定したデバイスフォント名に誤りがある。

- ・ 帳票定義情報で指定した用紙方向がプリンタドライバでサポートされていない。

## 対処

帳票定義情報の以下の設定を見直してください。

- ・ 出力先のプリンタがデバイスフォントをサポートしているかを確認する。
- ・ 帳票定義情報で指定したフォント名が正しいかを確認する。
- ・ 帳票定義情報の用紙方向をデバイスフォントの出力が有効になるように修正する。

## 3.3.6 帳票を出力するアプリケーションは正常終了したにもかかわらず、帳票の出力状態が「失敗」、または「接続エラー」となり、帳票が出力されない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

帳票を出力するユーザアプリケーションは、List Managerへの帳票登録が完了することで正常に終了します。このため、帳票登録後に帳票が正しく出力されたかどうかは、アプリケーションの実行結果とは異なります。

帳票の出力状態が「失敗」、または「接続エラー」となり、帳票が出力されない原因として、以下が考えられます。

- ・ 配信先マシンの帳票出力サーバのサービス(Listmanager Agent Service)が起動されていない。
- ・ 帳票出力サーバ側のプリンタの環境設定が行われていない。
- ・ 帳票管理サーバのコンピュータのネットワークの設定に誤りがある。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 配信先の帳票出力サーバのサービス(Listmanager Agent Service)を起動してください。
- ・ 配信先の帳票出力サーバのプリンタの環境設定を行ってください。  
配信先の帳票出力サーバのプリンタの環境設定については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。
- ・ 帳票管理サーバのネットワークの設定を確認してください。  
帳票管理サーバのネットワークの設定については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。  
また、[3.3.12 帳票の配信に失敗する](#)も参照してください。



### 注意

List Managerでは帳票を配信する際に、以下のネットワークの設定が行われている必要があります。

- ・ 帳票管理サーバと帳票出力サーバ間で双方向の通信ができること。  
帳票管理サーバと帳票出力サーバそれぞれから、pingなどで通信できることを確認してください。
- ・ 帳票管理サーバと帳票出力サーバ間で双方のホスト名が解決できること。  
帳票管理サーバと帳票出力サーバそれぞれから、nslookupなどでホスト名の解決ができることを確認してください。
- ・ List Managerが使用するポートが開かれていて通信可能であること。  
帳票出力サーバでは、Windowsファイアウォールによってポートが閉じられている場合があります。また、ルータの設定などでポートが閉じられている場合もあります。

### 3.3.7 帳票の出力状態が「出力待ち」のままとなり、帳票が出力されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- Windowsのプリンタ画面で、プリンタまたはスプールが一時停止となっている。
- 出力先のプリンタ装置が他の帳票を出力しようとしており、その帳票の出力状態が「出力エラー」または「応答待ち」となっている。

#### 対処

帳票一覧画面で、以下の情報を確認してください。

- Windowsのプリンタ画面で、プリンタまたはスプールの一時停止を解除してください。
- 出力先のプリンタ装置が出力しようとしている帳票の出力状態を確認し、適切な対処を行ってください。  
論理あて先一覧画面および帳票の操作については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”を参照してください。

### 3.3.8 帳票の出力状態が「配信依頼」、「配信待ち」、または「接続エラー」のままとなり、帳票が出力されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 論理あて先の状態が「停止中」になっている。
- 帳票出力サーバのコンピュータのネットワークの設定に誤りがある。
- 帳票の配信リトライ中に論理デバイスの内容が変更された可能性がある。  
以下の手順で操作を行った場合、帳票の出力状態が変更されない場合がある。
  1. 帳票の配信リトライ中(出力状態が「接続エラー」)に帳票の出力を「強制中止」する。
  2. 論理あて先に登録された帳票をすべて削除する。
  3. 論理あて先、および、論理デバイスを削除する。
  4. 3.で削除した論理デバイスと同じ名前の論理デバイスを定義する。
  5. 論理あて先を定義する。
  6. 帳票を配信する。
- 帳票管理サーバの環境設定ファイルのMyHostNameキーまたはMyHostNameIPv6キーに、帳票管理サーバのホスト名またはIPアドレスが正しく設定されていない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 論理あて先を起動し、論理あて先の状態を「起動中」にしてください。

- ・ 帳票出力サーバのネットワークの設定を確認してください。  
帳票出力サーバのネットワークの設定については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。  
また、[3.3.12 帳票の配信に失敗する](#)も確認してください。

## 注意

List Managerでは帳票を配信する際に、以下のネットワークの設定が行われている必要があります。

- ー 帳票管理サーバと帳票出力サーバ間で双方向の通信ができること。  
帳票管理サーバと帳票出力サーバそれぞれから、pingなどで通信できることを確認してください。
  - ー 帳票管理サーバと帳票出力サーバ間で双方のホスト名が解決できること。  
帳票管理サーバと帳票出力サーバそれぞれから、nslookupなどでホスト名の解決ができることを確認してください。
  - ー List Managerが使用するポートが開かれていて通信可能であること。  
帳票出力サーバでは、Windowsファイアウォールによってポートが閉じられている場合があります。また、ルータの設定などでポートが閉じられている場合もあります。
- 
- ・ 論理あて先を起動することで、帳票の配信が再開されます。  
なお、論理あて先を起動しなくても、帳票管理サーバの環境設定ファイルのDeliveryRetryTimeキーに定義された間隔で帳票の配信はリトライされます。
  - ・ 帳票管理サーバの環境設定ファイルのMyHostNameキーまたはMyHostNameIPv6キーに、帳票出力サーバから通信を受け付ける帳票管理サーバのホスト名またはIPアドレスが正しく設定されているかを確認してください。

## 3.3.9 出力中止、出力強制中止、保留解除、応答の操作を行った時に、「内部エラー」が発生する

### 詳細

このとき、帳票管理サーバのシステムログに以下のメッセージが出力されます。

```
内部エラーが発生しました。(帳票 : XXXX、帳票ID : I111、論理あて先 : YYYYY、詳細 : ZZZZ、コード : NNNN)
```

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

V6.0L10 のInterstage List Manager Agent がインストールされた帳票出力サーバに対する帳票の操作に失敗した可能性があります。

以下の原因が考えられます。

- ・ 論理デバイスに定義された印刷プリンタにネットワークプリンタが指定されている。
- ・ 論理デバイスに定義された印刷プリンタの指定に誤りがある。
- ・ 論理デバイスに定義された印刷プリンタにアクセスする権限が設定されていない。
- ・ 帳票出力サーバでメモリ不足が発生している。
- ・ 帳票出力サーバでリソースが不足している。
- ・ プリンタドライバの環境が異常である。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ ネットワークプリンタではなく、ローカルプリンタを指定してください。

- ・ プリンタ名の指定が正しいかを確認してください。
- ・ プリンタにアクセスするための権限が設定されているかを確認してください。
- ・ 不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
- ・ 仮想メモリを増やすか、またはメモリを増設し、再度実行してください。
- ・ 最新のプリンタドライバを入手し適用してください。また、プリンタ装置に印刷が可能となるように環境を見直してください。

### 3.3.10 List Creatorデザイナーで作成した帳票の出力時に、「帳票に存在しない項目がある」のエラーとなる

---

#### 詳細

このとき、帳票出力サーバのイベントログに以下のメッセージが出力されます。

- ・ ソースがListmanagerのイベントログ

```
[ID: 1500]
詳細はListCREATORのイベントログで確認してください。
```

- ・ ソースがListCREATORのイベントログ

```
[ID: 1043]
[帳票名][出力方法]帳票に存在しない項目<項目名>があるため処理できません。
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票定義情報のコード系が、Shift-JISコード系ではありません。

#### 対処

シフトJISコード系の帳票定義情報をご使用ください。List Manager で、List Creatorデザイナーで作成した帳票定義情報を使用する場合、帳票定義情報はシフトJISコード系のみサポートしています。

List Creator デザイナーが提供している帳票コード変換機能を使用して、EUCやUNICODE (UTF8) の文字コード系に変換する必要はありません。

### 3.3.11 帳票出力を行うアプリケーションが帳票の出力時にエラーとなる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票管理サーバのデータベースに以下のような必須項目の定義が行われていない可能性があります。

- ・ 用紙コード
- ・ 帳票属性
- ・ 論理デバイス
- ・ 論理あて先

## 対処

帳票管理サーバの環境設定コマンドで、必須項目の定義を行ってください。

- 用紙コードが定義されていない場合

例) `lmedtpaper -a A4`

- 帳票属性が定義されていない場合

例) `lmedtformatr -a 帳票名 -papercode A4`

- 論理デバイスが定義されていない場合

例) `lmedtdev -a lmdevl -outputmethod 0 -hostname lm01 -devicename prt1`

- 論理あて先が定義されていない場合

例) `lmedtld -a LD01 -ldevice lmdevl`

帳票管理サーバの環境設定コマンドについては、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。

## 3.3.12 帳票の配信に失敗する

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

ネットワークの設定が正しく行われていない可能性があります。

帳票管理サーバと帳票出力サーバ間で双方向の通信が必要となります。

帳票管理サーバおよび帳票出力サーバのいずれかに対してpingが失敗する場合、以下の可能性があります。

- LANケーブルが断線している
- 接続先マシンのIPアドレスが正しく設定されていない
- ネットワークのルーティング情報が正しく設定されていない
- 帳票管理サーバにLANカードが複数枚設置されている

### 対処

LANケーブルの断線、ルータなどのハード異常、またはオペレーティングシステムのネットワークの設定を確認してください。また、帳票管理サーバにLANカードが複数設置されている場合は、帳票管理サーバの環境設定ファイルにMyHostNameキーまたはMyHostNameIPv6キーで帳票管理サーバのホスト名を設定してください。

## 3.3.13 大量ページの帳票を印刷すると、印刷に失敗する場合がある

---

### 詳細

このとき、ソースが「ListCREATOR:MeFt」の以下のメッセージが帳票出力サーバのイベントログに出力されます(ERROR CODEの値の先頭2桁が"86")。

```
WRITE error.  
ERROR CODE : 86-0bb6-00000000-00000057  
PRTID : 帳票名
```

この現象は、List Manager 帳票出力インタフェース、またはCOBOLアプリケーション連携機能を使用した場合に発生します。



## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下のいずれかの設定により、スプールデータのデータ種別がEMFとなっている可能性があります。

- Windowsのプリンタ画面の各プリンタのプロパティで、詳細設定の[詳細な印刷機能を有効にする]がチェックされている。
- プリンタドライバ個別の設定で、スプールデータのデータ種別がEMFに設定されている。Windows環境では、EMFデータのスプールサイズには上限値が存在します。  
このため、大量ページの帳票を印刷すると、正常に印刷が完了せずエラーが発生する場合があります。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行い、スプールデータの種別をRAWに変更してください。

- Windowsのプリンタ画面の各プリンタのプロパティで、詳細設定の[詳細な印刷機能を有効にする]のチェックをはずす。
- プリンタドライバ個別の設定でスプールデータのデータ種別をRAWに設定する。

### ポイント

- EMFデータのスプールサイズの上限は、Windowsのバージョンレベルによって異なります。詳細については、Windowsのサポート情報を確認してください。
- スプールデータの種別を変更する場合、必ず[標準の設定]ボタンを選択して変更してください。ただし、[標準の設定]ボタンを選択し、スプールデータの種別を変更する方法は、プリンタドライバによって異なります。  
操作の詳細は、各プリンタドライバのドキュメントなどを参照してください。
- スプールデータのデータ種別をEMFからRAWに変更した場合、帳票の出力状態が「出力保留」の帳票を保留解除するとき、ページ範囲を指定するとエラーとなります。

## 3.3.14 ホスト帳票連携機能を使用して大量ページの帳票を印刷すると、帳票の出力状態が「出力待ち」または「出力中」のままの状態となる場合がある

### 詳細

このとき、帳票管理サーバのシステムログ、および帳票出力サーバのイベントログにメッセージは出力されません。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下のいずれかの設定により、スプールデータのデータ種別がEMFとなっている可能性があります。

- Windowsのプリンタ画面の各プリンタのプロパティで、詳細設定の[詳細な印刷機能を有効にする]がチェックされている。
- プリンタドライバ個別の設定で、スプールデータのデータ種別がEMFに設定されている。  
Windows環境では、EMFデータのスプールサイズには上限値が存在します。  
このため、大量ページの帳票を印刷すると、正常に印刷が完了せずエラーが発生する場合があります。

### 対処

以下の対処を行い、EMFデータで印刷した際に帳票出力サーバに残った一時ファイルを削除してください。

- 帳票管理サーバ側  
帳票の出力状態が「出力待ち」または「出力中」となっている場合、帳票の出力の強制中止を行う。

- 帳票出力サーバ側  
以下の手順で操作を行い、帳票出力時に残ったメモリ資源、ディスク資源を削除してください。
  1. 帳票出力サーバを再起動する。
  2. Administrators権限を持つユーザでログインする。
  3. %SystemRoot%\Temp 配下に残った作業用フォルダを削除する。  
作業用フォルダのフォルダ名は Lstm\_XXXXXXXXXXXX (XXXX...の部分はランダムな英数字)
  4. ログアウトする。
  5. 運用時の一般ユーザ権限でログインし直す。

また、同じ帳票を再出力する場合、原因に応じて以下の対処を行い、スプールデータの種別をRAWに変更してください。

- Windowsのプリンタ画面の各プリンタのプロパティで、詳細設定の[詳細な印刷機能を有効にする]のチェックをはずす。
- プリンタドライバ個別の設定でスプールデータのデータ種別をRAW に設定する。

## ポイント

- EMFデータのスプールサイズの上限は、Windowsのバージョンレベルによって異なります。詳細については、Windowsのサポート情報を確認してください。
- スプールデータの種別を変更する場合、必ず[標準の設定]ボタンを選択して変更してください。ただし、[標準の設定]ボタンを選択し、スプールデータの種別を変更する方法は、プリンタドライバによって異なります。操作の詳細は、各プリンタドライバのドキュメントなどを参照してください。

### 3.3.15 Javaインタフェースで帳票出力を実行しても帳票の出力時にエラーとなる

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ユーザアプリケーションの実行ユーザの、以下の環境変数が正しく設定されていない。
  - LD\_LIBRARY\_PATH
  - PATH
  - LANG
  - CLASSPATH
- 以下の環境変数が設定されている。
  - LC\_\* (“LC\_”から始まる環境変数)
- アプリケーション実行時に指定した帳票格納ディレクトリまたは帳票管理サーバの環境設定ファイルの帳票格納ディレクトリ (LmlcFormDirキー) に帳票が正しく配置されていない。
- 帳票管理サーバの環境設定ファイルの帳票データファイル格納ディレクトリ (DataFileDirキー) として指定されたディレクトリにユーザアプリケーションの実行ユーザのアクセス権がない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- それぞれの必要な環境変数を正しく設定してください。

— LD\_LIBRARY\_PATHの設定

例) LD\_LIBRARY\_PATH=/opt/FJSV1stm/lib:/opt/FJSVoast/lib:\$LD\_LIBRARY\_PATH

— PATHの設定

例) PATH=/opt/FJSV1stm/bin:\$PATH

— LANGの設定

例) LANG=ja\_JP.PCK

— CLASSPATHの設定

例) CLASSPATH=./opt/FJSVoast/classes/fjoajif.jar:\$CLASSPATH

Javaインタフェースにおける環境変数の設定方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

- 以下の環境変数の定義を削除してください。

LC\_\* (“LC\_”から始まる環境変数)

- 帳票管理サーバの環境設定ファイルの帳票格納ディレクトリ(LmIcFormDirキー)、またはアプリケーションで指定した帳票格納ディレクトリがフルパスで正しく設定されているか、また、指定されたディレクトリに帳票が存在しているかを確認します。
- 帳票管理サーバの環境設定ファイルの帳票データファイル格納ディレクトリ(DataFileDirキー)に、ユーザアプリケーションの実行ユーザのアクセス権があるディレクトリを指定します。

### 3.3.16 帳票出力した場合、帳票の出力状態が「配信中」のまま変わらない場合がある

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の可能性があります。

- 出力先のプリンタのポートが「FILE:」となっている。
- 帳票出力サーバから帳票管理サーバへ通信経路のネットワーク設定に誤りがある。
- 帳票出力サーバ側でホスト名解決の設定に誤りがあり、帳票管理サーバのホスト名が解決できない。
- ネットワーク構成上、帳票出力サーバ側から帳票管理サーバのホスト名が解決できないにもかかわらず、帳票管理サーバの環境設定ファイルのMyHostNameキーまたはMyHostNameIPv6キーを指定していない(ネットワーク負荷分散装置使用時など)。
- 出力先のプリンタの設定で、「プリンタに直接印刷データを送る」が指定されている。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 出力先のプリンタのポートをプリンタの接続先に合わせて、正しく設定してください。
- 帳票出力サーバのネットワーク設定を確認する、またはゲートウェイ、ルータなどのネットワーク経路が正しく設定されているかを確認してください。
- 帳票出力サーバのDNSまたはhostsの設定を確認してください。  
ネットワークの設定方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。または[3.3.8 帳票の出力状態が「配信依頼」、「配信待ち」、または「接続エラー」のままとなり、帳票が出力されない](#)も参照してください。
- 帳票管理サーバの環境設定ファイルのMyHostNameキーまたはMyHostNameIPv6キーに、帳票出力サーバから通信を受け付けるホスト名またはIPアドレスを指定してください。

- ・ 到着通知パネルにエラーが表示されます。[削除]ボタンをクリックしてください。帳票の出力状態は「中止」となります。出力先のプリンタの詳細設定で「プリンタに直接印刷データを送る」の選択を解除し、帳票を再度出力してください。

### 3.3.17 帳票出力時にファイル使用中のエラーが表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

実際に、帳票の出力時に指定したファイルが使用中です。例えば、帳票の出力時に指定するデータファイルなどを、帳票を出力する前にアプリケーションで作成している場合、作成したファイルがクローズされていない可能性があります。

#### 対処

ファイルがクローズされているかを確認してください。

### 3.3.18 Imoprformコマンドで、存在する論理あて先、帳票番号、または帳票IDを指定しているのに何も表示されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票を出力したユーザのユーザグループが登録されていない。
- ・ 帳票を出力したユーザのユーザIDがすでに登録されているグループに所属していない。
- ・ 帳票を出力したユーザが所属しているグループで論理あて先権限が登録されていない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ ユーザグループを登録します。
- ・ 登録されているグループにユーザIDを所属させます。
- ・ 登録されている論理あて先名、ユーザが所属しているグループ名で、論理あて先権限を登録します。

### 3.3.19 帳票を帳票出力サーバで出力すると、メッセージが到着通知パネルに表示され、印刷できない

---

#### 詳細

このとき、到着通知パネルに以下のいずれかのメッセージが表示されます。

1300 タイムアウトが発生したため、印刷できません。
-----------------------------

1500 処理中に異常が発生したため、印刷できません。詳細情報：1460タイムアウト期間が経過したため、この操作は終了しました。
--

また、このとき、帳票出力サーバのソースが「F3EWSRV」のイベントログに、イベントID 10501、10502が出力されています。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

システム資源不足のエラーが発生したため、プリンタの監視ができません。

## 対処

不要なアプリケーションを終了し、コントロールパネルの「サービス」画面から“PRT Server Service”サービスを再起動してください。

繰り返し同じ現象が発生する場合は、システムの動作環境を見直し、メモリを増設するなどの処置を行ってください。

## 3.3.20 「印刷時、メモリまたはリソースが不足している可能性があります」のエラーになる

---

### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票出力サーバのイベントログに出力されます。

```
[ID:1299]
[帳票名][出力方法]帳票の出力中にエラーが発生しました。メモリまたはリソースが不足している可能性があります。処理を打ち切ります。
詳細コード : [86]
```

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

以下の原因が考えられます。

- ・メモリ不足が発生している。
- ・リソースが不足している。
- ・プリンタドライバの環境が異常である。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
- ・仮想メモリを増やす、またはメモリを増設し、再度実行してください。
- ・最新のプリンタドライバを入手し適応してください。また、プリンタ装置に印刷が可能となるように環境を見直してください。

## 3.3.21 組込みメディア項目を定義した帳票の出力時にエラーになる

---

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

帳票の定義または帳票の出力時の指定に誤りがある可能性があります。

## 対処

帳票出力時の指定を確認してください。

- ・ 帳票の出力時に、メディアデータ格納ディレクトリが指定されているか。
- ・ メディアデータ格納ディレクトリが帳票出力サーバに存在する場合、メディアデータ格納ディレクトリにローカルディスクのディレクトリが指定されているか。
- ・ 帳票管理サーバまたは帳票出力サーバに、入力データで指定したメディアデータファイルが存在するか。  
メディアデータファイルの配置先については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”を参照してください。
- ・ 指定した出力方法で出力可能なメディアデータ種別か。
- ・ 組込みメディア項目に対する入力データのメディアデータファイル名は、ファイル名のみで指定したか。

### 3.3.22 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力処理中にエラーが発生しました。(エラーコード:XX)」のエラーが出力される

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 環境変数LD\_LIBRARY\_PATHが正しく設定されていない可能性があります。  
環境変数LD\_LIBRARY\_PATHが正しく設定されていないと、ライブラリが正しくロードできず、コマンドが異常復帰する場合があります。
- ・ 帳票管理サーバの論理デバイスの編集コマンド(lmedtdevコマンド)の-outputmethodオプションで、出力方法に電子保存以外を指定し、出力先に電子保存装置を指定している可能性があります。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 環境変数LD\_LIBRARY\_PATHの先頭に、List Creatorのライブラリ格納フォルダ(「/opt/FJSVoast/lib」)を設定してください。  
Charset Managerの機能を使用する場合は、標準コード変換のライブラリ格納フォルダ(「/etc/opt/FSUNiconv/lib」)を設定してください。  
設定方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。
- ・ 電子保存装置は、出力方法が電子保存の場合のみ指定可能です。出力方法が印刷やFAX送信の場合は、出力先に電子保存装置以外を指定してください。

### 3.3.23 「帳票が壊れている」のエラーが出力される

#### 詳細

このとき、以下のいずれかのメッセージが出力されます。

- ・ 帳票出力サーバのイベントログに出力される場合

```
[ID:1418]
[帳票名] [出力方法]処理できない帳票です。帳票が壊れている可能性があります。帳票資源を確認してください。
```

- ・ 帳票管理サーバのシステムログに出力される場合

```
[出力方法] [帳票名]処理できない帳票です。帳票が壊れている可能性があります。帳票資源を確認してください。
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

帳票が壊れています。帳票を配置する際に、ASCIIモードでFTP転送したなど、正しく配置されていない可能性があります。

## 対処

再度、帳票を設計したコンピュータから、帳票資源をバイナリモードでFTP転送するなど正しく配置してください。

### 3.3.24 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力サーバに対してサポート外の要求が送信されました」のメッセージが出力される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

帳票出力サーバにインストールされたInterstage List Manager Agentに対し、サポートされていない機能を実行した可能性があります。以下の原因が考えられます。

- a. Interstage List Manager AgentがV6.0L10の場合に、以下の機能を実行した。
  - － 16バイトより大きい論理あて先名の論理あて先に登録された帳票を配信した。
  - － 16バイトより大きい論理デバイス名が関連付けられている論理あて先に登録された帳票を配信した。
  - － 16バイトより大きい配信通番IDが設定されている論理あて先に登録された帳票を配信した。
  - － 32バイトより大きい印刷プリンタ名が設定されている論理デバイスに関連付けられている論理あて先に登録された帳票を配信した。
  - － 以下の条件の論理あて先の優先度を変更した。
    - 論理あて先名が16バイトより大きい
    - 関連付けられている論理デバイスの印刷プリンタ名が32バイトより大きい
    - 関連付けられている論理デバイスの論理デバイス名が16バイトより大きい
- b. 帳票出力サーバのInterstage List Manager AgentがV6～V7.0L10の場合に、ホスト帳票連携機能を使用して帳票を配信した。
- c. Interstage List Manager AgentがV6.0L10の場合に、帳票の一括操作(中止、強制中止、保留解除)を実行した。

## 対処

帳票出力サーバのInterstage List Manager AgentをList Works Print Agentに移行してください。

### 3.3.25 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力サーバがサポートしていない操作が実行されました。帳票出力サーバの製品のバージョンを確認してください。」のメッセージが出力される

---

原因と対処方法は、[3.3.24 帳票管理サーバのシステムログに「帳票出力サーバに対してサポート外の要求が送信されました」のメッセージが出力される](#)を参照してください。

### 3.3.26 「プリンタが存在しない」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票出力サーバのイベントログに出力されます。

[ID:1292]

[帳票名][出力方法]プリンタのオープン時に異常が発生しました。プリンタにアクセスする権限がないか、プリンタが存在しないか、またはシステムのリソースが不足している可能性があります。詳細コード：[XX]

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ ネットワークプリンタが指定されている。
- ・ プリンタ名の指定に誤りがある。
- ・ プリンタにアクセスする権限が設定されていない。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ ネットワークプリンタではなく、ローカルプリンタを指定してください。
- ・ プリンタ名の指定が正しいかを確認してください。
- ・ プリンタにアクセスするための権限が設定されているかを確認してください。

## 3.3.27 電子保存時、帳票出力サーバのイベントログで「電子保存時にエラーが発生しました。ListWORKSのログ情報でエラーの詳細を確認してください。詳細コード：[10]」のエラーになる

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ List Works (帳票保管活用機能) の環境設定に誤りがあります。
- ・ システムが高負荷の可能性あります。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ List Works (帳票保管活用機能) の環境設定を見直してください。
- ・ 不要なアプリケーションを終了する、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設し、再度実行してください。

## 3.3.28 電子保存時、帳票出力サーバのイベントログで「帳票出力中にエラーが発生しました。(エラーコード:40)」のエラーになる

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降



## 原因

システムが高負荷の可能性あります。

## 対処

不要なアプリケーションを終了する、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設し、再度実行してください。

### 3.3.29 入力データ形式が「XML形式」の帳票を出力すると「クラスが登録されていません」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票出力サーバのイベントログに出力されます。

```
[ID:1440]
[帳票名][出力方法]XML解析中に異常が発生しました。処理を打ち切ります（クラスが登録されていません）。
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

前提となる以下の製品がインストールされていない可能性があります。

- Fujitsu XML Library V3.0以降、およびInternet Explorer

#### 対処

以下の製品がインストールされているかを確認してください。

- Fujitsu XML Library V3.0以降、およびInternet Explorer

#### ポイント

.....  
List Worksの製品媒体(CD-ROM)には、Fujitsu XML Library V5.2が同梱されています。Fujitsu XML Libraryのインストールに関する詳細は、“インストールガイド”の“付録F Fujitsu XML Libraryについて”を参照してください。  
.....

### 3.3.30 入力データ形式が「XML形式」の帳票を出力すると「符号化方式はサポートしていません」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のいずれかのメッセージが出力されます。

- 帳票出力サーバのイベントログに出力される場合

```
[ID:1440]
[帳票名][出力方法]XML解析中に異常が発生しました。処理を打ち切ります（符号化宣言に指定された符号化方式はサポートしていません。file://XXX: 行 X, 桁 Xで上記エラーを検出しました）。
```

- 帳票管理サーバのシステムログに出力される場合

```
[出力方法][帳票名]XML解析中に異常が発生しました。処理を打ち切ります（符号化宣言に指定された符号化方式はサポートしていません。file://XXX: 行 X, 桁 Xで上記エラーを検出しました）。
```

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

入力データで宣言されている文字コード系の指定に誤りがあります。

## 対処

以下の文字コード系が宣言されているかを確認してください。

- UNICODE (UTF-8) の場合  
`<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>`
- シフトJIS (Shift\_JIS) の場合  
`<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>`
- 日本語 EUC (EUC-JP) の場合  
`<?xml version="1.0" encoding="EUC-JP"?>`

### 3.3.31 入力データにUNICODE (UCS2/UTF8)のデータを指定した場合に文字コード変換エラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが出力されます。

[ID:1399]  
[帳票名][出力方法]帳票の出力中にエラーが発生しました。標準コード変換が未サポートのバージョンである、または資源不足が発生している可能性があります。

以下の帳票管理サーバのオペレーティングシステムおよび運用形態により、メッセージの出力先は異なります。

- 帳票配信型の場合  
帳票出力サーバのイベントログ
- Web手元印刷型 (OWFファイル) の場合  
Webクライアントのイベントログ

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

ADJUST またはサポートしていないバージョンのCharset Manager がインストールされている可能性があります。

## 対処

メッセージが出力されたマシンにCharset Manager Standard Edition Agent 6.0以降をインストールしてください。

### 3.3.32 日本語EUC (EUC-JP)で作成したXMLデータを入力データにして帳票出力すると、「符号化方式で使用できない文字がある」のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、以下のいずれかのメッセージが出力されます。

- ・ 帳票出力サーバのイベントログに出力される場合

[ID:1440]  
[帳票名][出力方法] XML解析中に異常が発生しました。処理を打ち切ります (検出した符号化方式で使用できない文字があります。  
file://XXX: 行 X, 桁 Xで上記エラーを検出しました)。

- ・ 帳票管理サーバのシステムログに出力される場合

[出力方法][帳票名] XML解析中に異常が発生しました。処理を打ち切ります (検出した符号化方式で使用できない文字があります。  
file://XXX: 行 X, 桁 Xで上記エラーを検出しました)。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

日本語EUC (EUC-JP)の文字コード系で作成したXMLデータ中に3バイト文字が含まれている可能性があります。

## 対処

日本語EUC (EUC-JP)で作成した XMLデータ中には3バイト文字を使用しないでください。

XMLデータで使用できる文字については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

## 3.3.33 PDFファイル保存時「製品が正しくインストールされていない」のエラーになる

### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票出力サーバ(List Works Workstation)のイベントログに出力されます。

[ID:1332]  
[帳票名][出力方法]PDF出力時にエラーが発生しました。製品が正常にインストールされていない可能性があります。詳細コード:[XX]

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

List Works Workstation がインストールされている場合、PDFファイル保存はできません(PDFファイル保存は、List Works Print Agentのみできます)。

## 対処

インストールされているList Worksの製品種別を確認し、List Works Workstation がインストールされている場合はList Works Print AgentがインストールされているサーバでPDF出力をするように論理デバイスを再作成してください。

## 3.3.34 PDFファイル保存時、またはOWFファイル生成時、存在していた元のファイルが削除されてしまう

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

指定したファイル名と同名のファイルが存在し、ファイルに書き込み権がないなどの要因でファイル保存に失敗した場合、元のファイルが削除されてしまうことがあります。

## 対処

対処方法はありません。帳票を再度出力してください。

## 3.3.35 データが途中で切れて出力される

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 該当する項目の項目長または領域長が短い。
- ・ 指定した範囲内にデータを出力する指定になっていない。
- ・ JavaインタフェースのFormsクラスのpushRecordメソッドを使用している。
- ・ 帳票様式定義の作成環境と実行環境が異なる。
- ・ 入力データの文字コード系がEUCの場合、入力データに半角カタカナを使用している。この場合、項目長に「実際に出力する文字数×2」の長さを指定する必要があります。項目長が短い場合、帳票の出力時にデータが途中で切れて出力される場合があります。
- ・ 入力データの文字コード系がUNICODE (UTF-8) の場合、入力データに日本語文字を使用している。この場合、項目長に「実際に出力する文字×3」の長さを指定する必要があります。項目長が短い場合、帳票の出力時にデータが途中で切れて出力される場合があります。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 該当する項目の項目長、領域長を大きくする。操作方法については、帳票設計を行う製品のマニュアルを参照してください。
- ・ 該当する項目の文字配置に「圧縮」を指定する。操作方法については、帳票設計を行う製品のマニュアルを参照してください。
- ・ 該当する項目の文字ピッチを指定する。操作方法については、帳票設計を行う製品のマニュアルを参照してください。
- ・ 文字コード系の環境設定に合わせて、帳票の項目長を「実際に出力する文字数×2」または「実際に出力する文字数×3」に設定する。



### 注意

- ・ UNICODE (UCS2/UTF8) のデータを出力する場合は、項目長に、日本語文字(半角カタカナ含む)は1文字3バイト、半角英数字は1文字1バイトで計算して項目長を指定してください。日本語文字と半角文字が混在するため、指定する項目長がわからない場合は、文字数×3の長さを指定してください。  
項目長が短い場合、データが途中で切れて出力される場合があります。
- ・ Shift-JISで「XML形式」のデータを帳票出力する場合は、項目長に、日本語文字(半角カタカナ含む)は1文字3バイト、半角英数字は1文字1バイトで計算して項目長を指定してください。日本語文字と半角文字が混在するため、指定する項目長がわからない場合は、文字数×3の長さを指定してください。  
項目長が短い場合、文字列が途中で切れて出力される場合があります。

## 3.3.36 印刷時、指定した給紙方法で給紙されない

---

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

該当するプリンタでは、指定された給紙方法では給紙できません。

## 対処

プリンタドライバのプロパティで給紙したい給紙口名を確認し、以下のいずれかで給紙口名を指定してください。

- ・ 帳票管理サーバのプリンタ構成の編集コマンド (lmedtprinfoコマンド)
- ・ List Creatorデザイナの帳票業務情報のプロパティ画面の[印刷]タブ

なお、給紙口名を指定する場合は、給紙方法には「指定なし」以外を指定しておいてください。

また、給紙方法に「自動」を指定しても自動給紙が正しく動作しない場合は、プリンタドライバのプロパティで自動給紙を指定し、給紙方法に「指定なし」を指定してください。

## 3.3.37 出力結果が文字化けしたり帳票が出力されない

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 入力データの文字コード系の指定に誤りがある可能性があります。
- ・ Web 手元印刷型で運用している場合に、環境変数 LC\_ALL が指定されている可能性があります。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票の出力時に指定した入力データの文字コード系の指定を確認してください。
- ・ Web 手元印刷型で運用している場合、環境変数 LC\_ALL が指定されていないかを確認してください。

## 3.3.38 指定したフォントで出力されない

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

帳票出力サーバにフォントが正しくインストールされていない可能性があります。

### 対処

該当するフォントがインストールされているかを確認してください。インストールされている場合は、フォントが正しくインストールされているかを確認してください。

フォントが正しくインストールされているかを確認するには、他のアプリケーションで、該当フォントを指定して、帳票で出力したい文字と同じ文字が出力できるかを確認してください。

### 3.3.39 印刷時、ページの外側が欠けて出力される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

プリンタの印字不可領域に項目や罫線などが定義されている可能性があります。

#### 対処

プリンタの印字不可領域を調べたあと、印刷を開始する原点位置を見直してください。

原点位置は、以下のいずれかの方法で指定します。

- アプリケーション実行時  
アプリケーション実行時に原点位置を指定する方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。
- 論理デバイスの編集コマンド (lmedtdevコマンド)  
論理デバイスの編集コマンド (lmedtdevコマンド) で原点位置を指定する方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。
- List Creatorデザイナの帳票様式定義画面のプロパティ画面の[余白]タブ  
List Creatorデザイナの帳票様式定義画面のプロパティ画面の[余白]タブで原点位置を指定する方法は、List Creatorオンラインヘルプを参照してください。



#### 注意

- 「用紙からの位置」の「原点位置」は、電子保存した帳票を表示する場合は有効になりません。なお、電子保存は、Interstage List Manager互換のための機能です。
- ご使用になるプリンタの種類によっては、プレビュー結果と実際のプリンタへの出力が異なる場合があります。必ずご使用のプリンタのマニュアルで、印字不可領域を確認してください。

### 3.3.40 帳票出力コマンド実行時、「コマンドが存在しない」のエラーになる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

コマンドを起動する場合に、オプションに特別な意味を持つ文字 (例えば、「バーティカルバー (|)」など) が指定された可能性があります。

#### 対処

該当する文字の特別な意味を消して、コマンドオプションを指定してください。

以下に、特別な意味を消す一般的な方法を示します。

- オプションを「ダブルクォーテーション (")」で囲む
- オプションを「シングルクォーテーション (')」で囲む
- 特別な意味を持つ文字の前に「半角のバックスラッシュ (\)」を指定する

### 3.3.41 Javaインタフェースを呼び出したJavaアプリケーションがハングアップしたり、例外が発生したりする

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Javaインタフェースを呼び出しているJavaアプリケーションが動作しているJava VMが、グリーンスレッドモードで動作している可能性があります。

Javaインタフェースは、ネイティブスレッドモードでのみ動作します。

#### 対処

Javaインタフェースを呼び出しているJavaアプリケーションが動作しているJava VMのスレッドモードをネイティブスレッドモードで動作するように設定してください。

Javaインタフェースの詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

### 3.3.42 Javaインタフェースを呼び出した場合、「java.lang.ClassNotFoundException」の例外が発生する

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerが提供するjarファイルがCLASSPATHに設定されていない可能性があります。

#### 対処

CLASSPATHに、List Managerが提供するjarファイルを指定してください。なお、使用する機能によって、CLASSPATHに設定するjarファイルが異なります。

Javaインタフェースを利用するための環境変数については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

### 3.3.43 アプリケーションまたはList Managerのデーモンがコアダンプする

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

スワップ領域(/tmpなど)の使用域が100%となっている可能性があります。この場合、Solarisの問題により、スレッド起動時にSIGBUSまたはSIGSEGVが発生し、実行中のプロセスがコアダンプする場合があります。

#### 対処

スワップ領域(/tmpなど)の使用域が100%となっている場合、物理メモリまたはスワップ領域(/tmpなど)の空き領域を増やしてください。

### 3.3.44 GSコネクタ連携時に帳票を「出力する」指定を行っても、配信されずに「登録」という状態となる

---

#### 詳細

このとき、以下のメッセージが帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

```
[List Managerでエラーが発生]List Managerと通信できませんでした。
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0

#### 原因

List Managerのデーモン(fjsvlstmd)が起動されていない可能性があります。

#### 対処

List Managerのデーモン(fjsvlstmd)を起動してください。

List Managerの起動/停止については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”を参照してください。

### 3.3.45 用紙交換メッセージが表示された状態にもかかわらず、帳票の出力状態が「出力エラー」となり応答による印刷が続行できない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

用紙交換メッセージを必ず表示する設定の帳票を出力し、用紙交換メッセージに応答したあとプリンタエラーが発生し、「保留」を行った可能性があります。

この場合「保留解除」すると、用紙交換メッセージが再度出力されますが、帳票の出力状態は「応答待ち」とならず、「出力エラー」となる場合があります。

この現象は、以下の帳票出力サーバに帳票を出力した場合に発生します。

- Interstage List Manager Agentが V6～V7.0L10の場合

#### 対処

帳票を「出力中止」したあと、「出力」を行ってください。

### 3.3.46 帳票の出力状態が出力完了または出力済にもかかわらず、最終ページまで出力されない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

List Managerの推奨プリンタ以外で帳票出力を行っている可能性があります。この場合、出力中にスプールデータが削除された場合などでも出力完了メッセージが通知される場合があります。また、帳票の出力完了を待ち合わせても実際には最終ページまで出力されない場合や、エラーが正しく通知されない場合があります。



以下に、List Managerの推奨プリンタを示します。

- VSP/VS シリーズ
- PrintiaLASER シリーズ(Printianavi 搭載機)
- パートナー連携対応プリンタを使用して接続したネットワークプリンタ

## 対処

上記のList Managerの推奨プリンタを利用して帳票出力を行ってください。

### 3.3.47 Web手元印刷用の論理あて先に登録された帳票を出力した場合、または複写/移動と同時に出力した場合、「同名のOWFファイルがすでに存在します。」のエラーとなる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

出力先のフォルダに、すでに同名のファイルが存在する可能性があります。

以下の操作を行ったときに発生する場合があります。

- Web手元印刷(PDFファイル)用の論理あて先に登録された帳票を、Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行う。
- Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に登録された帳票を、Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行う。
- Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に登録された帳票に対して、再出力を行う。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- 複写/移動後の出力でエラーとなった場合、複写/移動は正常に行われているため、複写/移動した帳票を帳票の出力/出力中止コマンド(Imoprprintコマンド)の-filenameオプションに異なる出力ファイル名を指定して出力してください。
- 出力でエラーとなった場合、エラーとなった帳票を、帳票の出力/出力中止コマンド(Imoprprintコマンド)の-filenameオプションに異なる出力ファイル名を指定して出力してください。

### 3.3.48 Web手元印刷用の論理あて先に登録された帳票を複写/移動と同時に出力したとき、複写/移動先の出力方法とは異なる拡張子のファイル名が作成される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票の複写/移動時には、帳票の登録時に指定したファイル名が引き継がれるため、複写/移動した帳票の出力を行った場合、複写/移動元の帳票のファイル名で出力されます。

以下の原因が考えられます。

- ユーザアプリケーションから出力ファイル名を指定した場合
  - Web手元印刷(PDFファイル)用の論理あて先に拡張子(.pdf)付きのファイル名を指定して登録された帳票を、Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行っている、または複写/移動後、再出力を行っている。
  - Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に拡張子(.owf)付きのファイル名を指定して登録された帳票を、Web手元印刷(PDFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行っている、または複写/移動後、再出力を行っている。
- ユーザアプリケーションから出力ファイル名を指定しない場合に、帳票属性の編集コマンド(lmedtformatrコマンド)の-outputfilenameオプションに拡張子付きの出力ファイル名を指定した帳票を登録した場合
  - Web手元印刷(PDFファイル)用の論理あて先に帳票属性の編集コマンド(lmedtformatrコマンド)の-outputfilenameオプションに拡張子(.pdf)付きの出力ファイル名を指定して登録された帳票を、Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行っている、または複写/移動後、再出力を行っている。
  - Web手元印刷(OWFファイル)用の論理あて先に帳票属性の編集コマンド(lmedtformatrコマンド)の-outputfilenameオプションに拡張子(.owf)付きの出力ファイル名を指定して登録された帳票を、Web手元印刷(PDFファイル)用の論理あて先に対して、複写/移動と同時に出力を行っている、または複写/移動後、再出力を行っている。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- 対応付けられている論理デバイスの出力方法が同じ論理あて先に複写/移動してください。
- 帳票の複写/移動後、複写/移動した帳票に対して帳票の出力/出力中止コマンド(lmoprprintコマンド)の-filenameオプションに複写/移動先の論理あて先に対応付けられている論理デバイスの出力方法に合わせた拡張子付きの出力ファイル名を指定して再出力を行ってください。

### 3.3.49 帳票一覧画面に出力状態が「応答待ち」の帳票が2件以上表示され、応答画面から印刷の続行ができない

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票出力中にList Works Print Agent のサービス(List Manager Agent Service)を停止した可能性があります。

#### 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- 帳票の出力/出力中止コマンド(lmoprprintコマンド)の-bオプションで応答待ちの帳票に応答し、印刷を続行してください。
- 到着通知パネルを使用して、応答メッセージに対して応答の操作を行ってください。
- 帳票一覧画面、または帳票の出力/出力中止コマンド(lmoprprintコマンド)で応答待ちの帳票を「出力中止」したあと、「出力」を行ってください。

### 3.3.50 帳票の出力時に出力範囲の指定を行った場合、意図しないページが出力される

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

ユーザアプリケーション(List Manager 帳票出力インタフェース利用時)で、出力範囲(「開始ページ」または「終了ページ」)を指定した帳票に対して、操作画面などから出力を行う際に、新たに出力範囲を指定した可能性があります。

## 対処

ユーザアプリケーション(List Manager 帳票出力インタフェース利用時)で指定した出力範囲と同じ範囲を出力する場合は、出力するページの範囲を以下のように指定し再出力してください。

- 操作画面の場合  
出力画面の「出力範囲」で「すべて」を選択する
- 運用コマンドの場合  
帳票の出力/出力中止コマンド(Imoprprint コマンド)の -startpage オプション、および -endpage オプションを指定しない
- 帳票管理Javaインタフェースの場合  
FormクラスのprintoutメソッドのstartPageパラメータ、および endPageパラメータに「0」を指定する

ユーザアプリケーション(List Manager 帳票出力インタフェース利用時)で指定した範囲と異なる範囲のページを出力する場合、帳票全体のページに対し、出力するページの範囲を指定して再出力してください。

## ポイント

帳票の総ページ数よりも出力ページ数の値が大きくなるなど、出力範囲と帳票の総ページ数が合わないという現象が発生する場合があります。

帳票のページ数については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 運用ガイド”を参照してください。

## 3.3.51 帳票出力した場合、帳票の出力状態が「配信待ち」のまま変わらない場合がある

### 詳細

このとき、帳票の「出力中止」を行っても以下のシステムログ/イベントログが出力され、エラーとなります。

```
指定した帳票に対して操作できませんでした。帳票の出力状態を確認してください。(帳票：XXXX、帳票ID：IIII、論理あて先：YYYY、詳細：ZZZZ、コード：NNNN)
```

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

帳票出力処理中に、List Manager管理データベースへの接続が切断された可能性があります。

### 対処

1. ネットワーク環境、およびList Manager管理データベースが起動しているかを確認してください。
2. 帳票の出力を「強制中止」した後、必要に応じ、帳票出力処理を再度実行してください。

## 3.3.52 List Creatorコネクタ連携型(帳票配信型)の運用において、COBOLアプリケーションから帳票を出力すると、システムログにメッセージが出力され、COBOLアプリケーションがエラーとなる

### 詳細

このとき、以下のメッセージがアプリケーションサーバ、および帳票管理サーバのシステムログに出力されます。

- アプリケーションサーバのシステムログ

```
ListCREATOR Connector:ERROR [帳票の転送に失敗] 詳細コード[ 121 ] (帳票: XXXXXX、帳票ID:、論理あて先: XXXXX、詳細: 121、コード: 000e0900)
```

```
ListCREATOR RemotePrint:ERR:YYYY-MM-DD
HH:MM:SS.SSS,ERR,XXXXXXXX,XXXXXXXX,XXXX,XXXX,N,N,NNNNNNNN,The after command on the side of responder could not execute. Please specify the correct command path, or confirm the access authority of command.
```

- 帳票管理サーバのシステムログ

```
ListCREATOR RemotePrint:ERR:YYYY-MM-DD
HH:MM:SS.SSS,ERR,XXXXXXXX,XXXXXXXX,XXXX,XXXX,N,N,NNNNNNNN,The after command on the side of responder could not execute. Please specify the correct command path, or confirm the access authority of command.
```

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

帳票管理サーバにおいて、List Creatorコネクタ連携型(帳票配信型)の動作に必要な環境構築に誤りがある可能性があります。

この場合は、帳票管理サーバに以下のファイルが存在しません。

```
/$LC_DIR/FJSVoast/bin/lmcbregform
($LC_DIRはList Creatorのインストールディレクトリで、デフォルトはopt)
```

## 対処

帳票管理サーバで、以下の対処を行ってください。

1. 以下のコマンドを実行して、lmcbregformファイルが存在するか確認します。

```
# ls /$LC_DIR/FJSVoast/bin/lmcbregform <RETURN>
```

(\$LC\_DIRはList Creatorのインストールディレクトリで、デフォルトはopt)

2. 確認の結果、lmcbregformファイルが存在しない場合は、以下の手順を実行します。

1. スーパーユーザになります。
2. 以下のコマンドを実行し、lmcbregformファイルへのシンボリックリンクを設定します。

```
# ln -s /$LW_DIR/FJSVlstm/bin/lmcbregform /$LC_DIR/FJSVoast/bin/lmcbregform <RETURN>
```

(\$LW\_DIRは、List Worksのインストールディレクトリ、\$LC\_DIRはList Creatorのインストールディレクトリで、デフォルトはどちらもopt)

## 3.3.53 Web手元印刷でPDFファイルを出力した場合に、PDFファイルが意図したディレクトリに格納されない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

論理デバイスの出力フォルダを、相対パスで指定している可能性があります。

Web手元印刷でPDFファイルを出力するときに、論理デバイスの出力フォルダが相対パスで指定されている場合は、帳票管理サーバの以下のディレクトリ配下にPDFファイルが格納されます。

/var/opt/FJSVlstm/work/論理デバイスの出力フォルダに指定されている相対パス

## 対処

論理デバイスの出力フォルダは、フルパスで指定してください。

### 3.3.54 帳票管理サーバで「内部エラー」が発生し、帳票を出力できない

---

#### 詳細

このとき、帳票管理サーバのイベントログ/システムログに以下のメッセージが出力されます。

内部エラーが発生しました。(帳票 : XXXX、帳票ID : I111、論理あて先 : YYYY、詳細 : ZZZZ、コード : e00c0426)

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票出力サーバで、以下のサービスが停止している可能性があります。

- Print Spooler
- PRT Server Service

#### 対処

帳票出力サーバで、以下のサービスを起動してください。

- Print Spooler
- PRT Server Service

## 3.4 到着通知パネルのメッセージに関するトラブルが発生したら

---

到着通知パネルのメッセージに関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.4.1 次のエラーメッセージが出力される

**「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」**

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

原因は判明していません。

##### [発生条件]

以下の条件のとき、ログイン後に到着通知パネルの起動に失敗した旨のエラーメッセージが出力されることがあります。

- メッセージ通知クライアントにWindows XP SP2がインストールされている
- コンピュータを起動し、ログインする

## 対処

エラーメッセージに回答してください。到着通知パネルは起動済みのため、Message Clientの動作に影響はありません。

### 3.4.2 到着通知パネルに返答メッセージまたは通知メッセージが通知されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Windows ファイアウォール機能により、帳票出力サーバからの返答、または通知メッセージを受信するMessage Clientのポートがブロックされています。

#### [発生条件]

以下の条件のとき、メッセージが到着通知パネルに通知されません。

- a. メッセージ通知クライアントのOSに以下のどれかを使用している
  - Windows XP SP2/Vista/7/8/8.1/10/11
  - Windows Server 2003 SP1/2008/2012/2016/2019/2022
- b. Windows ファイアウォールを有効としている

#### 対処

以下の手順で、Windows ファイアウォールの例外にMessage Clientを登録してください。

1. 「コントロールパネル」の「Windows ファイアウォール」を選択します。
2. 「全般」タブを選択し、「例外を許可しない」にチェックが入っている場合はチェックを外します。
3. 「例外」タブを選択し、「プログラムおよびサービス」一覧に「wtbase」が存在する場合は、「wtbase」にチェックを入れ、7.以降の手順にしたがって設定します。
4. 一覧に「wtbase」が存在しない場合は、「プログラムの追加」をクリックします。
5. 「プログラムの追加」画面の「参照」をクリックし、次のプログラムを指定します。

C:\SYMFOCMN\CTO0\wtbase.exe  
(上記のパスはC:をインストール先と想定しています。)

6. 「OK」ボタンを押して、「プログラムの追加」画面を閉じます。
7. 「wtbase」を選択した状態で、「編集」ボタンを押下します。
8. 「プログラムの編集」画面で、「スコープの変更」ボタンを押下します。
9. 「スコープの変更」画面で「カスタムの一覧」を選択し、帳票出力サーバのIPアドレスを設定します。
10. 「スコープの変更」画面で「OK」を押下します。
11. 「プログラムの編集」画面で「OK」を押下します。
12. 「例外」タブの「プログラムおよびサービス」一覧に「wtbase」の名前が表示され、チェックが入っていることを確認します。
13. 「Windows ファイアウォール」画面上で「OK」を押下して画面を閉じます。

### 3.4.3 メッセージ「メッセージサーバXXXXXXXXXの電源が未投入、または通信に失敗しました。」が表示される

---

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票出力サーバ側のシステムの電源が投入されていない。
- ・ 帳票出力サーバ側のシステムの“WORKIT MSG (F3BW)”サービスが開始状態になっていない。
- ・ ネットワークが正常に動作していない。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 電源が投入されていない場合は、電源を投入してください。
- ・ 「サービス」の「WORKIT MSG (F3BW)」が停止状態になっている場合は、「サービス」のスタートアップの種類を「自動」にして、コンピュータを再起動してください。  
サービスの動作状況の確認、起動/停止は、コントロールパネルの[管理ツール]—[サービス]から実行できます。
- ・ 帳票出力サーバのコマンドプロンプト画面で、以下のコマンドを実行してください。

```
ping メッセージ通知クライアントのホスト名
```

コマンドプロンプト画面に応答結果が表示されなければ、ネットワークが正常に動作していません。ネットワークが正常に動作していない場合は、ネットワークのソフトウェア環境/ハードウェア環境を見直してください。

## 3.4.4 メッセージ「メッセージ管理制御との接続が切断されたため、メッセージ監視処理を中止します。」が表示される

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票出力サーバのCPUが省電力モードになっている。
- ・ ネットワークが正常に動作していない。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票出力サーバのCPUが省電力モードになっている場合は、省電力モードを解除してください。なお、省電力モードの確認および解除方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
- ・ 帳票出力サーバのコマンドプロンプト画面で、以下のコマンドを実行してください。

```
ping メッセージ通知クライアントのホスト名
```

コマンドプロンプト画面に応答結果が出力されなければ、ネットワークが正常に動作していません。ネットワークが正常に動作していない場合は、ネットワークのソフトウェア環境/ハードウェア環境を見直してください。

### 3.4.5 メッセージ「到着通知パネルが同一端末上ですでに起動されているか、指定されたポートが使用中のため、到着通知パネルを起動できません。」が表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ ターミナルサービス上で到着通知パネルを使用している。
- ・ 別ユーザですでに起動している。
- ・ 他のアプリケーションでポートが使用されている。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ ターミナルサービス上では到着通知パネルは動作できません。  
ターミナルサービス上で使用している到着通知パネルを終了してください。
- ・ 別ユーザですでに起動している到着通知パネルを終了後、再度起動してください。
- ・ 到着通知パネルで指定しているポート番号(9599)が他のアプリケーションなどで使用されていないかを確認してください。

### 3.4.6 印刷指定画面に応答すると、メッセージ「不当なページ数が指定されました。」が表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

再印刷や保留解除したときに指定した、印刷範囲外のページ数を指定している可能性があります。

#### 対処

表示された印刷範囲内の数値を入力して、もう一度操作を行ってください。

## 3.5 エラー通知に関するトラブルが発生したら

---

エラー通知に関するその他のトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.5.1 印刷エラーが発生したとき、List Managerが表示するエラーメッセージと同時に、Windowsシステムのエラーメッセージも帳票出力サーバ上に表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

VSP/VSシリーズおよびPrintiaLASERシリーズ(Printianavi搭載機)以外のプリンタを、List Works Print Agentで定義したプリンタ、またはPrint Managerで定義したプリンタとし、印刷エラーが発生した場合に当現象が発生します。List Managerのメッセージに応答することで、Windows システムのメッセージボックスは自動的にクローズされます。



## 対処

Windows システムのメッセージが表示されないように設定を行います。ただし、この設定をすると、以下の問題が発生します。

- ・ プリンタの追加で、「ポートの構成」を選択しても設定画面が表示されない
- ・ PrintiaLASER XLシリーズのプリンタで、「ドキュメントの既定値」画面の[用紙]タブで[ステータス表示]ボタンをクリックしても、プリンタステータスの獲得はできない

上記の問題に対して支障がないことを確認し、以下の手順で、設定してください。

1. [スタート]メニューの[管理ツール]→[サービス]をクリックします。  
→[サービス]ダイアログボックスが表示されます。
2. [サービス]ダイアログボックスで「Print Spooler」を選択し、[操作]メニューから[プロパティ]を実行します。  
→サービス「Print Spooler」の[プロパティ]画面が表示されます。
3. サービス「Print Spooler」の[プロパティ]画面の[ログオン]タブで「デスクトップとの対話をサービスに許可」を無効にし、[OK]ボタンをクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

## 3.5.2 印刷中に異常が発生したにも関わらず、印刷エラーのメッセージが通知されない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

印刷ドキュメントのスプールデータ形式が、RAW形式です。RAW形式のスプールデータの場合、初期設定では、印刷エラーのメッセージが通知されません。

スプールデータ形式は、Windowsのプリンタ画面のドキュメントのプロパティの「全般」タブに表示されるデータ型で確認できます。

### 対処

以下のいずれかの対処をしてください。

- ・ 印刷ドキュメントのスプールデータ形式を、EMF形式に変更する。
- ・ スプールデータ形式をRAW形式のまま変更せずに、印刷エラーメッセージを通知する設定をする。

#### 印刷エラーメッセージを通知する設定手順(注)

スプールデータ形式がRAW形式の場合に、印刷エラーメッセージを通知するには、以下の手順で設定します。

1. 管理者権限を持つユーザで、帳票出力サーバにログオンします。
2. コマンドプロンプトを「管理者として実行」で起動します。
3. 以下のフォルダに移動します。

```
> cd (List Works Print Agentインストールフォルダ) ¥PrintMGR¥Bin
```

4. "pmrawerrmode.bat"を実行します。

```
> pmrawerrmode.bat 1
```

設定された場合、標準出力に「MODE : ON」が表示されます。

```
> pmrawerrmode.bat
MODE : ON
```

5. コンピュータを再起動します。  
コンピュータの再起動後に、設定が有効になります。

なお、本設定を解除するには、手順4.を以下のように置き換えて、設定時と同様に1.から実施してください。

```
> pmrawerrmode. bat 0
```

設定が解除された場合、標準出力に「MODE : OFF」が表示されます。

```
> pmrawerrmode. bat
MODE : OFF
```

注:

List Works Print Agent V10.1.1～V10.3.0を使用している場合は、緊急修正 (T009312WP-01以降、または、T009316XP-01以降) を適用した後で設定してください。

## 3.6 印刷時にトラブルが発生したら

---

帳票を印刷しているときに発生したトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.6.1 帳票を出力するアプリケーションは正常終了したが、印刷されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- a. 帳票が、“保留”状態になっている。
- b. 帳票が帳票一覧画面などに表示されていない。
- c. Windowsのプリンタフォルダが「プリンタをオフラインで使用する」の設定で使用している。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- a. コンピュータのリセット時に、帳票が、自動的に“保留”状態になることがあります。帳票に対して、「保留解除」操作を行ってください。
- b. Windowsの既知の問題で、コンピュータの再起動時に印刷ドキュメントが消えてしまうという現象があります。現在、対処方法はありません。  
この現象は、以下の状態の場合に発生します。
  - － 印刷ドキュメントが印刷中の状態でコンピュータを再起動した場合
  - － 起動後、a.の帳票が印刷中の状態で、コンピュータを再起動した場合
- c. Windowsのプリンタフォルダで「プリンタをオフラインで使用する」の設定を解除してください。

### 3.6.2 プリンタ装置のエラーを解除しても印刷が自動再開されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

VSP/VSシリーズを以下の設定で使用している可能性があります。

- ・ ポートの設定画面の[リトライ動作]タブの「メッセージ通知できない場合も自動リトライする」が無効の設定になっている。

上記の場合、返答メッセージを通知先コンピュータに表示できなかった場合、帳票が“保留”状態になり、印刷されません。

## 対処

ポートの設定画面の[リトライ動作]タブの「メッセージ通知できない場合も自動リトライする」を有効にしてください

### 注意

返答メッセージを通知先コンピュータに表示できない原因として以下のことが考えられます。システム動作環境を確認し、対処してください。

- ・ 通知先コンピュータの到着通知パネルが起動されていない。
- ・ 通知先コンピュータの電源が入っていない。
- ・ ネットワーク環境で異常が発生している。
- ・ 通知先コンピュータにログインしていない。
- ・ 返答メッセージの通知先に存在しないコンピュータ名を設定している。

## 3.6.3 PrintiaLASERシリーズ(Printianavi搭載機)印刷中にプリンタエラーが発生してもエラーメッセージが表示されない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

Printia XLプリンタドライバV5.0L10以降を使用している可能性があります。

### 対処

V5.0L10以降をご使用の場合は、以下の手順でXLプリンタドライバの設定を行ってください。

1. プリンタフォルダのプロパティを開きます。
2. [Printianavi]タブを選択し、以下の機能を有効にします。機能名は、プリンタドライバのバージョンによって異なります。
  - SystemWalker/PrintMGRと連携する
  - Systemwalker PrintMGRと連携する
  - 到着通知パネルと連携する

なお、上記の機能は、[Printianavi]タブ内の[オプション]ボタンをクリックして開く画面内にある場合があります。

## 3.6.4 Windowsのプリンタフォルダから印刷ドキュメントを「削除」しても、「保留」の状態が残ることがある

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

帳票出力サーバがWindows Server 2003以降の場合、“PRT Server Service”サービスが起動されていない可能性があります。

## 対処

帳票出力サーバで“PRT Server Service”サービスを起動後、帳票一覧画面などを使用して該当する帳票の「削除」を行ってください。

### 3.6.5 印刷エラーの返答メッセージウィンドウから「削除」または「印刷打ち切り」を行っても、帳票が「印刷済」の状態が残ることがある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・印刷のデータ量が小さいときなど、返答メッセージウィンドウから「削除」または「印刷打ち切り」を行った時点ですでにプリンタへのデータ送信が終了している。
- ・帳票出力サーバがWindows Server 2003以降の場合、“PRT Server Service”サービスが起動されていない。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・帳票一覧画面などから「印刷済」の状態に残っている帳票を削除してください。  
また、返答メッセージウィンドウが表示されている状態で、帳票一覧画面などを使用して該当する帳票の「削除」を行うことで確実に印刷ドキュメントを削除することができます。
- ・帳票出力サーバで“PRT Server Service”サービスを起動して、帳票一覧画面などを使用して該当する帳票の「削除」を行ってください。

### 3.6.6 印刷エラーの返答メッセージウィンドウから「保留」を行っても、帳票が出力保留状態にならない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票出力サーバで、プリンタのポートに「Standard TCP/IP Port」が使用されている可能性があります。

## 対処

プリンタのポートにWindowsで提供されている「LPR Port」を使用してください。

### 3.6.7 帳票の「出力中止」または「強制中止」の操作が正常終了しても、帳票の出力が中止されない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 以下の操作を行った場合に、「出力中止」の操作が有効になりません。
  - 帳票がスプールされている途中で「出力中止」の操作後、Windows のプリンタフォルダから印刷ドキュメントを一時停止した。
  - 到着通知パネルが表示されている場合に、到着通知パネルから印刷ドキュメントの出力を保留した。
- 以下の操作を行った場合に、「出力中止」の操作が有効になりません。
  - 帳票がスプールされている途中で「出力中止」の操作後、Listmanager Agent Serviceを停止した。
- 帳票のスプール中に「出力中止」または「強制中止」の操作を行った場合、帳票のスプールが完了するまで中止処理は行われません。なお、中止処理完了までにプリンタへ出力開始されたデータは出力されます。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- エラーの原因を取り除いたあと、再度「出力中止」の操作を行ってください。
- Listmanager Agent Serviceの起動後、再度「出力中止」の操作を行ってください。
- しばらく時間をおくと、「出力中止」または「強制中止」の処理が行われ、出力状態が「中止」となります。なお、出力中止後、帳票の再出力などの操作を行う場合は、帳票の出力状態が「中止」となっていることを確認してから操作してください。

## 3.6.8 区切りページ出力指定をした場合、ユーザアプリケーションで指定した部数が印刷されない

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

区切りページ出力指定をした場合、一部のプリンタではプリンタドライバの問題により、ユーザアプリケーションで指定した部数が印刷されないことがあります。

### 対処

以下のレジストリを設定してください。これにより、ユーザアプリケーションで指定した部数で印刷されるようになります。

- キー:  
¥¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Printers¥プリンタ名¥PrinterDriverData
- 値: PpBannerNoResetDC
  - データ型: REG\_DWORD
  - 入力値: 1 (10進数)

以下の手順にしたがって、レジストリを設定してください。

1. Windowsの「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、レジストリエディタ (regedt32.exe) を起動します。「レジストリエディタ」画面が表示されます。
2. 「ローカルコンピュータ上のHKEY\_LOCAL\_MACHINE」画面で、上記キーを選択し、「編集」メニューから「値の追加」を選択します。上記キーが表示されない場合は、「編集」メニューから「キーの追加」を選択して、「キーの追加」画面で、上記キーを作成してください。「値の追加」画面が表示されます。
3. 「値の名前」に「PpBannerNoResetDC」を指定し、「データ型」に「REG\_DWORD」を選択して[OK]ボタンをクリックします。「DWORDエディタ」画面が表示されます。
4. 「データ」に「1」を入力し、「基数」に「10進数」を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

## ポイント

---

本対処を行った場合、以下の結果になります。

- ・ 区切りページが部数分、印刷されます。
  - ・ 区切りページの給紙方法が指定してある場合でも、帳票と同じ給紙方法にしたがいます。
- 

## 3.7 PRT Server Serviceに関するトラブルが発生したら

---

PRT Server Serviceに関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.7.1 PRT Server Serviceを停止できない

---

#### 詳細

PRT Server Serviceを停止しようとしたが、メッセージ「¥¥xxxxxxxで PRT Server Serviceサービスを停止できませんでした。エラー 2186: サービスが制御機能に 응답しません。」が表示され、サービスを停止できません。

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

“PRT Server Service”サービスがクライアントと通信処理中に、サービスを停止しようとして、タイムアウトが発生している可能性があります。

#### 対処

“PRT Server Service”サービスが終了されていない場合、“PRT Server Service”サービスを再度停止してください。

### 3.7.2 PRT Server Serviceの停止に時間がかかる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

“PRT Server Service”サービスがクライアントと通信処理中に、サービスを停止しようとした場合、サービスの停止に時間がかかることがあります。

#### 対処

“PRT Server Service”サービスがクライアントとの通信処理を終了するまでお待ちください。

## 3.8 Web手元印刷(OWFファイル生成時)でトラブルが発生したら

---

Web 手元印刷(OWF ファイル生成時)に関するトラブルについては、List Creatorのマニュアルまたはドキュメントを参照してください。

## 3.9 PDF変換機能に関するトラブルが発生したら

---

PDF変換機能に関するトラブルの原因、および対処方法を示します。

### 3.9.1 正しく表示されない文字が存在する

---

## 詳細

バックスラッシュが円記号(¥)で表示されたり、文字が「・」、「?」、または「\_」と表示されたりします。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

以下の原因が考えられます。

- バックスラッシュが「¥」として表示される場合

PDFファイル中で使用される文字コード(UNICODE)では、「0x00A5」に「¥」を、「0x005C」にバックスラッシュを割り当てています。しかし、List Managerでは文字コード「0x005C」を「0x00A5」に変換しているため、バックスラッシュが「¥」として表示されます。

- 「・」、「?」、または「\_」となる文字がある場合

JIS 第一水準/第二水準以外の文字を使用した場合、フォントをエンベッドしないと正しく表示されません。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- バックスラッシュが円記号(¥)で表示される場合

PDF文書情報ファイルで、「PDF-YENNONADJUST=ON」を指定します。値にONを指定した場合、PDFファイル中で使用される文字コード(UNICODE)「0x005C」が「0x00A5」に変換されません。これにより、本来の文字コードで出力されます。

- 上記以外の場合

フォントを全文字エンベッドすることでどのクライアントでも問題なく表示されます。

フォントをエンベッドする設定は、帳票定義時に設定する方法とアプリケーション実行時に設定する方法があります。

- 帳票定義時に設定する場合

以下の手順で外字(利用者定義文字、JEF 拡張漢字)をエンベッドしてください。

詳細は、List Creatorに添付されているオンラインマニュアルを参照してください。

- List Creator デザインの帳票業務情報のプロパティで[ファイル]タブの[ファイル保存する]チェックボックスをチェックし、[文書情報]ボタンをクリックします。
- 文書情報設定画面(文書管理)の文字の埋め込みに[利用者定義文字とJEF 拡張文字]または[全ての文字を埋め込む]を指定してください。

- List Manager 帳票出力インタフェース使用時に設定する場合

PDFファイルの文字埋め込み指定で「すべての文字をPDFファイルに埋め込む」(prprintコマンドの場合は、-gpdfembedオプションで「ALL」)を指定してください。

各インタフェースでの指定方法の詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

- COBOLアプリケーション連携機能使用時に設定する場合

PDF 文書情報ファイルの「PDFEMBED」キーワードに「ALL」を指定してください。

指定方法の詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 PDF運用ガイド”を参照してください。

## 3.9.2 Adobe Readerなどで画面表示した結果、網がけパターンが不規則に表示される

---

### 詳細

Adobe Readerなどで画面表示した結果、網がけパターンにモアレが発生してしまいます。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

画面の表示サイズによっては、モアレが発生して見づらくなってしまいます。

### 対処

表示倍率を変えて、再度表示してください。

## 3.9.3 ファイルサイズの大きいPDFファイルが正しく表示されない

---

### 詳細

ファイルサイズの大きいPDFファイルが、正しく表示されません。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

Acrobat Reader が必要とするディスク容量が不足している可能性があります。

### 対処

Acrobat ReaderでPDFファイルを開くときに一時領域が必要となります。

Acrobat Readerを使用するシステムのディスク容量を確認してください。

## 3.9.4 PDFファイルが期待した用紙サイズで印刷されない

---

### 詳細

PDFファイルをAcrobat Readerを使って印刷したが、期待した用紙サイズで印刷されません。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

Acrobat Reader の印刷設定が正しくない可能性があります。

### 対処

印刷のメニューから「用紙サイズに合わせる」に関する設定がされていないか、確認してください。

## 3.9.5 Adobe Readerでは正しく表示されているが印刷すると正しく印刷できない

---

### 詳細

Adobe Readerでは正しく表示されているのに、プリンタに印刷すると正しく印刷できません。



## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

Acrobatまたはプリンタドライバの不具合が考えられます。

## 対処

印刷メニューで「画像として印刷」をチェックして、再度印刷してください。

## 3.9.6 外字(利用者定義文字)が表示されない

---

### 詳細

外字(利用者定義文字)が表示されません。

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

以下の原因が考えられます。

- PDFファイルに外字がエンベッドされていない。
- Charset Manager の印刷資源管理で外字を作成した後、外字のフォントを登録していない。
- Charset Manager の設定が正しく行われていない。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- PDFファイル保存時に外字(利用者定義文字)がエンベッド(貼り付け)されていない場合、帳票定義時に設定する方法とアプリケーション実行時に設定する方法があります。
  - 帳票定義時に設定する場合  
以下の手順で外字(利用者定義文字)をエンベッドしてください。  
詳細は、List Creatorに添付されているオンラインマニュアルを参照してください。
    1. List Creatorデザイナの帳票業務情報のプロパティ画面の[ファイル]タブの「ファイルを保存する」チェックボックスをチェックし、[文書情報]ボタンをクリックします。
    2. 文書情報設定画面(文書管理)の文字の埋め込みに「利用者定義情報とJEF拡張文字」または「全ての文字を埋め込む」を指定してください。
  - List Manager 帳票出力インタフェースを使用する場合
    - prprintコマンドを使用する場合は、-gpdfembedオプションに「ALL」を指定します。  
コマンドの詳細は、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。
    - Javaインタフェースを使用する場合は、PrintPropertiesクラスのsetPropertyメソッドのID\_PDF\_EMBEDキーに「ALL」を指定します。  
PrintPropertiesクラスの詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。
    - List Creatorコネクタ連携時に、アプリケーションサーバで.NETインタフェースを使用する場合は、PrintPropertiesクラスのPdfEmbedプロパティに「PDFEMBED\_ALL」を指定します。  
PrintPropertiesクラスの詳細については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

- COBOLアプリケーション連携機能、ホスト帳票連携機能を使用する場合

- PDF文書情報ファイルに以下のキーワードを指定します。  
PDF-EMBED

詳細は、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 PDF運用ガイド”を参照してください。

- Charset Manager V6.0以前を使用して外字を登録したあと、以下の方法でList Managerにフォントを登録してください。

- Web手元印刷型で運用する場合

帳票管理サーバにシステム管理者権限でログインし、PDF変換機能が利用されていないことを確認後、フォントの登録コマンド(edocudcコマンド)を実行してください。

フォントの登録方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 セットアップガイド”を参照してください。

- 帳票配信型で運用する場合

帳票出力サーバ(List Works Print Agent)にAdministrators権限でログインし、PDF変換機能が利用されていないことを確認後、フォントの登録コマンド(edocudcコマンド)を実行してください。

- Charset Managerの設定が正しく行われているかを確認してください。

Charset Managerは以下にエラーログを出力します。

Charset ManagerにおけるList Creator連携時のセットアップ方法については、Charset Managerのオンラインマニュアルを参照してください。

- Web手元印刷型

帳票管理サーバでCharset Managerのエラーログを確認

ディレクトリ名 : /etc/opt/FSUNadj/usr/etc/  
ファイル名 : msg\_fof.log (フォント適用時のエラーログ)  
              chsession.log (フォントダウンロード時のログ)

- 帳票配信型

帳票出力サーバでCharset Managerのエラーログを確認

ディレクトリ名 : Charset Manager Agentのインストールディレクトリ  
ファイル名 : msg\_fof.log (フォント適用時のエラーログ)  
              chsession.log (フォントダウンロード時のログ)

## 3.9.7 AcrobatまたはAdobe Readerから印刷すると帳票定義時に指定した用紙サイズで印刷されない

---

### 詳細

AcrobatまたはAdobe Readerから印刷すると帳票定義時に指定した用紙サイズで印刷されません。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

AcrobatまたはAdobe Readerに設定されているプリンタの用紙サイズで印刷されていることが考えられます。

### 対処

AcrobatまたはAdobe Readerからの印刷は、AcrobatまたはAdobe Readerの仕様に基づき、[ファイル]—[ページ設定]で設定されているプリンタ(デフォルトは、通常使うプリンタ)の用紙サイズで出力されます。

したがって、印刷時の用紙サイズを変更したい場合は、AcrobatまたはAdobe Readerの[ファイル]—[ページ設定]画面で用紙サイズを変更してください。

動的に用紙サイズ変更できない場合は、Windowsのプリンタ設定画面で印刷するプリンタを通常使うプリンタに設定します。次に、そのプリンタの[印刷設定]メニューで用紙サイズを変更してください。

### 3.9.8 帳票定義時に指定したバーコード項目のサイズで出力されない

---

#### 詳細

帳票定義時に指定したバーコード項目のサイズと異なるバーコードが作成されてしまう場合があります。

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 指定されたバーコード項目のサイズが、JISなどの規格で定められている最小のモジュール幅を下回っている場合、帳票定義時に指定したバーコード項目のサイズより大きなバーコードが作成される場合がある。
- PDFファイルは解像度がないためデフォルトの値でバーコードを生成しており、サイズが印刷結果と異なる場合がある。

#### 対処

定義した項目のサイズに収めるためには、以下の操作を行ってください。

List Creator デザイナの帳票業務情報で指定します。ユーザアプリケーション実行時に指定することはできません。

- List Creator デザイナの帳票業務情報のプロパティ画面の[ファイル]タブの[ファイル保存する]チェックボックスをチェックし、[文書情報]ボタンをクリックします。
- 文書情報設定画面(文書管理)のバーコード描画で「バーコードを項目のサイズに収まるように出力する」の指定を行います。  
「バーコードを項目のサイズに収まるように出力する」の指定をしない場合、JIS規格のサイズで出力されます。



#### 注意

帳票様式定義画面の帳票のプロパティの[バーコード]タブの「バーコード項目の範囲内に描画する」の指定は、PDFファイル保存時には適用されません。

COBOLアプリケーション連携機能、ホスト帳票連携機能を使用する場合は、PDF文書情報ファイルのPDF-BARBOXキーワードで指定します。

なお、以下のバーコードの場合、この機能は使用できません。

- Code 3 of 9 (EIAJ準拠)
- カスタマバーコード
- EAN-128 (コンビニエンスストア向け)
- U.S.POSTNET (Delivery Point Code)、U.S.POSTNET (ZIP+4 Code)、U.S.POSTNET (5-Digit ZIP Code)
- FIM A (U.S. Postal FIM)、FIM B (U.S. Postal FIM)、FIM C (U.S. Postal FIM)

上記操作によって、白バー/黒バーの幅、細エレメント幅、またはキャラクタ間ギャップなどがJIS規格で定められているサイズより小さくなってしまう場合があります。お使いになるプリンタとバーコードリーダーであらかじめ読み取り確認を行ってください。



## 注意

バーコードは、用紙、バーコードリーダー、出力装置の解像度などにより精度が変わります。実際に運用を行う前にバーコードを出力して、読み込めることを確認してから使用することを推奨します。

### 3.9.9 メッセージが出力されPDFファイル保存されない

#### 詳細

以下のメッセージが出力され、PDFファイル保存されません。

```
Error:M2P:00000002:Data Error: (内部コード)
```

以下の運用形態により、メッセージの出力先は異なります。

- 運用形態がWeb手元印刷型(PDFファイル)の場合
  - 帳票管理サーバのシステムログ
- 運用形態が帳票配信型(PDFファイル保存時)の場合
  - 帳票出力サーバのイベントログ

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

生成するPDFファイル名の最後に「/」または「¥」が使用されていることが考えられます。

#### 対処

正しいファイル名を指定してください。

なお、同名のファイルがすでに存在している場合、上書きされますのでご注意ください。

### 3.9.10 KOL6形式のオーバーレイでイメージを使用した場合、メッセージが出力されPDFが作成できない

#### 詳細

KOL6形式のオーバーレイでイメージを使用した場合、「Error:M2P:00000002」メッセージが出力され、PDFファイルが生成できません。

以下の運用形態により、メッセージの出力先は異なります。

- 運用形態がWeb手元印刷型(PDFファイル)の場合
  - 帳票管理サーバのシステムログ
- 運用形態が帳票配信型(PDFファイル保存時)の場合
  - 帳票出力サーバのイベントログ

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

KOL6形式のオーバーレイで使ったイメージデータが、BMPファイル形式ではなく、クリップボードのイメージとして格納されていることが考えられます。

## 対処

List Creator デザイナ、NetCOBOL、またはFORMでオーバーレイイメージとしてクリップボード上のJPEG形式のイメージを配置した場合、エラーとなる場合があります。

この場合、お使いのコンピュータの環境設定で、表示色を「TrueColor (32ビット)」に変更して、再度行ってください。

上記の対応でもエラーとなる場合、List Creator デザイナの帳票様式定義画面、NetCOBOL、またはFORMでオーバーレイイメージを配置するときに、配置する領域を選択後、「書式」-「プロパティ」を選択して[イメージ]タブの「ファイルの読み込み」でBMPファイルを選択してください。

## 3.9.11 カスタマバーコード使用時にエラーとなる

---

### 詳細

カスタマバーコード使用時、以下のメッセージが出力され、エラーとなります。

```
Error:M2P:00000002:Data Error:Cannot show the human readable when that is the CustomerCode.  
Required the option of CHARPRINT_OFF, M2P_bar (4726)
```

以下の運用形態により、メッセージの出力先は異なります。

- ・ 運用形態がWeb手元印刷型 (PDFファイル) の場合
  - － 帳票管理サーバのシステムログ
- ・ 運用形態が帳票配信型 (PDFファイル保存時) の場合
  - － 帳票出力サーバのイベントログ

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

カスタマバーコードの指定に、文字印刷が指定されていることが考えられます。

### 対処

カスタマバーコードにはバーコードの下部に文字印刷をすることはできません。

List Creator デザイナ、NetCOBOL、またはFORMによる帳票定義時に、バーコード種別またはバーコード項目の[文字印刷]を指定しないでください。

## 3.9.12 Adobe Readerでファイルを開くときにメッセージが表示される

---

### 詳細

Adobe Readerでファイルを開くときに、「ビューアで理解できない情報がファイルにあります」というメッセージが表示されます。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

使用しているAdobe Readerの版数が、開こうとしているPDF仕様に对应していないことが考えられます。

## 対処

PDF変換機能が生成するPDFファイルは、PDF 1.3仕様に基づいて作成されているため、Acrobat Reader 4.0以降を使用する必要があります。

また、128bit暗号化機能が使用されている場合は、Acrobat Reader 5.0以降が必要となります。

## 3.9.13 出力されたPDFファイルにフォントがエンベツドされているかを確認したい

---

### 詳細

出力されたPDFファイルに、フォントがエンベツドされているかを確認したいです。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

ありません。

### 対処

PDFファイルの文書情報 (Adobe Reader 7.0の場合は、PDFファイルの[ファイル] - [文書のプロパティ] - [フォント]、Adobe Reader 8.0以降の場合は、[ファイル] - [プロパティ] - [フォント]) に「FUJ明朝体 (FUJ-Mincho tai)」または「FUJゴシック体 (FUJ-Gothic tai)」の項目があり、かつ使用フォントに「埋め込みサブセット」となっているれば、エンベツドが正しく行われています。

## 3.9.14 パスワードの設定でオープンパスワードおよびセキュアパスワードの違いが分からない

---

### 詳細

パスワードの設定でオープンパスワードおよびセキュアパスワードがあるが、違いが分かりません。

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

ありません。

### 対処

オープンパスワード:

AcrobatでPDFファイルをオープンするときに必要なパスワードです。

セキュアパスワード:

Acrobatでセキュリティ情報を設定するときに必要なパスワードです。

## 3.9.15 PDFメール配信するとメッセージが出力され、PDFメール配信ができない

---

## 詳細

このとき、帳票出力サーバのイベントログに以下のメッセージが出力されます。運用形態が帳票配信型 (PDFファイル保存時) の場合には、PDFメール配信ができません。

```
Error:MAIL:00000028:SMIME Error: GetScmiInfo error. Check the certificate management environment.
[detail]
s=0x11, l=00001143, error code=1
```

## 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

送信先メールアドレスがS/MIMEを使用する設定になっているが、証明書の登録がされていない可能性があります。S/MIMEを使用してPDFメール配信をする場合、証明書の設定を行う必要があります。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- S/MIMEを使用してメールを暗号化する場合

S/MIMEを使用してメール配信を行う設定にしてください。

メール配信を行うための証明書管理環境定義ファイル/証明書管理コマンドでの設定については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 PDF運用ガイド”を参照してください。

- メールを暗号化しない場合

送信先メールアドレス (prprintコマンドの-gpdfmailtoaddr オプションや、PDF 文書情報ファイルのMLF\_ToAddress キーワードなど) を指定する場合、ニックネームを指定しないでください。

prprintコマンドについては、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”、PDF文書情報ファイルのMLF\_ToAddressキーワードについては、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 PDF運用ガイド”を参照してください。

## 3.9.16 PDFファイルの自動印刷指定を行ったが、印刷が行われない

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

PDFファイルの閲覧制限機能 (URI閲覧制限設定、閲覧期限設定/閲覧期間設定、ページマスク機能) を使用している場合、PDFファイルの自動印刷指定は無効となります。

### 対処

PDFファイルの自動印刷指定を行う場合は、PDFファイルの閲覧制限機能を使用しないでください。

## 3.9.17 URI閲覧制限の指定を行ったが、機能が正しく動作しない

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

URI閲覧制限設定の指定に誤りがあるか、またはPDFを閲覧する環境に誤りがあります。

## 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- 設定したURIを確認する
  - URIのパスに空白が含まれる場合、空白文字を「%20」に置き換えて設定してください。
  - URIのパスに日本語などの全角文字が含まれないようにファイルを格納してください。
  - http、およびhttpsスキームで使用してください。
- PDF閲覧環境を確認する
  - 閲覧環境のAcrobatまたはAdobe Readerの環境設定で「Acrobat JavaScriptを使用する」をチェックしてください。
  - Webブラウザ上でPDFが直接参照できるよう設定を行ってください。  
WebブラウザにAcrobatまたはAdobe ReaderのPlug-inが正しく設定されている必要があります。

## 3.9.18 Adobe Readerでファイルを開いたとき、設定したセキュリティが有効にならない

### 詳細

以下のセキュリティが設定されているPDFファイルを、一部のAdobe Reader 7.0、または9.0.0以降で開くと、セキュリティを変更できないユーザが、セキュリティを変更できる状態で開くことがあります。

- 印刷許可指定
- 文書変更許可指定
- テキストとグラフィックス選択許可指定
- 注釈とフォームフィールド追加と変更許可指定

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

ありません。

### 対処

ユーザアプリケーション実行時に、PDFファイルのセキュリティオプション変更パスワードを指定してください。

- List Manager帳票出力インタフェースを使用する場合
  - コマンドを使用する場合  
prprintコマンドの以下のオプションを指定します。
    - -gpdfsecupwd
  - Javaインタフェースを使用する場合  
以下のいずれかのメソッドで指定します。
    - PrintPropertiesクラスのsetPropertyメソッドのID\_PDF\_SECUPWDキー
    - PrintPropertiesクラスのsetPdfSecuPwdメソッド
- List Creatorコネクタ連携時に、アプリケーションサーバで.NETインタフェースを使用する場合
  - PrintPropertiesクラスのPdfSecuPwdプロパティを指定します。



- COBOLアプリケーション連携機能、ホスト帳票連携機能を使用する場合
  - ー PDF文書情報ファイルに以下のキーワードを指定します。
    - PDF-SECUPWD

## ポイント

セキュリティの設定を行う運用では、PDF ファイルに設定したセキュリティを保つため、上記セキュリティ変更パスワードの設定を行ってください。

## 3.10 List Creatorコネクタ連携機能に関するトラブルが発生したら

List Creator ConnectorとList Managerの帳票管理サーバとの連携時(List Creatorコネクタ連携機能)に関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

List Creatorコネクタ連携機能使用時にアプリケーションサーバ側で発生するトラブルについては、List Creator Connectorに添付のオンラインマニュアルを参照してください。

### 3.10.1 List Creatorコネクタ連携機能使用時(prputexコマンド使用時)に、「通信モジュールでその他のシステムエラーが発生しました。(2-0-0)」のエラーとなり出力できない

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Creatorコネクタ連携機能のセットアップが行われていない。
- List Creatorコネクタ連携機能のサービスが起動していない。
- コンピュータが高負荷な状態である。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- List Creatorコネクタ連携機能のセットアップを行ってください。  
アプリケーションサーバのセットアップおよび環境設定については、使用しているList Creator Connector に添付のオンラインマニュアルを参照してください。  
帳票管理サーバの環境構築については、List Creatorに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
- List Creatorコネクタ連携機能のサービスが起動しているかを確認してください。  
アプリケーションサーバのList Creatorコネクタ連携機能サービスの起動については、使用しているList Creator Connector に添付のオンラインマニュアルを参照してください。  
帳票管理サーバのList Creatorコネクタ連携機能サービスの起動については、List Creatorに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
- コンピュータが高負荷な状態の場合には、しばらく待ってから再度実行してください。

## 3.10.2 List Creatorコネクタ連携機能使用時 (Javaインタフェース使用時)に、「その他のシステムエラーが発生しました。(2-0-0,While sending files.)」のエラーとなり出力できない

---

### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Creatorコネクタ連携機能のセットアップが行われていない。
- List Creatorコネクタ連携機能のサービスが起動していない。
- コンピュータが高負荷な状態である。

### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- List Creatorコネクタ連携機能のセットアップを行ってください。  
アプリケーションサーバのセットアップおよび環境設定については、使用しているList Creator Connector に添付のオンラインマニュアルを参照してください。  
帳票管理サーバの環境構築については、List Creatorに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
- List Creatorコネクタ連携機能のサービスが起動しているかを確認してください。  
アプリケーションサーバのList Creatorコネクタ連携機能サービスの起動については、使用しているList Creator Connector に添付のオンラインマニュアルを参照してください。  
帳票管理サーバのList Creatorコネクタ連携機能サービスの起動については、List Creatorに添付のオンラインマニュアルを参照してください。
- コンピュータが高負荷な状態の場合には、しばらく待ってから再度実行してください。

## 3.11 COBOLアプリケーション連携機能に関するトラブルが発生したら

---

COBOLアプリケーション連携機能に関するトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.11.1 1行目の文字が印刷されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

デバイスフォント使用時、下端合わせを指定した場合に用紙の上端を超える大きさの文字は印刷できません。出力する文字の基点となる左上座標が印刷可能範囲外となり、デバイスフォントがクリッピングされ、印刷されていない可能性があります。

#### 対処

以下のいずれかの対処を行ってください。

- プリンタ情報ファイルのキーワード「JALIGN(文字出力の位置補正)」で、行方向の印字位置を「UC(上端合わせ/中央)」または「UL(上端合わせ/左)」に補正する
- デバイスフォントを使用しない
- 1行目は必ず空行にするよう、COBOLアプリケーションを修正する

### 3.11.2 出力結果の左端が欠ける

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

印刷開始桁位置がプリンタの印字可能域よりも左側に設定されている可能性があります。

#### 対処

印刷開始桁位置がプリンタの印字可能域に収まるように設定してください。

### 3.11.3 I制御による両面印刷の指定が有効にならない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ プリンタ情報ファイルのキーワード「SIDE (両面印刷設定)」に「Y (両面)」が指定されていない。
- ・ 帳票定義体または画面帳票定義体のプロパティが以下の設定になっている。
  - ー 帳票定義体の場合  
帳票定義体のプロパティで、用紙/用紙方向指定に「プリンタ情報ファイル」が指定されていない。
  - ー 画面帳票定義体の場合  
画面帳票定義体のプロパティで、用紙サイズに「指定なし」または「自由」が指定されていない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ プリンタ情報ファイルのキーワード「SIDE (両面印刷設定)」に「Y (両面)」を指定します。
- ・ 帳票定義体または画面帳票定義体のプロパティを以下の設定にします。
  - ー 帳票定義体の場合  
帳票定義体のプロパティで、用紙/用紙方向指定に「プリンタ情報ファイル」を指定します。
  - ー 画面帳票定義体の場合  
画面帳票定義体のプロパティで、用紙サイズに「指定なし」または「自由」を指定します。

### 3.11.4 帳票の総ページ数、および出力ページ数が正しく表示されず、分割されたスプールのうちで先頭のスプールのページ数が表示される、または分割されたスプールのうちで先頭のスプールの出力が完了した時点で、帳票の出力状態が「出力済」となる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

## 原因

I制御レコードでページ制御情報を変更した帳票を、以下の帳票出力サーバに対して印刷したため、帳票出力サーバでスプールが分割された可能性があります。

- List Works Print Agentをインストールした帳票出力サーバ
- List Works WorkstationとPrint Managerをインストールした帳票出力サーバ

以下のページ制御情報に対する変更が対象となります。

- 用紙サイズ
- 給紙口
- 印刷方向
- 複写枚数
- 両面印刷(片面と両面の変更、または両面印刷の綴じ代方向の変更)

## 対処

プリンタ情報ファイルのキーワード「CONTSPOOL (スプールの連続指定)」を指定することにより、ページ制御情報を変更された際にスプールの連続性がどのようになるかを指定することができます。

以下に、プリンタ情報ファイルのキーワード「CONTSPOOL (スプールの連続指定)」の設定値について説明します。

### LV1:

スプールの連続優先。  
必ずスプールを連続させます。

### LV2:

中間モード。  
印刷中に以下のページ制御情報を変更された際には、スプールを分割し、以下のページ制御情報が確実に変更されるようにします。  
以下以外のページ制御情報の変更では、スプールを連続させます。

- 複写枚数
- 両面印刷

### LVZ:

ページ制御情報の変更優先。  
ページ制御情報の変更でスプールを分割し、確実にページ制御情報が変更されるようにします。

このキーワードの指定を省略した場合、LVZ(ページ制御情報の変更優先)が指定されたものとして動作します。

このキーワードの設定値により、スプールの連続性がどのようになるかを以下に示します。

キーワードの設定	印刷中に変更したページ制御情報				
	用紙サイズ	給紙口	印刷方向	複写枚数	両面印刷
LV1 (スプール連続優先)	連続	連続	連続	連続	連続
LV2 (中間モード)	連続	連続	連続	分割	分割
LVZ (ページ制御情報優先)	分割	分割	分割	分割	分割

## 注意

- ・ スプールを連続させた場合は、使用するプリンタやプリンタの設定によって、印刷中に変更したページ制御情報どおりに印刷されなくなる場合があります。  
例えば、印刷中に片面印刷から両面印刷に変更しても、片面でしか印刷されない場合や、複写枚数を変更した際に意図しない枚数で印刷される場合などがあります。この場合は、スプールを連続させないように本キーワードを設定してください。実際に運用する環境で印刷し、問題のないことを必ず確認してください。
- ・ スプールを連続させない場合は、印刷中に変更したページ制御情報のとおりに印刷できます。しかし、ページ数が正しく表示されない場合や、分割されたスプールのうちで先頭のスプールの出力が完了した時点で、帳票の出力状態が「出力済」となる場合があります。

### 3.11.5 プリントドライバの設定で給紙方法を自動給紙に設定しても有効にならない

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 以下の設定に誤りがある可能性があります。
  - － List Managerの運用環境のプリンタ構成の定義
  - － 帳票定義体、または画面帳票定義体の給紙方法の設定
  - － プリンタ情報ファイルの給紙方法の設定
- ・ 帳票定義体、または画面帳票定義体の設定で、給紙方法に「指定なし」を指定し、プリンタ情報ファイルのキーワード「SUPLY (給紙方法)」を指定していない可能性があります。

## 注意

- － 帳票定義体、または画面帳票定義体の設定で、給紙方法に「指定なし」を指定した場合、プリントドライバの設定ではなく、プリンタ情報ファイルの指定が有効になります。
- － プリンタ情報ファイルのキーワード「SUPLY (給紙方法)」を指定していない場合、プリントドライバの設定ではなく、「CF(カットシートフィーダ)」が有効になります。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 以下の設定を正しく行っているかを見直してください。
  - － List Managerの運用環境のプリンタ構成の定義
  - － 帳票定義体、または画面帳票定義体の給紙方法の設定
  - － プリンタ情報ファイルの給紙方法の設定
- ・ 以下のいずれかの対処を行ってください。
  - － プリンタ情報ファイルのキーワード「SUPLY (給紙方法)」に「AT(自動)」を指定してください。
  - － 帳票定義体を使用している場合、帳票定義体の給紙方法に「自動」を指定してください。

### 3.11.6 プリンタドライバの設定で用紙方向を横方向に設定しても有効にならない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

本動作はMeFiの仕様に基づいています。I制御、帳票定義体、画面帳票定義体、またはプリンタ情報ファイルに用紙方向を指定しない場合、用紙方向は縦(ポートレート)となります。

#### 対処

プリンタドライバの用紙方向の設定を有効にする方法はありません。用紙方向を横方向にしたい場合、I制御、帳票定義体、画面帳票定義体、またはプリンタ情報ファイルのいずれかで、用紙方向を横(ランドスケープ)に設定してください。

### 3.11.7 COBOLアプリケーションの文字コード系がEUC(U90)の場合、帳票定義体または画面帳票定義体の固定リテラル項目に設定した文字が「\_」に文字化けする

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・ 帳票出力サーバに「JEF拡張漢字サポート」がインストールされていない。
- ・ プリンタ情報ファイルのキーワード「JEFEXTN(JEF拡張漢字サポートの有無指定)」に「Y(使用する)」が指定されていない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票出力サーバに「JEF拡張漢字サポート」をインストールします。
- ・ プリンタ情報ファイルのキーワード「JEFEXTN(JEF拡張漢字サポートの有無指定)」に「Y(使用する)」を指定します。

### 3.11.8 帳票定義体や画面帳票定義体に指定した印刷属性(用紙サイズ、印刷面など)が反映されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の理由により、帳票出力サーバに配置された古い帳票定義体や画面帳票定義体を使用されている可能性があります。

- ・ 帳票管理サーバの環境設定ファイルの資源転送モード(LmcbRscSendMode)が「転送しない」設定となっている。
- ・ 帳票管理サーバの環境設定ファイルの資源転送モード(LmcbRscSendMode)が「新しい帳票および更新されている帳票のみ転送する」設定となっている。かつ、帳票管理サーバに配置された帳票の更新日時が、帳票出力サーバにキャッシュされた帳票定義体や画面帳票定義体の更新日時より古い。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・ 帳票出力サーバに新しい帳票定義体や画面帳票定義体を配置する。
- ・ 帳票出力サーバにキャッシュされた古い帳票定義体や画面帳票定義体を削除する。

### 3.11.9 電子帳票情報ファイルに指定した属性の優先順位が仕様と異なる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票管理サーバに配置された電子帳票情報ファイルの各キーワードが小文字で指定されている可能性があります。

#### 対処

電子帳票情報ファイルのキーワードが「title」「comment」のように小文字で指定されていないかを確認してください。小文字で指定されている場合、「TITLE」「COMMENT」のように大文字に修正してください。

### 3.11.10 日本語の文字ピッチが詰まったように出力される場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の可能性があります。

- ・ 日本語項目にCHARACTER TYPE句が記述されていない
- ・ 英数字項目に日本語文字を指定している

#### 対処

COBOLの規約にしたがい、COBOLアプリケーションを修正してください。

### 3.11.11 帳票の日本語文字に「\_\_」が出力される場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の可能性があります。

- ・ KOL5のオーバーレイで以下の文字を使用しているため、縮退が発生している
  - － OASYS制御文字
  - － JEF拡張漢字
  - － JEF拡張非漢字
- ・ COBOLアプリケーションの文字コードと画面帳票定義体の文字コードが異なるために縮退が発生している

#### 対処

Charset Managerで文字コード変換表を作成して対応してください。

### 3.11.12 COBOLアプリケーションで「N9」の通知コードが通知される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

帳票管理サーバでCOBOLアプリケーション実行時の環境変数LD\_LIBRARY\_PATHに「/opt/FJSV1stm/lib」が含まれていない可能性があります。

#### 対処

帳票管理サーバでCOBOLアプリケーション実行時の環境変数LD\_LIBRARY\_PATHに「/opt/FJSV1stm/lib」を追加してください。  
環境変数の設定方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編”を参照してください。

### 3.11.13 帳票出力サーバで「ListCREATOR:MeFt」のイベントログのERROR CODEが62、65、6B、6Cのエラーになる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- ・パーティション拡張を前提とするCOBOLアプリケーションを使用した可能性があります。
- ・COBOLアプリケーションに誤りがある可能性があります。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- ・List Manager では、パーティション拡張を前提とするCOBOLアプリケーションを使用することはできません。COBOLアプリケーションを見直してください。  
パーティション拡張の詳細については、NetCOBOLのオンラインマニュアルを参照してください。
- ・COBOLアプリケーションの誤りを修正し、実行してください。

### 3.11.14 帳票出力サーバで「ListCREATOR:MeFt」のイベントログのERROR CODEが44のエラーになる

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

COBOLアプリケーションで、組込みメディア項目に出力する画像ファイルの種類にGIF形式、またはTIFF(LZW)形式を指定した可能性があります。



## 対処

List Manager では、組込みメディア項目に出力する画像ファイルの種類にGIF形式、および TIFF (LZW) 形式を使用することはできません。GIF形式および、TIFF (LZW) 形式以外の画像ファイルを使用するようにCOBOL アプリケーションを見直してください。

### 3.11.15 帳票出力サーバでERROR CODEが24のエラーになる

---

#### 詳細

このとき、ソースがListCREATOR:MeFtのイベントログに以下のメッセージが出力されます。

```
WRITE error.  
ERROR CODE : 24-2040-00000000-00000000  
PRTID : 帳票名
```

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- List Managerに帳票を登録したあとで、帳票定義体や画面帳票定義体に変更された。
- 以下の条件を満たすために、登録時に指定した画面帳票定義体(拡張子が「.smd」の定義体)ではなく、帳票定義体(拡張子が「.pmd」の定義体)が有効になっている。
  - 帳票管理サーバの環境設定ファイルで、資源転送モード(LmcbRscSendMode)が「転送しない」、または「新しい帳票資源および更新されている帳票資源のみ転送する」設定となっている。
  - 帳票出力サーバの帳票定義体格納ディレクトリに、登録時に指定した画面帳票定義体(拡張子が「.smd」の定義体)と同じ名前の帳票定義体(拡張子が「.pmd」の定義体)が配置されている。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 帳票定義体や画面帳票定義体を、List Managerに帳票を登録した時点のものに戻してください。
- 以下のいずれかの対処を行ってください。
  - 画面帳票定義体(拡張子が「.smd」の定義体)と同じ名前の帳票定義体(拡張子が「.pmd」の定義体)を、帳票出力サーバの帳票定義体格納ディレクトリから削除してください。
  - 帳票管理サーバの環境設定ファイルで、資源転送モード(LmcbRscSendMode)を「転送する」に設定してください。

### 3.11.16 帳票が出力されず、帳票の出力状態が「配信待ち」のまま変わらない場合がある

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

COBOLアプリケーションの以下の環境変数に、半角文字「"」が指定されている可能性があります。

- LM\_TITLE
- LM\_OUTPUT\_FILE\_NAME

## 対処

帳票の出力/出力中止コマンド(Imoprprintコマンド)、帳票一覧画面、または帳票管理Javaインタフェースで、強制中止を行ってください。その後、COBOLアプリケーションの環境変数を見直し、COBOLアプリケーションを再度実行してください。

### 3.11.17 メッセージ通知クライアントで、Message Clientのモジュール(wtbase.exe) に対して「Windows セキュリティの重要な警告」画面が出力される

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

Windows ファイアウォールのブロック対象の例外としてMessage Client が登録されていないため、警告画面が表示されました。

Message Clientは帳票出力サーバと通信するため、Windows ファイアウォールの例外に登録する必要があります。

#### [発生条件]

以下の条件のとき、「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されます。

- a. メッセージ通知クライアントのOSに以下のどれかを使用している
  - Windows XP SP2/Vista/7/8/8.1/10/11
  - Windows Server 2003 SP1/2008/2012/2016/2019/2022
- b. a.のメッセージ通知クライアントでWindows ファイアウォール機能を有効にしている
- c. Windowsファイアウォールの例外に、「wtbase」が登録されていない
- d. Message Clientをインストール後、コンピュータを起動しログインした

#### 対処

メッセージ通知クライアントで、以下の手順に従ってWindows ファイアウォール機能の設定を変更してください。

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」画面で「ブロックを解除する」ボタンを押下して画面を閉じます。「後で確認する」または「ブロックする」ボタンを押下した場合も、以降の手順にしたがって設定します。



「後で確認する」または「ブロックする」を選択した場合、他のコンピュータからこのコンピュータに対して到着通知パネルのメッセージを通知できなくなりますが、以降の設定を行うと、メッセージ通知が可能となります。

2. [コントロールパネル]の[Windows ファイアウォール]を選択します。
3. [全般]タブを選択し、[例外を許可しない]または[すべての着信接続をブロックする]にチェックが入っている場合はチェックを外します。
4. [例外]タブを選択し、一覧から「wtbase」を選択しチェックを入れます。「wtbase」にチェックを入れたら 12. へ進んでください。
5. 一覧に「wtbase」が存在しない場合は、[プログラムの追加]をクリックします。
6. [プログラムの追加]画面の一覧から「到着通知パネルワイド」を指定し、「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。画面を閉じた後は 11. へ進んでください。
7. 一覧に「到着通知パネル ワイド」がない場合は「参照」をクリックし、次のプログラムを指定します。

C:\SYMFOCMN¥CT00¥wtbase.exe (上記のパスはC:をインストール先のドライブと想定しています。)
---

8. [参照]画面で「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。

9. [プログラムの追加]画面の一覧に指定した「wtbase.exe」または「wtbase」が存在することを確認します。
10. 「wtbase.exe」または「wtbase」を選択し、[プログラムの追加]画面で「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。
11. 「Windows ファイアウォール」画面、または[Windows ファイアウォールの設定]画面で一覧に「wtbase」、「wtbase.exe」、または「到着通知パネルワイド」のいずれか(以降、「wtbase」とします)が存在し、チェックが入っていることを確認します。「wtbase」にチェックが入っていない場合はチェックを入れます。
12. ご使用の画面に応じて、以下の処理を行います。
  - 「Windows ファイアウォール」画面の場合
    - 「wtbase」を選択し、[編集]をクリックします。
  - 「Windows ファイアウォールの設定」画面の場合
    - 「wtbase」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
13. 「プログラムの編集」画面で[スコープの変更]をクリックします。
14. 「スコープの変更」画面で「カスタムの一覧」を選択し、メッセージ送信元のコンピュータ(印刷サーバ)のIPアドレスを設定します。
15. 「スコープの変更」画面で「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。
16. [プログラムの編集]画面で「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。
17. [Windows ファイアウォール]画面、または[Windows ファイアウォールの設定]画面上で「OK」ボタンを押下して画面を閉じます。

## 3.12 MessageTransferシステムに関するトラブルが発生したら(Solaris版V10.1.0以前)

---

MessageTransferシステムに関するトラブルの原因および対処方法については、オンラインマニュアル“帳票印刷配信機能 GSコネクタ連携メッセージ集”を参照してください。

## 3.13 IPv6環境での使用時に関するトラブルが発生したら

---

IPv6環境での使用時に発生したトラブルの原因、および対処方法を説明します。

### 3.13.1 イベントログにイベントIDが11001、11005、111、112、201のメッセージが出力され、メッセージ通知クライアントにプリンタのエラーが通知されない

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- メッセージ通知先に、IPv6形式のIPアドレスを指定している
- 帳票出力サーバまたはメッセージ通知クライアントがWindows XP/Windows Server 2003などのIPv6をサポートしていない環境の場合、setenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定で、「2:IPv6優先」と「3:Windowsの仕様どおりに通信する」の組合せで使用されている。
- 帳票出力サーバとメッセージ通知クライアントのsetenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定が、以下のどちらかの組合せで使用している。
  - 「0:IPv4のみ」と「2:IPv6優先」の組合せ
  - 「0:IPv4のみ」と「3:Windowsの仕様どおりに通信する」の組合せ
- IPv6形式のIPアドレス、IPv4形式のIPアドレスのいずれかが名前解決(正引き、逆引き)できていない。

## 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- メッセージ通知先には、ホスト名、またはIPv4形式のIPアドレスを指定してください。
- 帳票出力サーバまたはメッセージ通知クライアントがWindows XP/Windows Server 2003などのIPv6をサポートしていない環境の場合、setenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定で、「0:IPv4のみ」または「1:IPv4優先」を設定してください。
- 帳票出力サーバとメッセージ通知クライアントのsetenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定が、以下のどちらかの組合せになるように設定してください。
  - 「0:IPv4のみ」と「0:IPv4のみ」の組合せ
  - 「0:IPv4のみ」と「1:IPv4優先」の組合せ
- hostsファイル、またはDNSサーバにはIPv6形式のIPアドレスだけではなく、IPv4形式のIPアドレスの定義を合わせて設定してください。  
以下のように、hostsファイル、またはDNSサーバには、以下のようにIPv6形式、IPv4形式ともに名前解決(正引き、逆引き)できるようにしてください。
  - ホスト名からIPv4形式のIPアドレスへ名前解決(正引き)
  - ホスト名からIPv6形式のIPアドレスへ名前解決(正引き)
  - IPv4形式のIPアドレスかホスト名へ名前解決(逆引き)
  - IPv6形式のIPアドレスかホスト名へ名前解決(逆引き)

### 3.13.2 到着通知パネルにメッセージ「メッセージサーバXXXXXの電源が未投入, 又は通信に失敗しました。」あるいは「メッセージサーバXXXXXの名前解決に失敗しました。」が表示される

---

#### 発生するVL

Solaris版V10.1.0以降

#### 原因

以下の原因が考えられます。

- 帳票出力サーバまたはメッセージ通知クライアントがWindows XP/Windows Server 2003などのIPv6をサポートしていない環境の場合、setenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定で、「2:IPv6優先」または「3:Windowsの仕様どおりに通信する」の組合せで使用されている。
- 帳票出力サーバとメッセージ通知クライアントのsetenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定が、以下のどちらかの組合せで使用している。
  - 「0:IPv4のみ」と「2:IPv6優先」の組合せ
  - 「0:IPv4のみ」と「3:Windowsの仕様どおりに通信する」の組合せ
- IPv6形式のIPアドレス、IPv4形式のIPアドレスのいずれかが名前解決(正引き、逆引き)できていない。

#### 対処

原因に応じて以下の対処を行ってください。

- 帳票出力サーバまたはメッセージ通知クライアントがWindows XP/Windows Server 2003などのIPv6をサポートしていない環境の場合、setenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定で、「0:IPv4のみ」または「1:IPv4優先」を設定してください。
- 帳票出力サーバとメッセージ通知クライアントのsetenvmsgコマンドによる通信時に使用するプロトコルの設定が、以下のどちらかの組合せになるように設定してください。
  - 「0:IPv4のみ」と「0:IPv4のみ」の組合せ

- 「0:IPv4のみ」と「1:IPv4優先」の組合せ
- hostsファイル、またはDNSサーバにはIPv6形式のIPアドレスだけではなく、IPv4形式のIPアドレスの定義を合わせて設定してください。  
以下のように、hostsファイル、またはDNSサーバには、以下のようにIPv6形式、IPv4形式ともに名前解決(正引き、逆引き)できるようにしてください。
  - ホスト名からIPv4形式のIPアドレスへ名前解決(正引き)
  - ホスト名からIPv6形式のIPアドレスへ名前解決(正引き)
  - IPv4形式のIPアドレスかホスト名へ名前解決(逆引き)
  - IPv6形式のIPアドレスかホスト名へ名前解決(逆引き)

# 索引

[A]	[U]
Application server connection failed.....41	UNICODE (UCS2/UTF8).....69
	URI閲覧制限機能.....98
[C]	[W]
COBOLアプリケーション連携機能.....36,101	Web手元印刷.....89
[E]	[X]
EUC (EUC-JP).....69	XML形式.....68
EUC (U90).....105	
[I]	[あ]
Internal Server Error.....41,42	イベントログ.....1
Interstage Application Serverのマニュアル.....2,4	印刷指定画面.....83
Interstage管理コンソール.....44,45,46	印刷時のトラブル.....8
I制御.....102	印刷ドキュメント.....86
	運用コマンド.....26
[J]	エラー通知.....83
java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException.....49	エラー通知のトラブル.....5
java.lang.NullPointerException.....42	エンベッド.....97
java.lang.OutOfMemoryError.....38,42	応答.....36
javax.servlet.ServletException.....42	応答待ち.....34,36
Javaアプリケーション.....74	オープンパスワード.....97
Javaインタフェース.....61,74	
	[か]
[K]	外字(利用者定義文字).....92
KOL6形式のオーバーレイ.....95	カスタマバーコード.....96
	画面帳票定義体.....105
[L]	環境設定.....21
List Creatorデザイン.....58	環境設定コマンド.....26
List Creatorコネクタ連携機能.....100	環境設定ファイル.....29
List Manager管理データベース.....21,22,48	監査証跡ログ.....3
List Managerの管理者権限.....26	給紙方法.....71
List Managerのデーモン.....74	組込みメディア項目.....64
List Worksのマニュアル.....2,4	原点位置指定.....40
lmpopformコマンド.....63	コアダンプ.....74
	ご使用になる前に(Web連携).....2
[M]	固定リテラル項目.....105
MessageTransferシステム.....110	
	[さ]
[O]	サービス「PRT Server Service」のトラブル.....18
OWFファイル.....89	システムログ.....3
	失敗.....35
[P]	自動更新.....36
PDFファイルの自動印刷指定.....98	出力エラー.....34
PDFメール配信.....97	出力中.....34
PDF変換機能.....89	出力中止.....34
PrintiaLASERシリーズ.....83,86	出力待ち.....56
prputexコマンド.....100	セキュアパスワード.....97
PRT Server Service.....89	セッションタイムアウト.....36
	接続エラー.....56
[Q]	操作画面.....32
QRコード.....96	操作ログ.....1
[S]	[た]
SSL環境.....51	大量ページの印刷.....59,60
Symfowareデータベース構築スクリプトのログ.....2	帳票管理Javaインタフェース.....47
	帳票管理サーバ.....38,65,66

帳票出力コマンド.....	73
帳票定義情報.....	54
帳票定義体.....	105
帳票データファイル.....	50
帳票の出力状態(失敗).....	55
帳票の出力状態(接続エラー).....	55
帳票の出力状態(配信中).....	62
帳票の操作時のトラブル.....	17
帳票ブラウザ.....	32,51
通信先ホスト.....	27
通知コード.....	107
デバイスフォント.....	54
電子帳票情報ファイル.....	106
データベース.....	23,25,26
動作環境.....	26,37
到着通知パネル.....	63,80
到着通知パネルのメッセージ.....	18
トラブル(印刷時).....	8
トラブル(エラー通知).....	5
トラブル(サービス「PRT Server Service」).....	18
トラブルシューティング.....	5,21
トラブル(帳票の操作時).....	17
トラブル(表示時).....	12

#### [は]

配信依頼.....	56
配信待ち.....	56,78
ハングアップ.....	74
バーコード.....	94,96
表示時のトラブル.....	12
フォント.....	72
符号化方式.....	69
プリンタのプロパティ.....	27
ページ数の並べ替え.....	35
ホスト帳票連携.....	60

#### [ま]

メッセージサーバ.....	81
メッセージ通知クライアントのメッセージ.....	18
メモリ.....	64
モアレ.....	90
文字コード変換エラー.....	69
文字化け.....	28,54,72,105
文字ピッチ.....	106

#### [や]

用紙サイズに合わせた拡大/縮小指定.....	40
------------------------	----

#### [ら]

リソース.....	64
両面印刷.....	102
ログイン画面.....	41,42,44

#### [わ]

ワークユニット.....	46
--------------	----